女の子のカラダの描き方
色っぽく見せるテクニック
林晃 (Go office)

女の子のカラダの描き方
色っぽく見せるテクニック
林 晃（Go office）

本書のねらい

「色っぽく見せる方法を考える」

この本を手に取ったあなたはきっと、色っぽくて魅力たっぷりの女の子を描きたいと思っているはず。けれど普通に女の子を描いただけでは、色っぽさを表現できないものです。露出度の高い服を描けばいい？　それともおっぱいやお尻を大きく描けばいい？……どちらも決め手にはなりません。
色っぽさを表現するには、「見せ方のテクニック」が必要なのです。

「色気」とは、キャラの存在感や魅力そのもの。「かわいい色気」と「セクシーな色気」があります。本書では、これらの色気を表現するテクニックを紹介していきます。

もくじ

はじめに 6

プロローグ　女の子の色っぽさって何だろう 7

お色気表現５大ポイント 8

1. 隠してみよう 10
2. 「ポーズ」で生む色っぽさ 12
3. 色っぽい「表情」にチャレンジ 13
4. 「カメラワーク」で色っぽく見せる 14
5. シーンやシチュエーションを「演出」しよう 15

第１章　ポーズとしぐさで色っぽく見せる 17

ポーズとしぐさを変えればこんなに色っぽい！ 18

バストショットを色っぽく描いてみよう 20

全身のポーズを描いてみよう 24

コラム　頭身について 28

ニーショットポーズを描いてみよう 30

いろんな色っぽいポーズを描いてみよう 32

バストショットの色っぽいしぐさ 38

多彩なポーズとしぐさを組み合わせる 44

コラム　ハダカの色気 47

第２章　カメラワークで差をつける！
グッとくるカメラアングル 49

色っぽく見せるにはカメラワークが大切 50

カメラマンになった気分で描いてみよう 52

カメラワークの基本は「標準」「フカン」「アオリ」 54

カメラワークを意識した作画①
アオリの色っぽい描写 60

カメラワークを意識した作画②
フカンで色っぽく描こう 66

カメラワークを意識した作画③
見せたいものをクローズアップしよう 72

コラム　線について 77

その他のカメラワークを意識した作画 78

第３章　色っぽく感じる表情とパーツ描写　81

表情やパーツ描写を変えるだけで色っぽい！　82
ドキッとするような表情を描こう　84
普通の表情を色っぽくしてみよう　86
表情の作画を通してパーツを学ぼう　90
グッとくるバスト表現をマスターしよう　96
グッとくるお尻表現をマスターしよう　104
色っぽい脚の表現　114
コラム　立体感を表現する曲線　122
色っぽい背中・おなか　124
コラム　アオリアングルでの股間の見え方と作画ポイント　126

第４章　みんなが「色っぽい」と感じる場面は？
シチュエーションと演出について考えよう　127

ドキッとさせるにはシチュエーションが大事　128
バスタオル巻き姿でつかむ布の表現　130
シチュエーション①　前かがみ　134
シチュエーション②　四つんばい　138
シチュエーション③　ころんじゃった！　140
シチュエーション④　チラリでドキッ！　144
シチュエーション⑤　着替え中です　148
演出① シャツやスカートのめくれ表現　152
コラム　プリーツスカートの描き方　155
演出② 濡れ表現　160
シチュエーション＋演出　水際の彼女　163
コラム　喫水線で見るカラダの曲面　172

カバーイラストメイキング
イラストレーター　おりょう　173

はじめに

色っぽい女の子キャラを描いて、作画力をパワーアップしよう

● 女の子キャラにドキドキする

女のコキャラへのドキドキは、「かわいい」だったり「チラリ」だったり、あこがれや好奇心を揺さぶってくれる瞬間に訪れます。
自分がドキッとする。自分が見てみたい。
それは、不思議と「自分以外のみんな」も、同じことが多いようです。

マンガやイラストは、やっぱり描いていて楽しいことが基本です。
自分が描いて楽しくて、見てくれる人が同じように楽しんでくれるというのは、不思議なほどうれしいことです。自分がいいと思うもののすべてが、誰にでも共通しているとは限りませんが、マンガやイラスト作品などとして描けたら、それはやはり楽しいことではないでしょうか。
本書は見てドキッとする女の子や、はっとしちゃうワンシーンなど、魅力的な女の子キャラの作画をいろいろな角度から紹介していきます。

● 色っぽい…それは存在感

お芝居などで「色気のある芝居」「色気のある役者」という場合は「不思議と惹きつけられる魅力」や「何かが違う存在感」などのことをいいます。作画では「色気のある線」など、「色気」というのは「みんなが眼を釘付けにされる」パワーのことです。
でも、目を引くからといって、たとえばただ肌を見せているだけのキャラを描いたりすると、逆に「色物」として敬遠されたり、運が悪いとバカにされたりすることさえあったりします。
色っぽさで人の心をつかむには、「テクニック」が必要なのです。

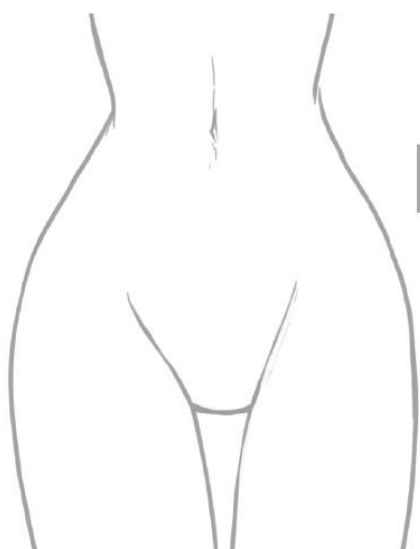
「色っぽい女の子キャラの作画」には、ポーズや衣装、見せ方（演出としてのアングル効果）など、キャラの作画技法のエッセンスがたくさん詰まっています。
見て楽しみながらテクニックをつかみ、たくさん描いて画力を上げることができれば ...。
そんな願いで、本書は制作されています。
みなさんの作画や創作に、少しでも役立てて頂ければ幸いです。

ゴーオフィス　　林　晃

プロローグ

女の子の色っぽさって何だろう

お色気表現５大ポイント

隠す・ポーズ・表情・カメラワーク・演出

ありのまま。教科書的で色気を感じません。

隠す。見えない状態ができることで、見える部分（ここでは腰や太もも）と、隠されている部分が強調されます。

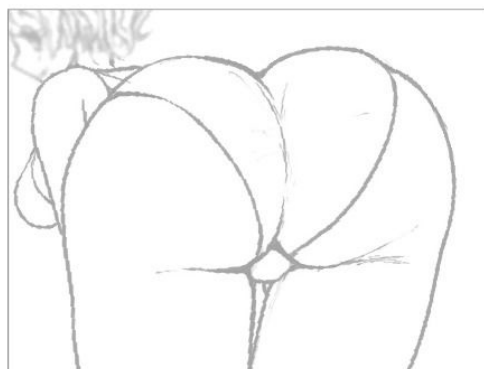
棒立ち。動きナシの立ちポーズは、置物と同じで存在感が薄いです。

ポージングはカラダだけでなく表情や髪の毛、スカートの動きも与えます。イキイキした存在感が生まれます。

少し眼を細くすることで、普通とは違う大人っぽいムードになります。頬の斜線で顔の赤らみ表現を加えると、恥じらい感や気持ちの高揚感が生まれます。

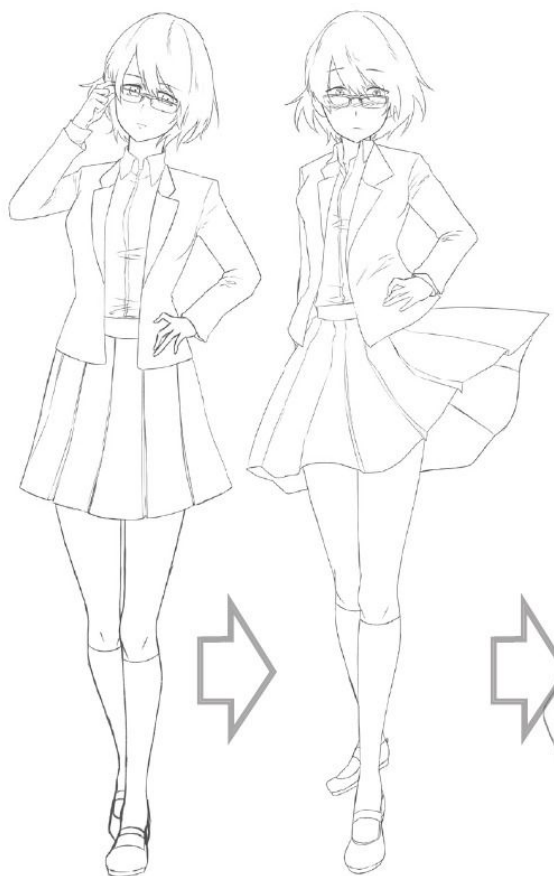
4 カメラワーク

アオリやフカン、アップなど、視点を切り替えて描く手法です。カラダの曲線や胸、お尻など、テーマ（アピールしたい部分）を「撮る（見せる）」つもりで描きましょう。

普通に撮影。キャラ全体を見せたい場合（ロング・遠景ふう表現）。

後ろからお尻を狙って撮影すると、ちょっとエッチな印象に。

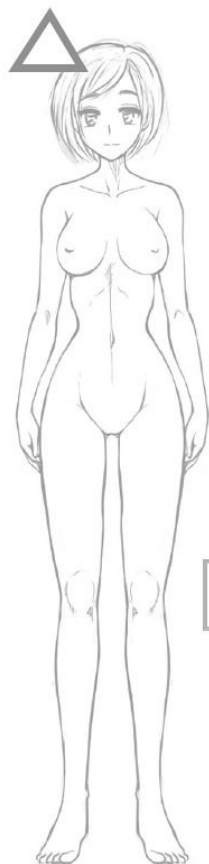
5 演出

パンチラやお風呂、プールシーンなど、シチュエーションを設定する手法です。キャラのイメージ幅を広げる効果（ギャップ演出）を狙うこともあります。

もっとスカートがめくれたところを、少し下から撮った作画。カメラワークの「アオリ」効果とシチュエーションの相乗効果例です。

まじめ、きびしい、堅苦しいなどのキャライメージ。

風でスカートがあおられる。「太ももがあらわになる」ところまで見せる演出。

1 隠してみよう

「隠す」ことで表現できる色っぽさです。単なるハダカはときめかないけれど、布（服）や手で隠すことでドキッとするものになります。完全に隠す、一部だけ隠す、隠しきれない演出などがあります。衣装や着こなし、しぐさや動作、ときには湯気や葉っぱなども利用されます。

ただのハダカ立ちポーズ。解説図など、説明的であまり面白みのない印象になります。

下着を着けてしなを作っただけのポーズですが、胸のふくらみや腰つき、下腹部や太ももの存在感が生まれます。右腕でさりげなく乳房の側面を支え押しているしぐさもバストアピールサービスです。

全身を覆う服。カラダにフイットしたセーターとパンツは、ボディラインをくっきりさせます。

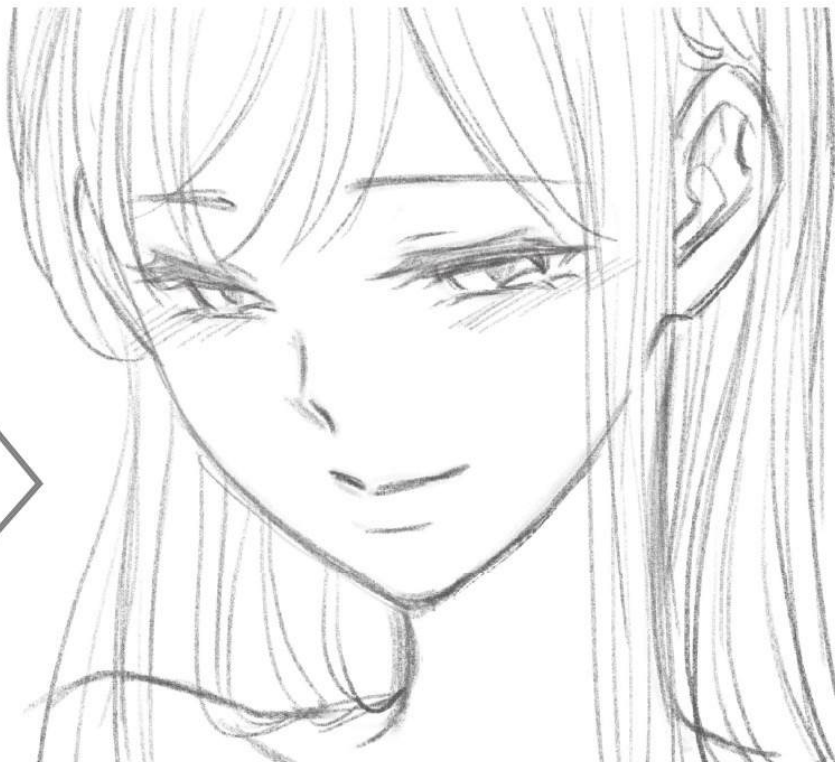
△
○
タオルで隠す。乳房を
抱きかかえるようなポ
ーズで、ハダカより色
っぽく見えます。
胸元チラ
見せ
短い上着。乳房の上部を
2/3 も隠していますが、下
乳の肉感をあらわにするこ
とで乳房そのものの存在感
を大幅にアップします。
パンツや股の部分が見えそ
うで見えないギリギリの長
さになるようにはきこなし
たスカート。
スリット
服でハダカを全部隠すのではなく、チラ見せする
ことで色っぽくなります。
パンツのきわの一部が少しだけ見えるよう
に作画されていますが、カゲを完全な黒に
することもあります。好みやニーズによっ
て使い分けます。

2 「ポーズ」で生む色っぽさ

ひねりや傾ける動きで「色っぽさ」 が生まれます。動きのあるポージングは、「キャラ登場！」など、キャラをアピールするワンショット（シーンなど）を考えるとイメージしやすいです。

3 色っぽい「表情」にチャレンジ

普通の喜怒哀楽などの感情表現を、少し抑え気味に描くことで色っぽい「表情」が生まれます。

うつむき気味。普通の静かで優しそうな微笑み顔。

半眼ふうに目をちょっと小さく細めて、まつ毛を強調。瞳も黒い部分を控えめに。閉じた口は少し大きめに引き締めた感じにすると、微笑みに「思わせぶり」な意志が宿り、ミステリアスな感じが出てきます。

普通に描くと、「かわいい」「美人」になります。どんな表情を描けば色っぽく見えるものになるでしょうか。色っぽい表情は、かわいらしさよりも少しミステリアスなイメージを心がけます。笑う、怒る、などのはっきりした感情の表情よりも、微妙な感じ、含みをもたせるのがコツ。目の大きさを、「普段の半分」くらいのサイズにしてみましょう。

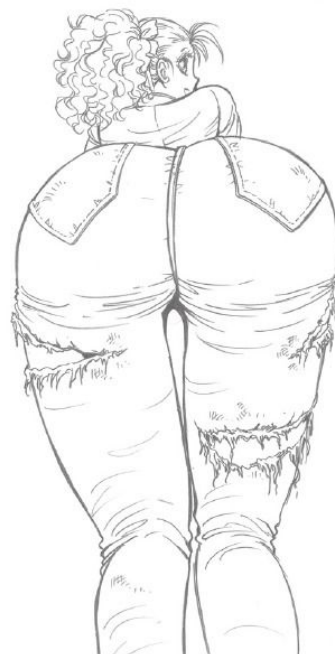
ややアオリ。明るい笑顔。爽やかなムード。

目はやや細めて口も半開きぐらいに。含みのある、色っぽい表情が生まれます。

4 「カメラワーク」で色っぽく見せる

基本的な撮影手法（アップ、アオリ、フカン）で、
カラダの曲面やふくらみを狙います。

フカン。胸のふくらみや太ももをアピールします。

スカートのすそのラインで太ももの立体感が強調されます。

前かがみポーズを後ろから撮る。キュートなお尻シルエットをアピール。

アオリ。座りポーズの太ももやヒザなど、肉感的な脚線をアピール。アオリは股間部や腹部の起伏曲線を見せたいときにもよく用います。

寄る（見せたいものを**アップ**にします）。
お尻をさらに強調。

アングル的に、実際には見えないことも多い股の丸みを描き込んで、お尻部分をグレードアップする演出。

スカートと肉の境界にできるくびれ表現。肉感が強調されます。

5 シーンやシチュエーションを「演出」しよう

お風呂、着替え、風によるパンチラや乳揺れなどで、カラダの曲線や柔らかさの魅力を見せる「サービス」ショット。隠す、動き、カメラワーク、必要に応じて表情まで、「色っぽさ表現」の集大成です。「動き」を大切にしましょう。

ブラがない場合。「ノーブラだった」という設定を暗示します。

着替えシーンの演出。脱ぎかけ・半分あらわになる素肌を見せる演出です。

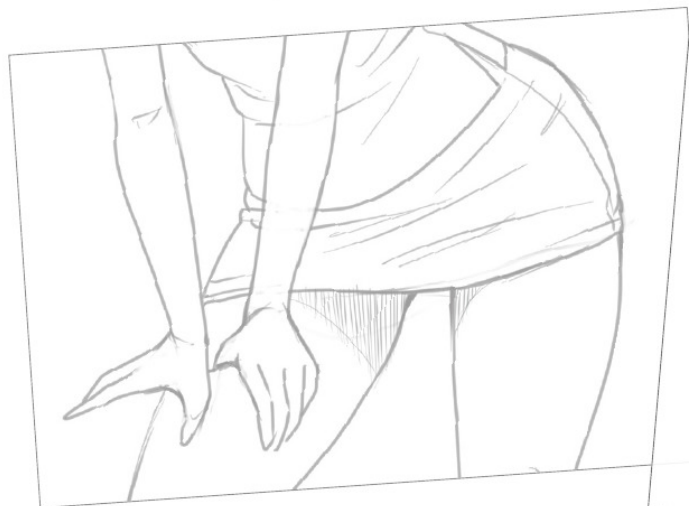
入浴シーン。娯楽色の強い映画やドラマでしばしば取り入れられる演出で、タオルや湯気、水（お湯）などが「隠すアイテム」として活躍します。

乳揺れ＆パンチラ。おっぱいの揺れ表現は、動きと同時に乳房の柔らかさを伝えます。左右の曲線に違いをつけましょう。

パンチラはオマケです。スカートの広がりとひるがえる表現で、走っている動きを演出します。

セクシーだけなら
肌見せでOK
表情やポーズ、
動きでかわいさが
生まれます
セクシー&かわい
いのいいとこ取り
で描きましょう

第1章

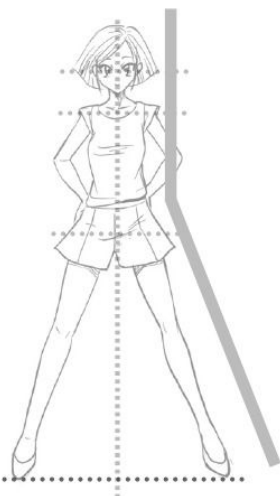
ポーズとしぐさで色っぽく見せる

ポーズとしぐさを変えればこんなに色っぽい！

立ちポーズとしぐさ

曲線的なシルエットのポーズをつけると、動きの中にかわいらしさや魅力が生まれます。「アクション」ではなく、ちょっとしたカラダの「しなり」や「しぐさ」を表現しましょう。

仁王立ち。りりしさやカッコ良さをアピールする堂々とした立ちポーズ。色っぽさとはほど遠い印象になります。

しなり立ち。頭部、胴体を逆方向に傾け、脚もクロス。

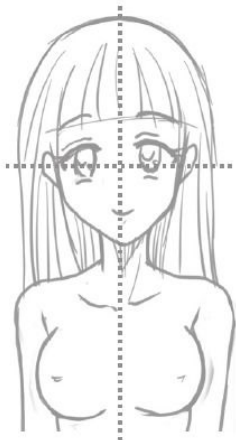
胸とお尻の丸みがシルエットに現れるポーズ。

直線的なシルエット

曲線的なシルエット

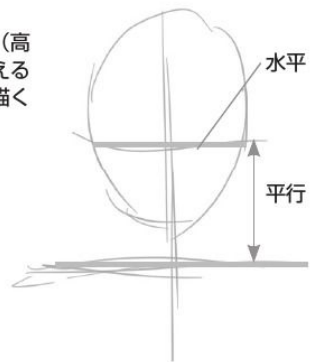
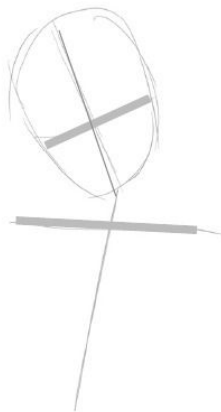
直線的なイメージ（シルエット）を避け、カラダの曲線を生かすことが色っぽさのコツです。

全身も大きな曲線（逆S字）を描いています。

バストショットのしぐさ

顔（頭部）や肩を傾かせます。それだけの工夫で、バストショットに「もっとカワイイ」や「魅力」が生まれます。

基本形。正面向き。真っ直ぐ（頭もカラダも傾けていません）

ラフ・作画中の状態

真正面向きのアタリ

アタリは、構造を単純に図形化したものです。仕上がりのムードも含めた「設計図」とか、「簡略したイメージ画」として描かれます。

首をかしげ、胴体もしなを作った場合。頭部と胴体を傾けます。

頭部を横にかしげる動きは、キャラのかわいいムードを生み出す動きです。

顔は真っ直ぐのまま、カラダを傾けた場合でも、髪の毛の動きで色っぽいムードが出ます。

アタリ

ラフ

バストショットを色っぽく描いてみよう

色っぽいイメージを描く手順

少しうつむいた顔

顔の作画手順は、アタリの丸→髪型シルエット→目鼻の場所をきめる→描き込み、の流れが基本です。「色っぽく」など、テーマが明確な場合はポージングのイメージを描くことからはじめます。

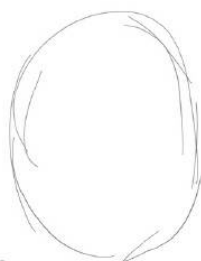
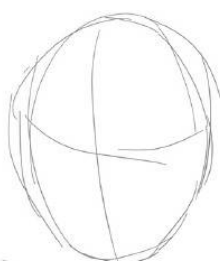
① イメージを大づかみに描きます。寄りかかった感じの姿勢（シルエット）のビジョンをはっきりさせるため、腰あたりまで描きます。

② 表情や髪型をざっと描きます。

③ 顔のりんかくやカラダのアウトラインを描きます。

● 頭部のアタリの作画手順

① ②

顔の向きのイメージがはっきりしている場合は、十字から描きます。

① ②

顔の向きや表情が未定の場合、とりあえず頭部のサイズや位置をきめるために頭部を丸く描くことからはじめます。

④ 服のイメージが見えたので、簡単に服のアタリを描いてから顔、髪を描き込みます。顔のイメージがあるときは、顔から描いても OK です。

⑤ 服のアウトラインを入れ、細部やシワを描き込みます。

⑥ 完成

バストショットを色っぽく、というテーマなので、おっぱいを強調したポーズになりました。
下向き気味で肩を上げたイメージは、寄りかかってこちらを見る、というシチュエーションを想定。
もともとは眼のぱっちりした女の子が、眼を少し細めている…というイメージなので、まぶたを広めにしています。
頬の赤みのタッチは、「ちょっぴりお色気」を意識した作画。

少しアオリの顔

① ラフイメージを描きます。

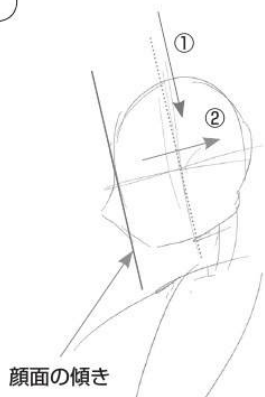
② ラフイメージをアタリ（下描き）として利用します。顔のりんかくやカラダのりんかくを描きます。

※ハダカを描く必要がないときは、服のアウトラインを描きます。
「服は体のひとまわり外に描く」という原則がありますが、カラダが大きくなりすぎたり太くなってイメージが変わってしまうことがあります。
通常の服を着たキャラを描くときは、服のアウトラインイメージ（服を着たシルエット）を大事にしましょう。体のライン上かカラダより内側に服を描くくらいのつもりで描いてもOKです。

③ あごの下（首）にカゲを落として頭部に立体感を与えます。キャラ全体が引き締まって見えるようになります。

④ 完成。着ているか着ていないかわからないところで絵を切る（トリミングする）手法も、お色気アピールの１テクニックです。

横顔

① ポーズをイメージしたシルエットを描きます。

② 顔面の傾きに合わせて、頭部に十字を描きます。

③ 耳を描きます。頭部中央より後ろです。

④ 顔と髪の毛を描き込みます。

⑤ 線を整え、必要に応じて描き込んで完成させます。

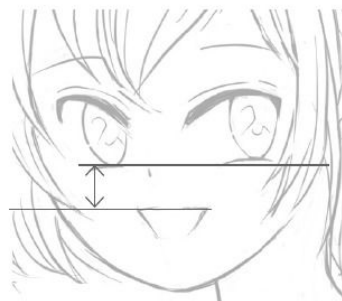
おとな顔にする場合　子ども顔とおとな顔の違い

何気なく描ける、「いつもの自分のキャラ」を基準にしましょう。

顔の中心線（左右の横幅の中央を通る線）。鼻やあごの先端は、この中心線上に描きます。

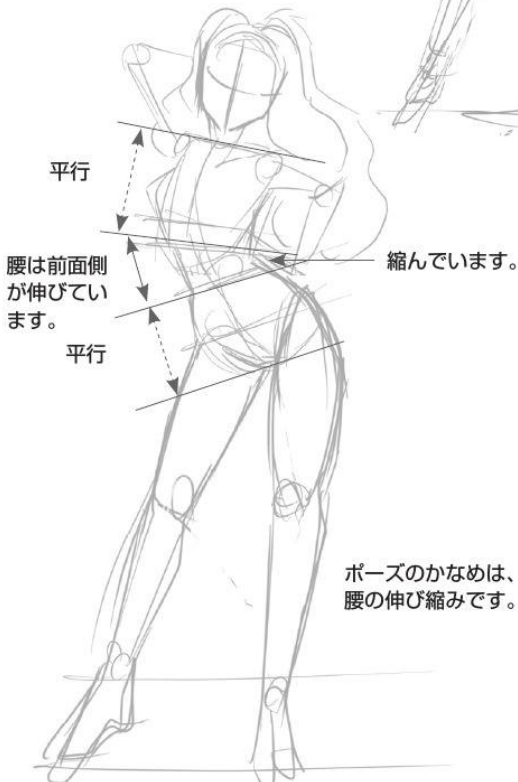
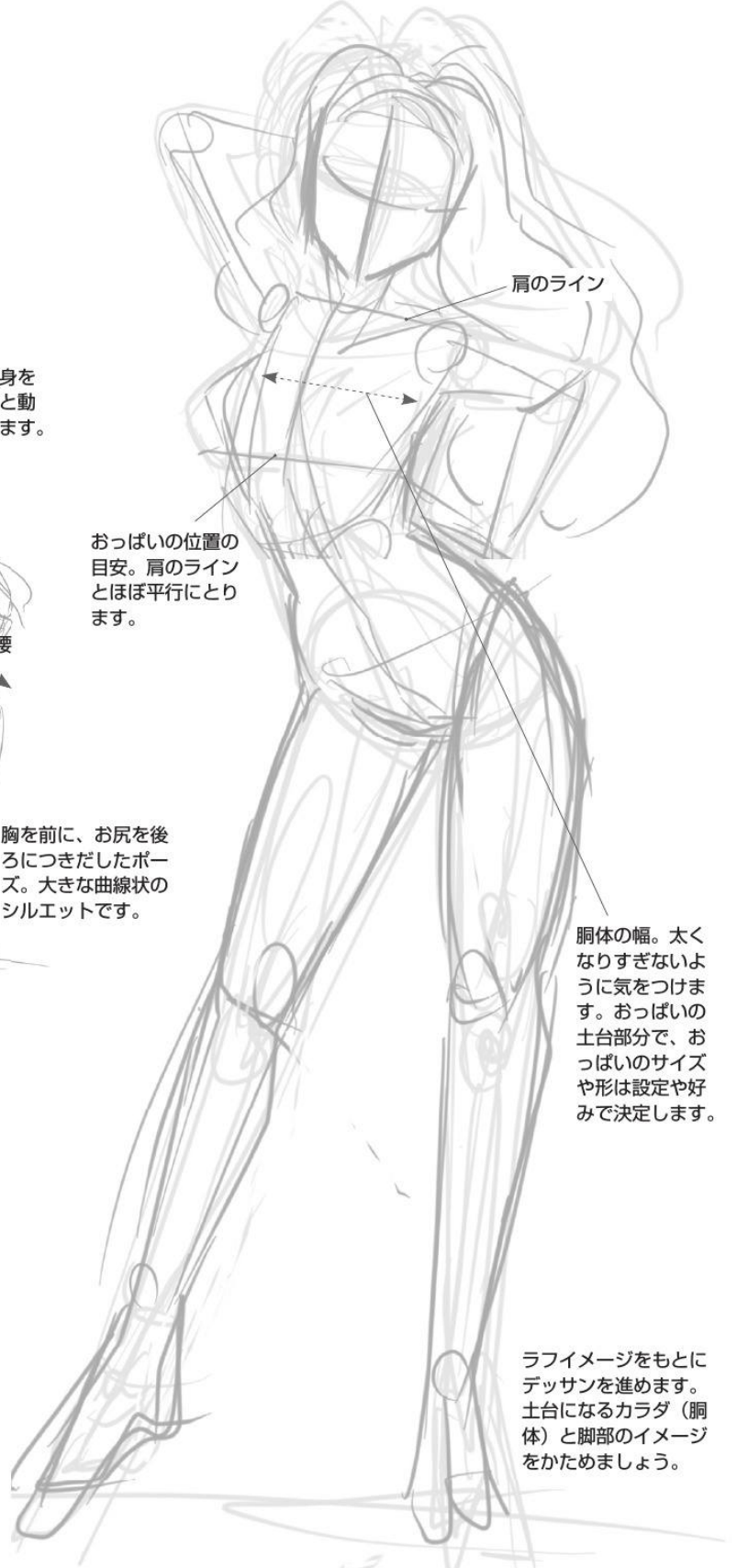
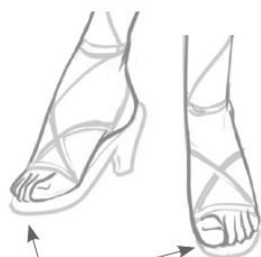
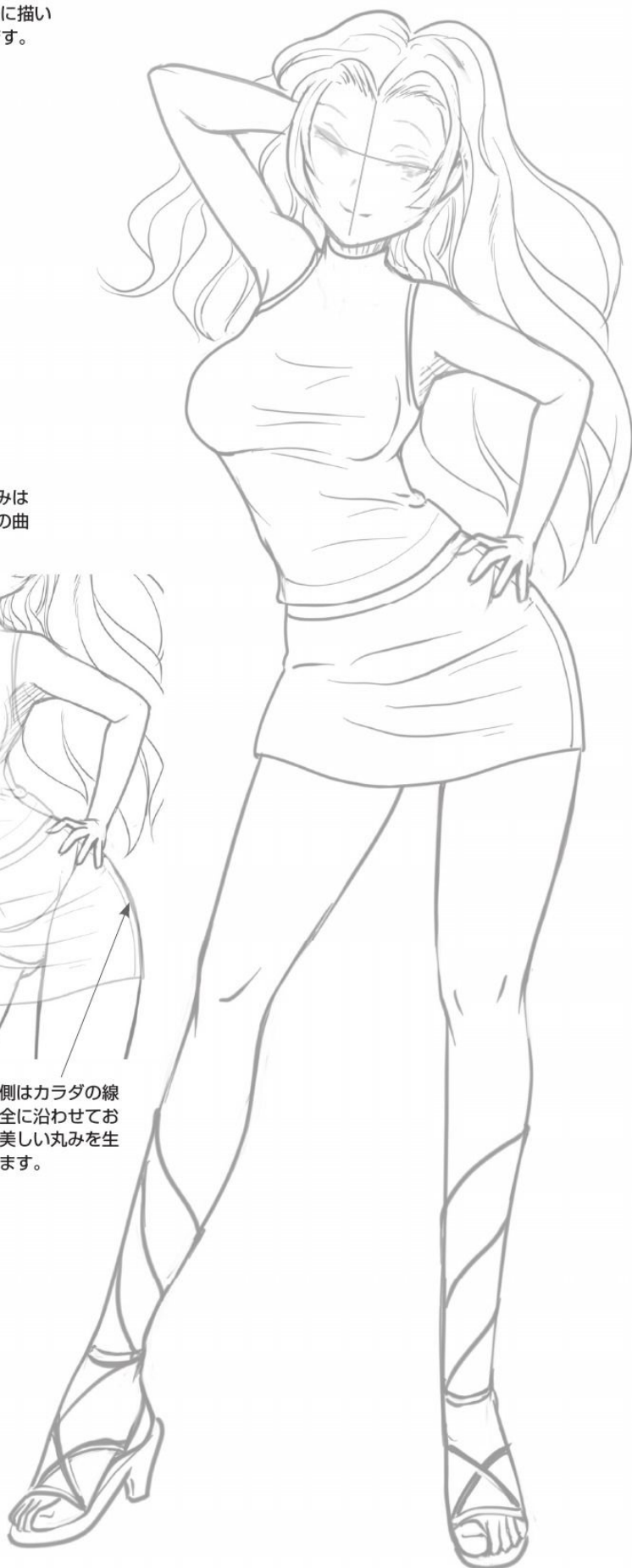
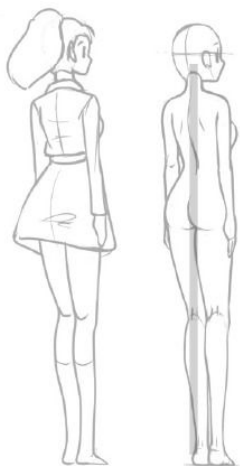
鼻と口を消したもの。鼻を目に近づけるほど子どもっぽくなり、眼と鼻先の距離を長くするほど大人っぽくなります。

おとな顔　　子ども顔

・目を小さめにする
・鼻を長めにする（下まぶたと鼻の頭の距離をあけます）
・目と口の距離を広くする

・目を大きめにする
・鼻を短めや小さくする（下まぶたと同じ高さに鼻の頭を描くこともあります）
・目と口の距離を狭くする

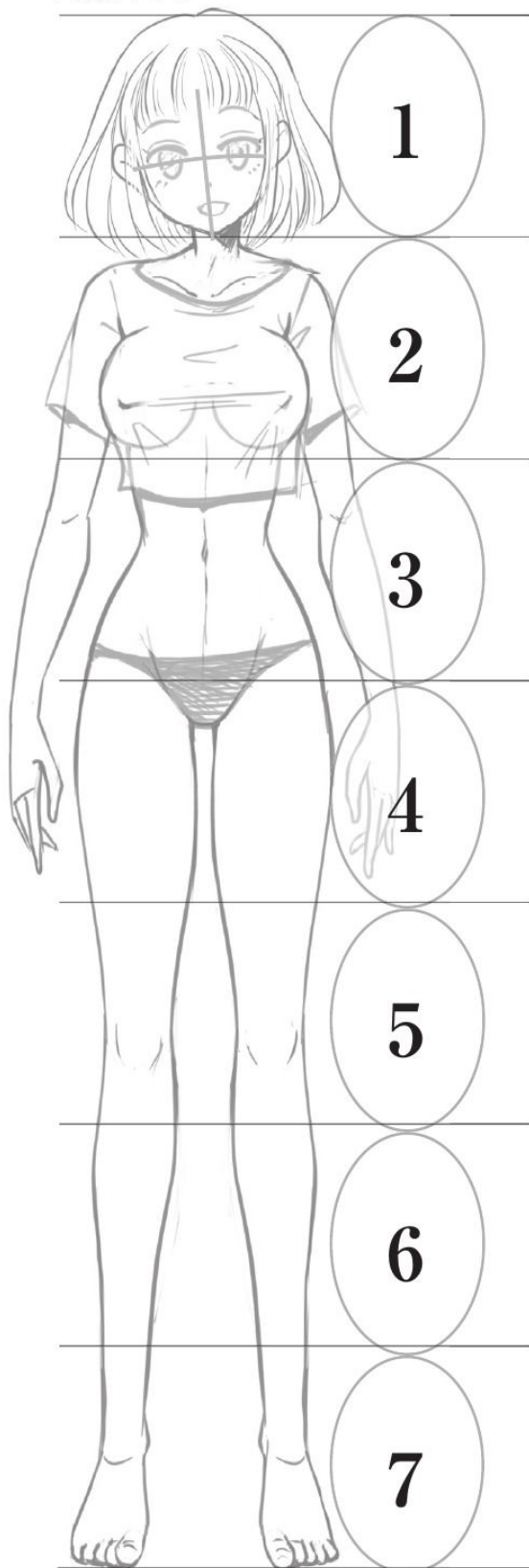
全身のポーズを描いてみよう

前を向いたポーズ

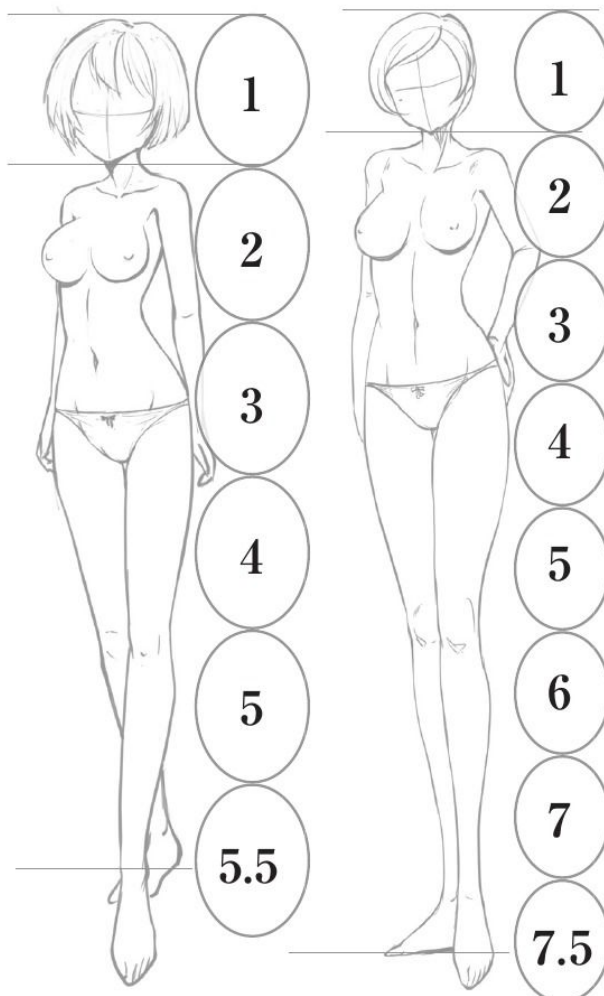
美しい起伏のボディラインを意識して描きます。おっぱいのふくらみやお尻の丸み、腰のくびれをアピールするファッションを利用しましょう。

アウトライン（りんかく線）を
ていねいに描き、シワなど細部
を描き込みます。顔は先に描い
てもあとからでも OK です。
バストラインの丸みは
ハダカのおっぱいの曲
線を生かします。
パンツだけの場合
透視図
タイト気味のスカート。
少しだけカラダから浮か
せて描きます。
お尻側はカラダの線
に完全に沿わせてお
尻の美しい丸みを生
かします。
何も着ていない場合
底の厚みを描くと、履き
物らしさが出ます。

見返りポーズ
頭部（目）
肩ライン
骨盤部
頭部と胴体に
傾きが与えら
れています。
動きが出ます。
動きがない場合。直線的です。
頭部（目）
肩ライン
上胸部
腰
骨盤部
平行になっ
ています。
動きがあり
ません。
イメージラフ
● 作画の手順とポイント
えりは首よりも外側に
ゆとりを持たせます。
背中のライ
ンに沿わせ
るイメージ
外に広がる
イメージ
① イメージラフを
もとにして、カラダ
のラフを描きます。
② 顔、髪、カラダ、服を
描きます（通常は、服に隠
れる部分をしっかり描く必
要はありません）。
③ そでは、ほんの少し腕より細い
イメージ。太めにするとかわいく、
細めにすると、カッコ良くなりま
す。スカートはお尻の張り出しを
活かしてゆるやかに広がるイメー
ジで描きます。スカートのすそは
波線状の曲線にして軽いひるがえ
り感を与え、動きを出します。
参考　ハダカをし
っかり描いた場合

横を向いたポーズ

ノーブラ演出の場合。乳首からの短いシワ線を主体にして、乳房下面のカゲを省略します（ノーブラでもハリのあるおっぱい、という設定で、形の良さを演出しています）。

コラム　頭身について

頭部の大きさを基準にして全身をとらえる考え方を頭身といいます。ちびキャラは 2.5 頭身とか 3 頭身、モデル体型は 8 頭身や 9 頭身などといわれています。キャラの描き分けの目安に利用します。

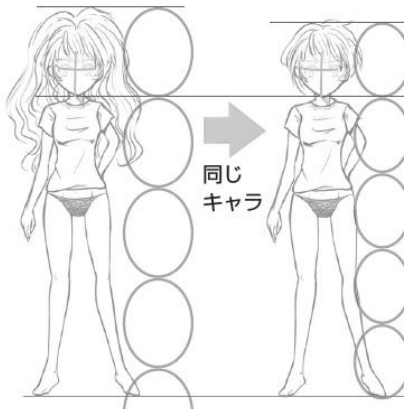
● 全身の場合

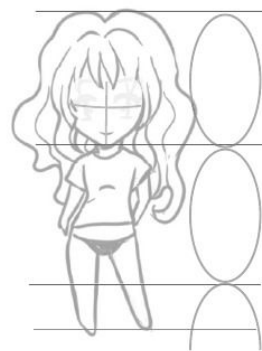
7 頭身キャラ

かわいい系

頭を大きめにします。
※かわいい系は頭部、特に髪の毛のボリュームで頭部を大きく見せて、髪を含めた頭を 1 頭身とします。5 ～ 6 等身くらいです。

セクシー系

頭が小さめのキャラで、6.5 頭身以上くらいが目安です。

・髪の毛の量で変わる頭身

髪の毛のボリュームで頭が大きいキャラ。4.2 頭身くらい。

髪の毛を減らすと、5 頭身です。

デフォルメキャラの例。2.3 頭身くらい。

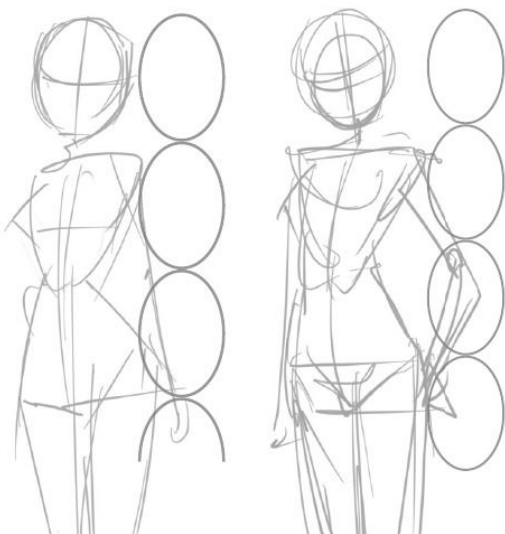
● ニーショットの場合

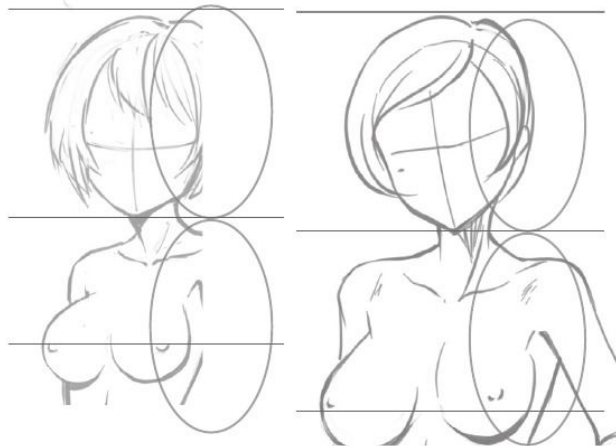
頭の大きさに対して、胴体の長さ（股の位置）がキャラごとに決まっています。ニーショットを描くときは、頭の大きさを目安にして股の位置を決めて作画します。

かわいいキャラ・子どもふうキャラ

股の位置は頭3個目くらいの位置。胴体は短めです。

セクシーキャラ・おとなふうキャラ

股の位置は頭3.5個目くらいの位置。胴体は少し長めです。

ニーショットのアタリ。通常、頭を描いてカラダを描きます。このとき、カラダは股の位置を決めて描きます。

● バストショットの場合

バストショットも同様に、頭の大きさを基準にして胸の位置をとらえます。慣れてくると､いちいち計らなくても描けるようになります。頭身は、描き慣れないバランスのキャラを描くときや、ほかの人の絵の特徴やバランスを学ぶときに利用すると、自分の絵との違いやうまい人の絵や描きたい絵のバランスの秘密がわかります。

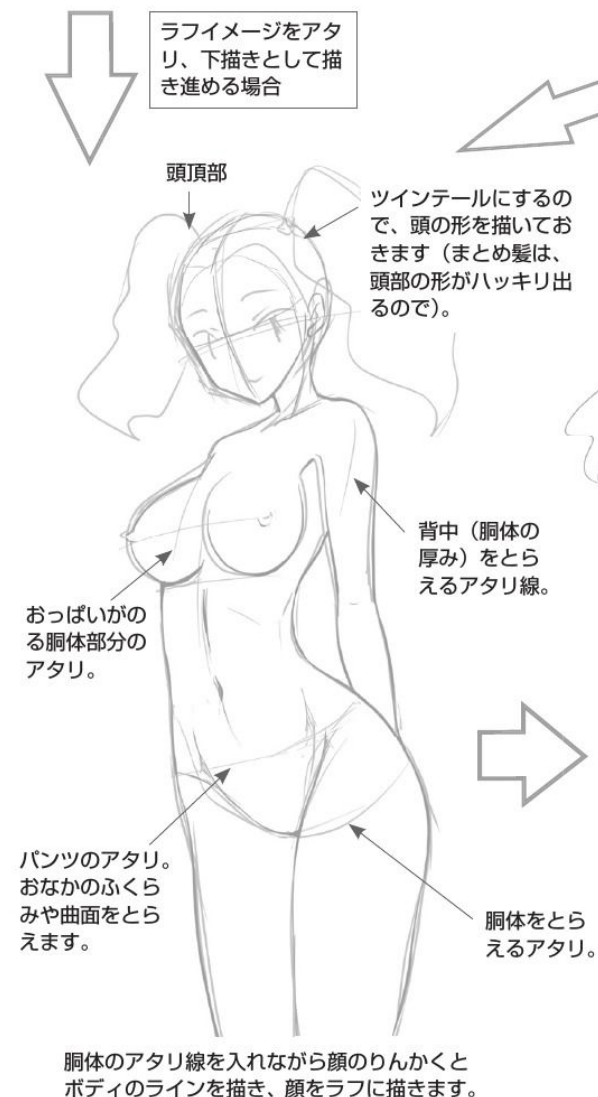
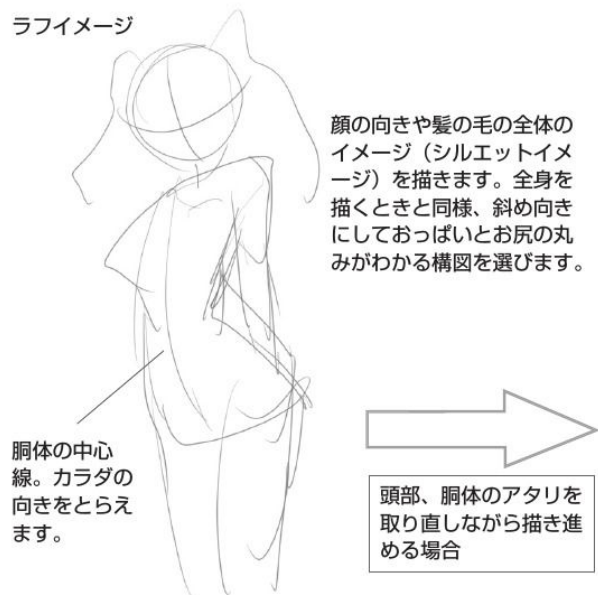
ニーショットポーズを描いてみよう

ハダカから描く

色っぽいキャラは、最初はハダカを描いて服を着せることからはじめましょう。

胴体のアタリ線を入れながら顔のりんかくとボディのラインを描き、顔をラフに描きます。

線を整えて、ハダカバージョンの完成です。

パンツを描き込んだ場合。

服を描く

服によって、ハダカのラインを活かした方が良いものと、服のシルエットに合わせてカラダを変えた方が良いものがあります。

● Tシャツ

ゆったりしたＴシャツ。バストラインが少しバランス悪く見えます。

胸もとのシワは、カラダから一番外に飛び出している乳首から広がるように描きます。

自然に描くと、乳首から腰まで、なだらかな曲線になって胴体のメリハリが減り、今ひとつ色っぽくなりません。右の絵のように、下乳の部分に巻き込むように描くと色っぽくなります。

ピチピチの小さめのＴシャツ。細く細かいシワでぴっちり感を出します。シワの線は、胴体の曲面を意識して曲線を主体に用いましょう。

● ブラウス

ブラウスは、「胸のふくらみ」そのものが色っぽさのポイントともいわれます。バストラインがきれいに見えるようにアウトラインを補正します。

実際の乳房のアウトラインとは異なるラインです。ブラによって補正されることもありますが、服を着たときは服のシルエットを大切にして、形を変えて描きましょう。

色っぽい

「色っぽさを強調」した作画。いまひとつブラウスっぽくなくなりますが、バストラインを、柔らかそうなおっぱいのシルエットを意識して曲線で描きます。バストサイズは大きめに強調します。

いろんな色っぽいポーズを描いてみよう

体操着を着たポーズを描く

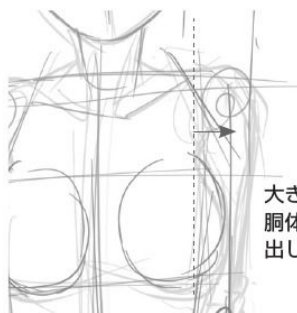
「隠すお色気」の代表例です。あまり動きがなくても、水着や下着よりもお色気感を持つアイテムです。着衣によるお色気表現の基本のほとんどすべてがあります。

● ブルマスタイルの特徴

・胸のふくらみやボディラインが現れる
・股間部のチラ見え効果
ふわっとした上着がかわいいイメージを与えると同時に、白い上着と濃い色のパンツのコントラストが「包まれた肉」「隠されたカラダ」の存在感をアピールします。

アタリ。姿勢とポーズのイメージを描きます。

ラフ。ボディライン、カラダを描きます。

ラフ画に完成絵を重ねたもの（胴体透視図）

大きめのおっぱいは胴体の外に少し張り出して描きます。

通常の着こなし。すその長さで、見えるブルマの面積が変わります。

上着のすそをブルマに入れた場合。

実際には中に入ったすそ部分でブルマがふくらみますが、作画上はカッコ良さを優先して描きます。

● ポーズ例と色っぽさのアピールポイント

すそを持って引っ張る

おっぱいの谷間を反映したシワ

おなかが見えるように、すその長さを調整して描きましょう。

パンツのすそが見えます。パンツだとわかるように、小さくフチを描きます。

ちょっとお尻を突き出す（少しローアングル）

さりげないはみ乳表現。

腰のくびれが出るように着こなします。

上着はお尻の丸さを反映します。

パンツが浮き出している表現です。

お尻の割れ目の線をくっきり描きます。

ブルマからはみ出したお尻の肉。はみケツ表現です。

● 後ろ側の表現　ブルマ表現のいろいろを見てみましょう。

普通に上着のすそを下ろした場合

着替え中など、背中が少し見える場合。

お尻を完全に包む場合

お尻の肉のはみ出しがある場合

お尻を強調した着こなし

お尻の割れ目の線を描かない場合。最もおとなしい表現。

水着や下着姿のポージング

下着、水着、シースルーなど衣装の魅力に加えて、動きで魅力をアピールします。

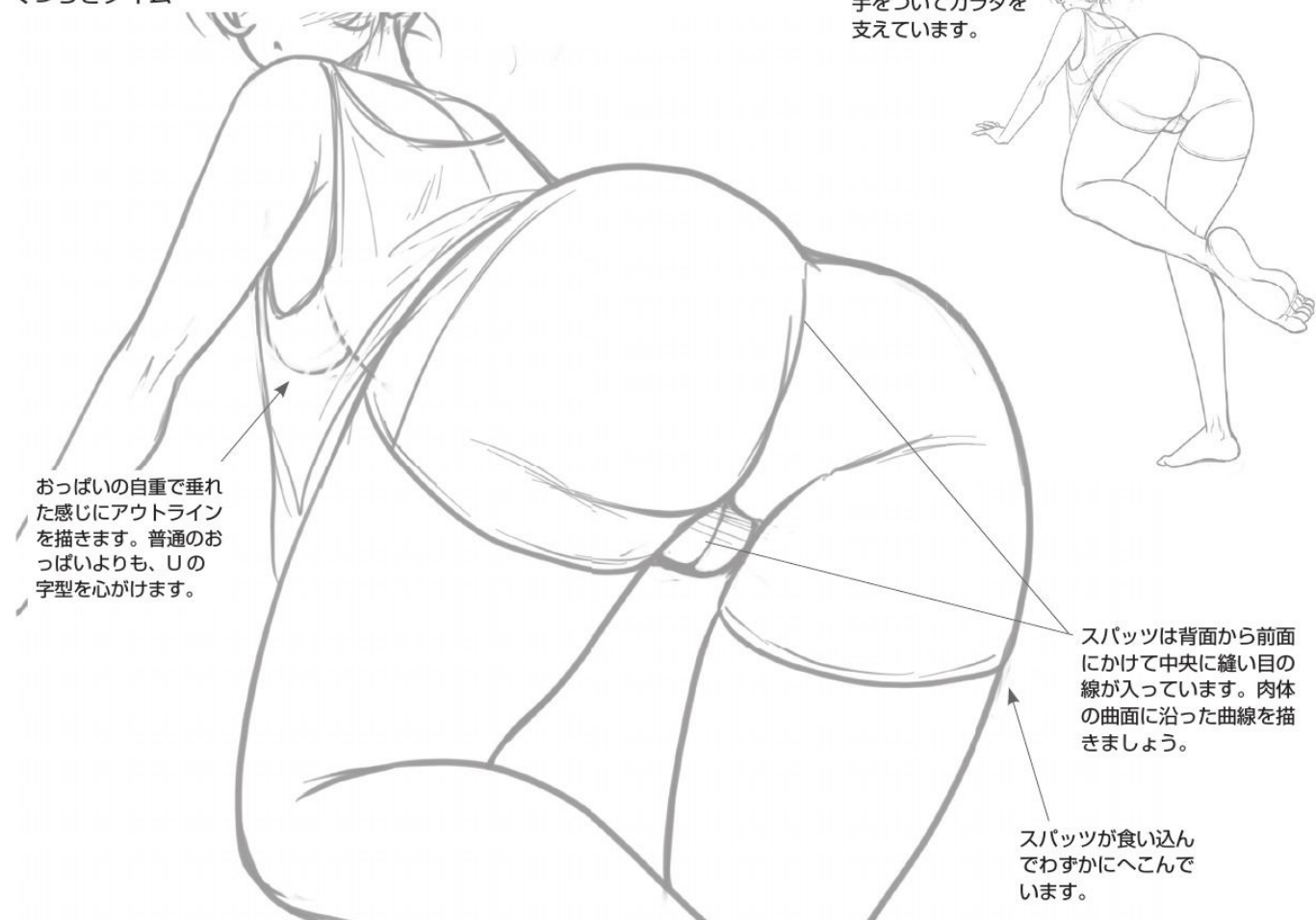
● 下着での脇見せアピールポーズ

● スパッツ＋ゆったりタンクトップ
くつろぎタイム

手をついてカラダを
支えています。

おっぱいの自重で垂れ
た感じにアウトライン
を描きます。普通のお
っぱいよりも、Ｕの
字型を心がけます。

スパッツは背面から前面
にかけて中央に縫い目の
線が入っています。肉体
の曲面に沿った曲線を描
きましょう。

スパッツが食い込ん
でわずかにへこんで
います。

● 短めのスリップ＋パンツで
軽いストレッチ

● 半そで＋タイトスカート
片ヒザ立て
ラフイメージ＋アタリ。パンツを描いて、脚のつけ根をとらえて描きます。
アンダーバストに上着を巻き込んで、おっぱいを強調する着こなしです。
ヒザ、スネ、太ももにタッチを入れて脚部の肉感を強調します。
タイトスカートのまわり込み
わずかにパンツを見せます。黒く塗りつぶしたカゲ表現にして、見えなくする演出もあります。
ビキニ水着　腰かける
両腕でおっぱいを寄せています。
直線に近い真っ直ぐめの曲線にしましょう。
腹部の筋肉の線を入れて引き締まった腰まわりを演出します。
座面にのっている太もも。少し外側にふくらませて、柔らかさを出しましょう。
● 腕と脚で体を隠す
何も着ていないように見せるポーズです。実際は小さいパンツと撮影用のシールを胸に貼っています。
少しだけ寄せられた小ぶりのおっぱい
V（Y）の字状のシワで「寄せられている」ことを表現します。
ブラ
ラフ。脚のつけ根まわりをとらえて描きます。
腕に隠れるブラの形や脚のつけ根、座面のアタリを描いて作画します。

● 布が少なめのビキニ水着でジャンプ

バストショットの色っぽいしぐさ

お色気感は全身のポーズだけでなく、首をかしげる、肩を上げるなど、しぐさ（上半身パーツの動き）でもさまざまなムード（お色気）が生まれます。

手や顔まわりのしぐさ演出

ちょっとこっちを向いたキャラ

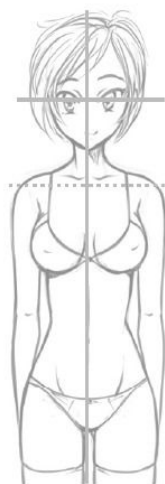
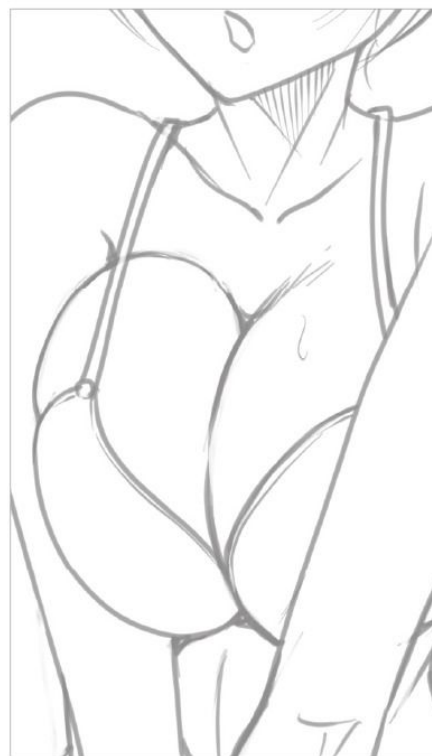
何げに肩を上げる

指をくわえてみる

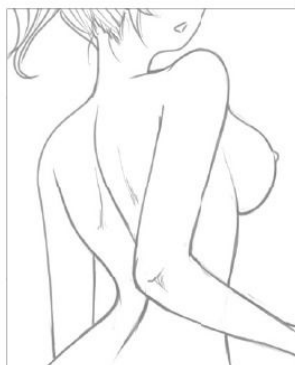
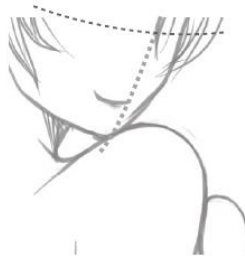
しぐさ表現のポイント

1. 肩の動き
2. 顔の角度を変える（首の動き）
3. 腕や手、指の演技

顔やおっぱいだけでなく、手や腕とのコラボでキャラは色っぽくなったり、かわいくなります。ちょっとした動作で、魅力的なキャラを演出しましょう。

● 何気ない胸寄せポーズ
（正面側のしぐさ演出）

何の動きもない状態。前を向いて真っ直ぐに立っているだけです。

両腕に圧迫されてボリューム感あふれる肉感を生み出すおっぱい。口もとから胸もとだけを描く場合も、頭部、肩、カラダ全体の動きの作画が必要です。

● 余裕の笑みで胸を隠すポーズ
（背中側のしぐさ演出）

隠していない状態

作画のポイント。肩を上げ、胸もとを見せるために腕を後ろに引きました。

あごと口でうつむいた動きを表現します。

あふれ出すようなふくらみを意識して曲線を描きます。抑えつけられたおっぱいの柔らかさとボリューム感が生まれます。

つけ根部分もゆるやかな曲線で描きます。

● ワンポイント　ギャップ演出

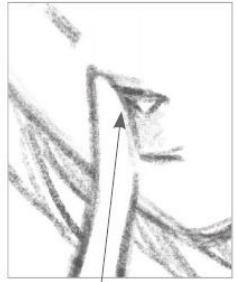
いわゆる
メガネっ娘。
ですが

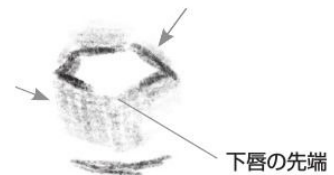
「ギャップ萌え」演出です。「ただ眼鏡をはずしただけ」でなぜか「どっきり」。「キャラの魅力をアピールする」という意味で「色っぽさ」の演出のひとつです（逆に、「メガネをかける姿にどっきり」もあります）。

腕組み（しぐさ）、顔とカラダをナナメに傾けている姿勢、髪の毛の動きにも注目です。

色っぽい手のしぐさを描く

顔のパーツや髪の毛に触れる手や、胸もとを押さえる手など、手が演出する色っぽい作画を見てみましょう。

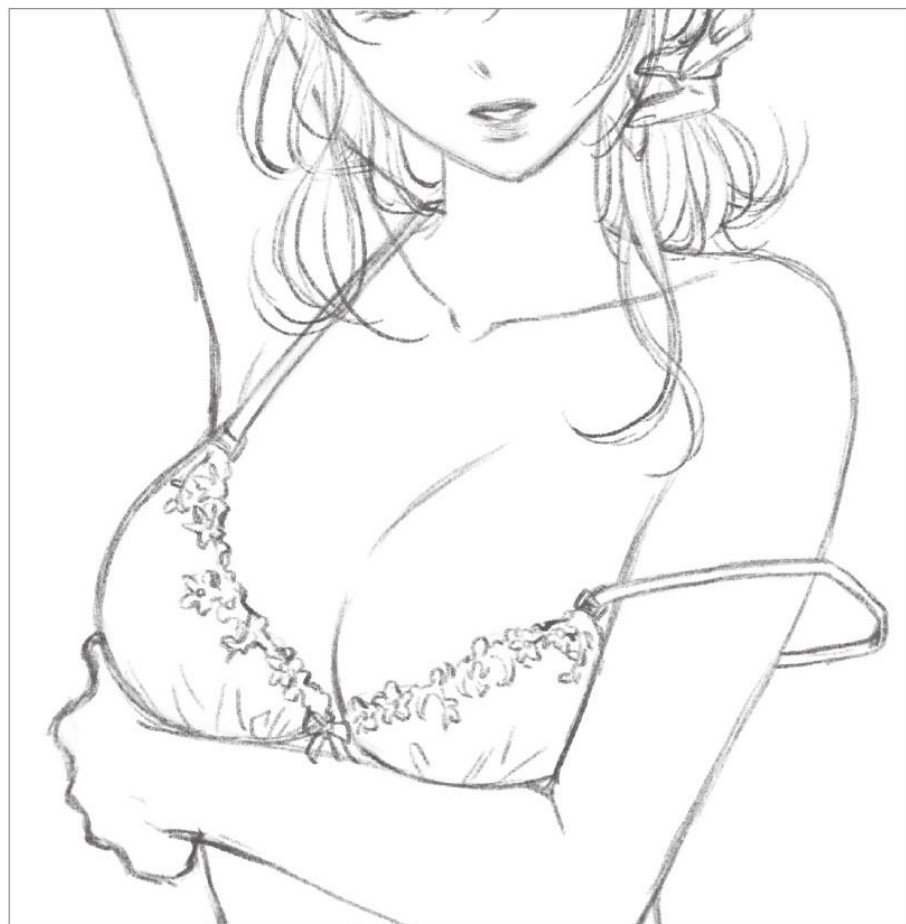
「ないしょ」くちびるムニ♡

開けた口の半分くらいを黒いカゲで埋めることで奥行きが現れ、口の立体感と色っぽさが際立ちます。

「ん …」髪の毛をかき上げて…

下唇の先端

口のりんかく線のとり方に注目しましょう。
両端（口角 / こうかく）部分を濃く描いて、
下唇の先端は線を引きません。

つむった目。まつ毛の密度と方向（外側に向けて伸びています）をとらえましょう。

「はらり」

後ろに回した手でさりげなく髪の毛をまとめるしぐさ。エレガントな所作です。

中心線

デッサン。ポーズのシルエットと、顔とカラダの向きをはっきりさせてから、顔や下着の作画にかかります。

着替え中のしぐさを描く

着替え中を演出するポーズを描いてみましょう。

● 背中側…しなをつくる

おっぱいが
横にふくら
む演出

ラフ。ちょっと首をかしげ、
肩ラインを斜めにします。

しなりをつくる動き

しなりのシルエットは
首の動きと腰のライン
でつくられます。

おっぱいがタテにふくらむ演出

おっぱいが見えない場合。これが自然な
状態で、おっぱいが外側にふくらむのは、
腕で外側に押し出しているからです。

● 前かがみ気味になって隠すしぐさ　前を隠す…「とっさのしぐさ」です。

肩が上がる動きを
とらえましょう。

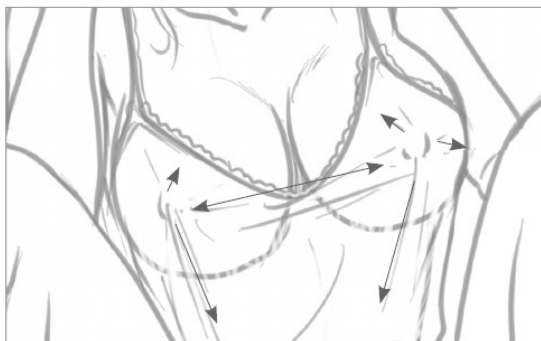
腕を前に回している
ので、おっぱいが押
し出されます。

サービスショットとしての
見せ所（テーマ）は突き出
したお尻です。

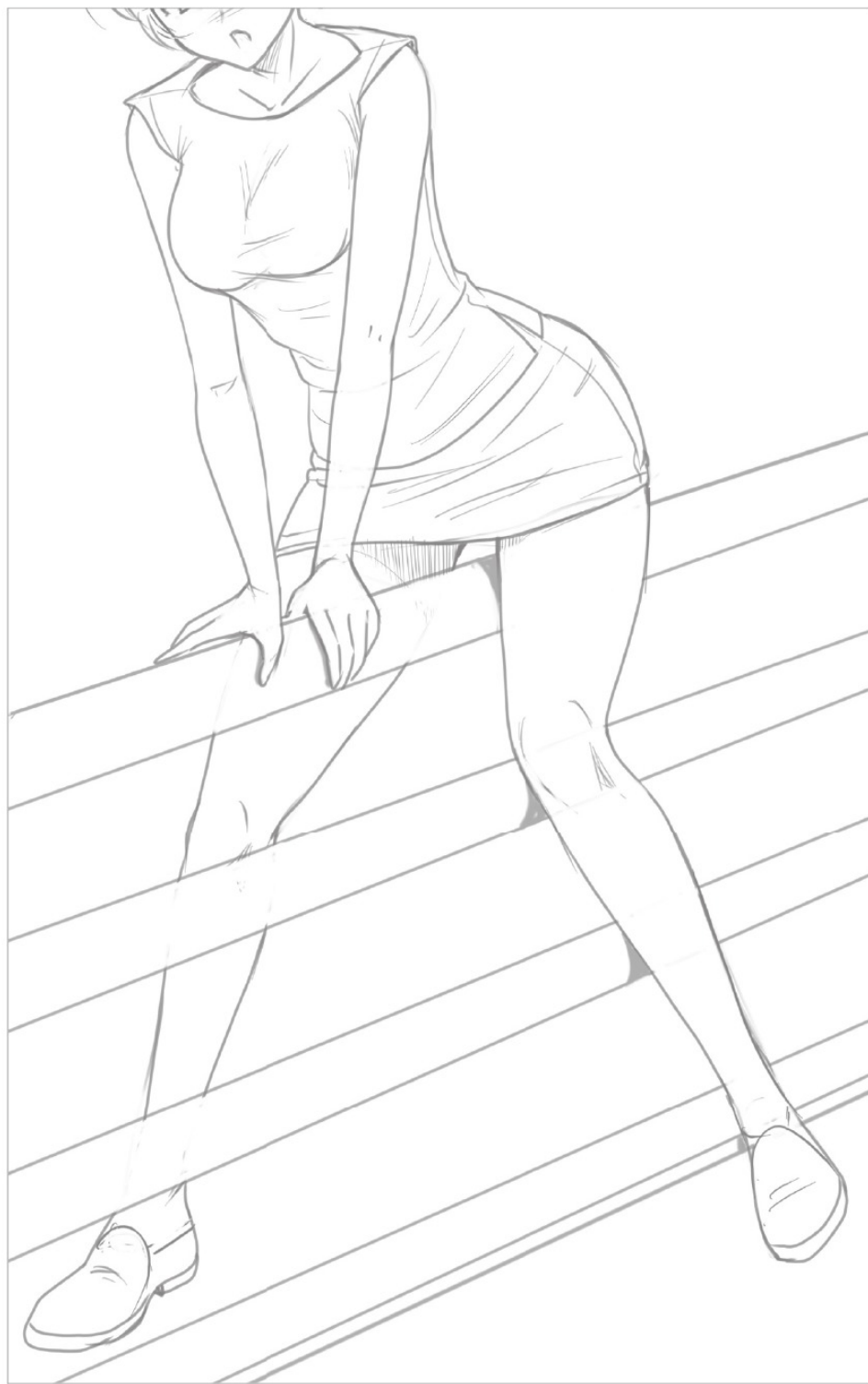
多彩なポーズとしぐさを組み合わせる

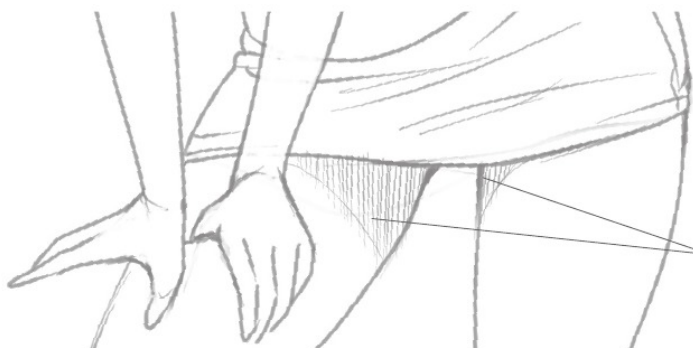
さまざまなシチュエーションがある中でも、「しぐさ」に関わるお色気ポーズは難易度が高いものも多いです。ここでは通常アングルを主体に　・腕の動きのあるもの　・腕や手が胴体の前面にかかるもの　・前かがみ気味＋ひねりなどにチャレンジしてみましょう。

● レギンス＋ハイネックのピタ気味Tシャツ
ノーブラを意識する場合はとがった感じにします。
カラダのラインにピッタリ沿わせて、背面ラインを描きましょう。
バストラインは丸みを帯びさせてもOKです。やさしい感じになります。
細かいシワ
肌が見えます
起点
引っ張る方向と起点を意識してシワを描きます。
パンツのラインが浮き出します。
上着のすそを親指に引っかけています。
レギンスはお尻から脚線にそって、ピッタリ描きましょう。
● ショートパンツを脱ぐ
見られた！
すそ部分で少したわみや厚みを描きます。
この部分にカゲを落としましょう。
デニム生地のショートパンツ。脚を描いてからアタリをとって作画します。

● 下着姿で大胆に股を開いて座る

コラム　ハダカの色気

服では隠さない。でも「全部は見えない」ことによって生まれる色っぽさを描いてみましょう。

● 柵をまたいで超える

柵のアタリを描いてキャラの作画を進めます。

腕やスカートに隠れますが、太ももが決め手になるポーズです。そのため、脚のつけ根からしっかり描きます。

主人公は太ももです。スカートのカゲを落として立体感を与えましょう。色っぽくなります。

第2章

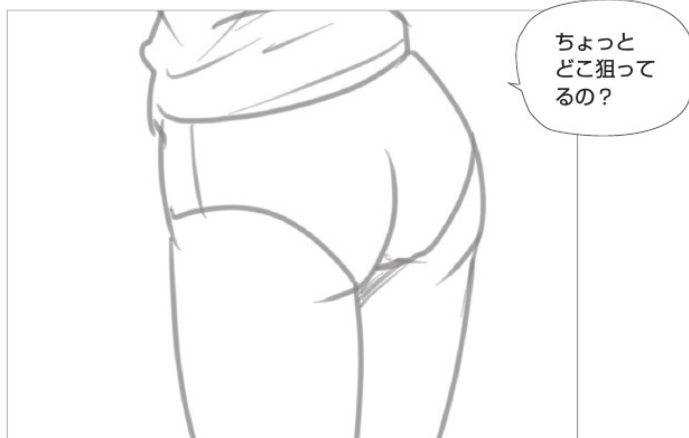
カメラワークで差をつける！

グッとくるカメラアングル

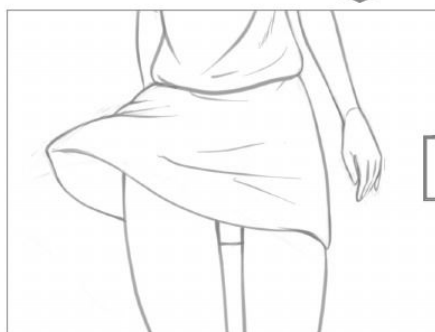
色っぽく見せるにはカメラワークが大切

アオリやフカンなどのように、モノの遠近感を強調して描く手法や、見せたい部分を大きくどアップ（クローズアップ）にするなど、見せ方の演出を学びましょう。

●「普通のカメラアングル」→「お尻強調のカメラワーク」の例

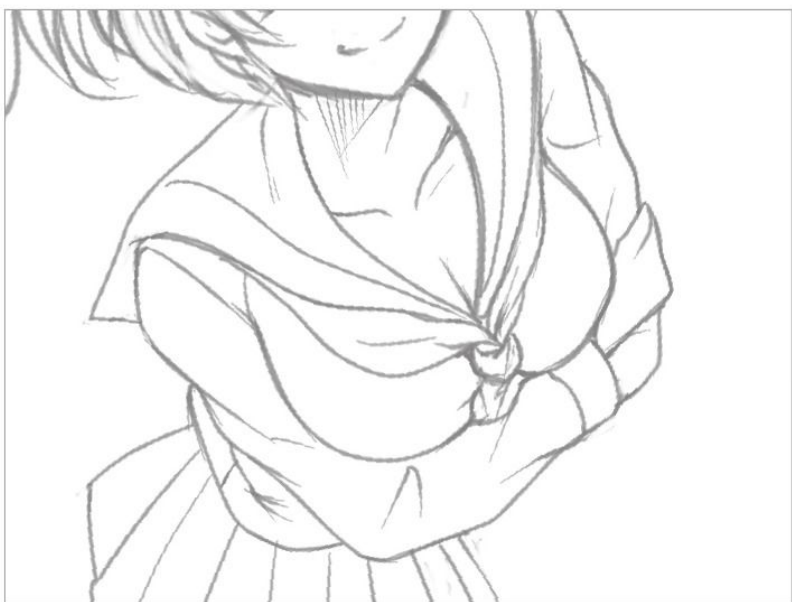
普通のスナップ
（普通のアングル）

アップ（普通のアングルのまま）。お尻は普通に撮ると「見下ろした」ものになります。

後ろにまわり、見上げるようにして撮った場合（ややアオリ）。お尻を狙って撮る、お尻をテーマにして描く場合などの手法です。

● ローアングル / 下から撮る：アオリ表現

普通にアップ

少し近づいてしゃがんで撮った場合（アオリ）。パンチラや股間をテーマにするときなどに用います。迫力の出る構図です。顔が小さくなるので、キャラの顔アピールには不向きです。

● ハイアングル / 上から撮る：フカン表現

普通のスナップ（普通のアングル）

木に登って上から撮った（フカン、鳥瞰 / ちょうかん）。胸もと（おっぱい）の魅力をテーマにするときなどに用います。キャラをアピールするときや説明的なカットでも利用します。

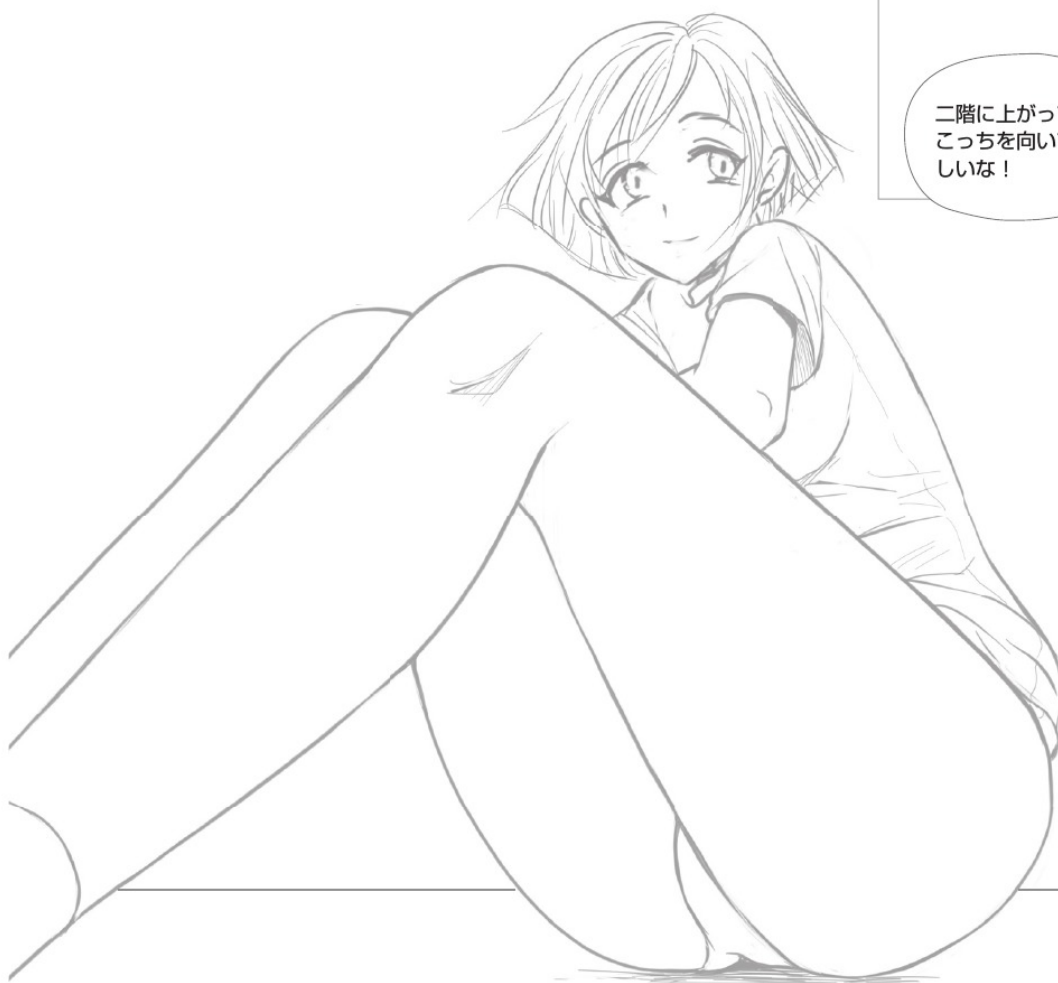
カメラマンになった気分で描いてみよう

ちょっと遠くから
ズームをかけて撮
りました

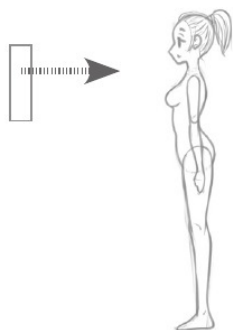
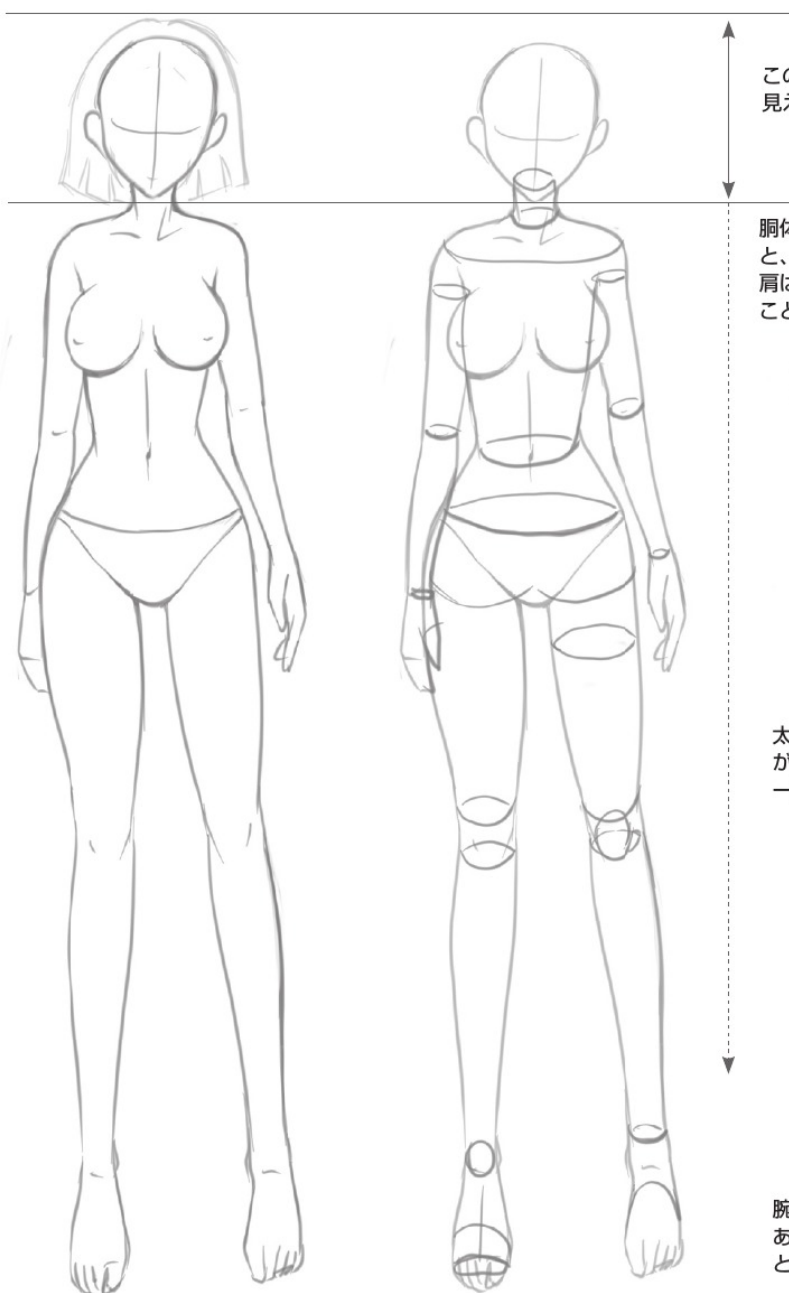
少し離れたとこ
ろから全身を狙
いました

カメラマンになったつもりで、描きたい女の子をいろんな角度から見てみましょう。同じ女の子でも、カメラを構える場所やカメラの角度によって大きく印象が変わって見えるはずです。

見せたいのは色っぽいお尻か、太ももか。それともバストやうなじなのか……。見せたいもの、表現したいものにあったカメラアングルを考え、描いていきましょう。

ちょっと離れて
真横から！
二階に上がって。
こっちを向いて欲
しいな！
腹ばいになって
見上げる感じで
撮ってみました

カメラワークの基本は「標準」「フカン」「アオリ」

普通に立って見る「標準」、上から見下ろす「フカン」、
しゃがんで見上げる「アオリ」をイメージして描きます。

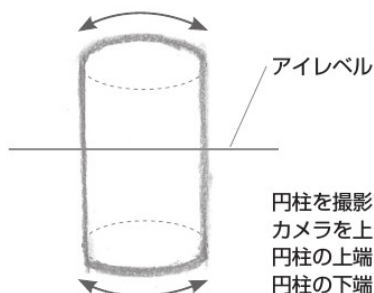
標準

モデルと同じように普通に立った状態でカメラを向けて撮るカメラワークです。

このへんは普通に見えます。

胴体を円柱におきかえると、この図で見えている肩は円柱の上面にあたることがわかります。

太ももやすねも「上面が見える円柱」のイメージです。

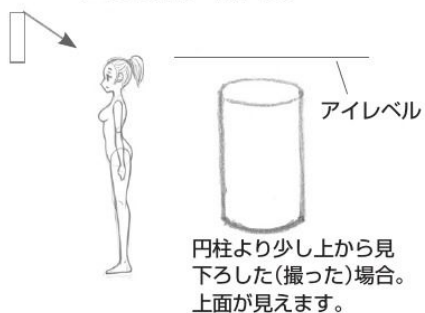
腕や脚は完全な円柱ではありませんが、円柱状にとらえます。

● アイレベルについて

撮る人の目の高さをアイレベルといいます。

円柱を撮影する場合。
カメラを上や下に向けず真っ直ぐに向けて撮ると、
円柱の上端（アイレベルより上にある）…上弦のカーブを描きます。
円柱の下端（アイレベルより下にある）…下弦のカーブを描きます。

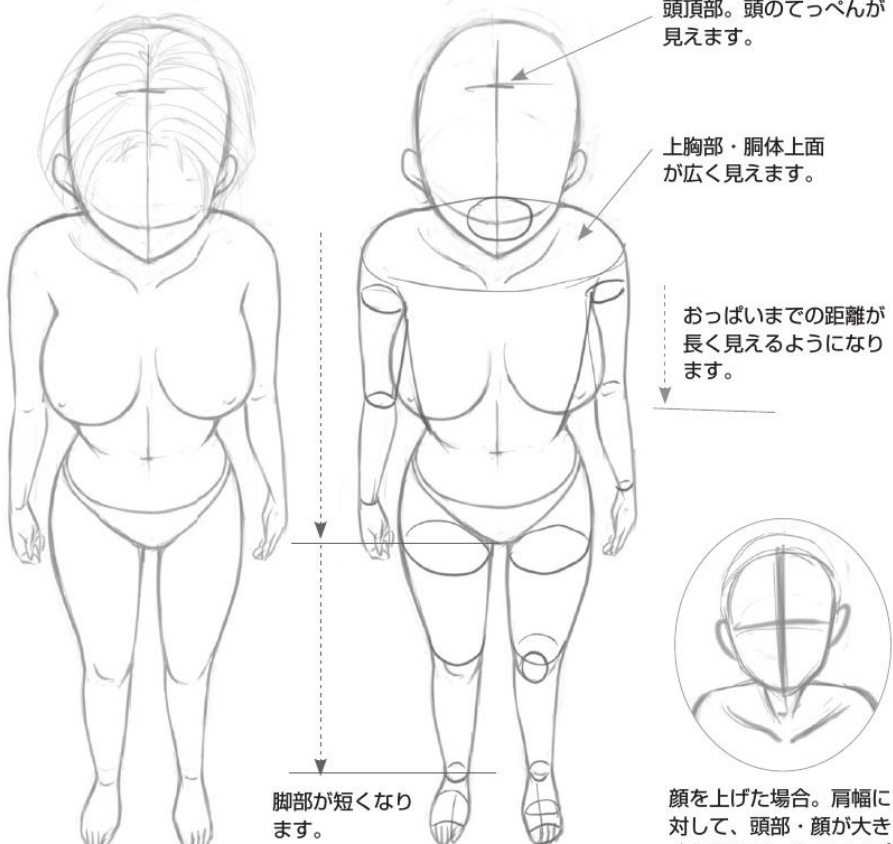
フカン

上から見る・見下ろす

円柱より少し上から見下ろした（撮った）場合。上面が見えます。

アイレベル

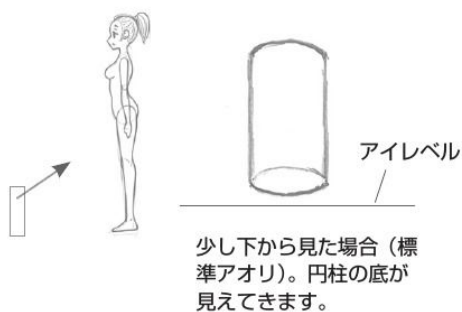
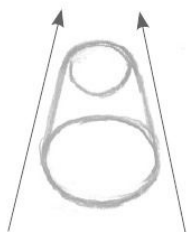
もっと上から見下ろした場合。上面はもっと円に近く見えてきます。

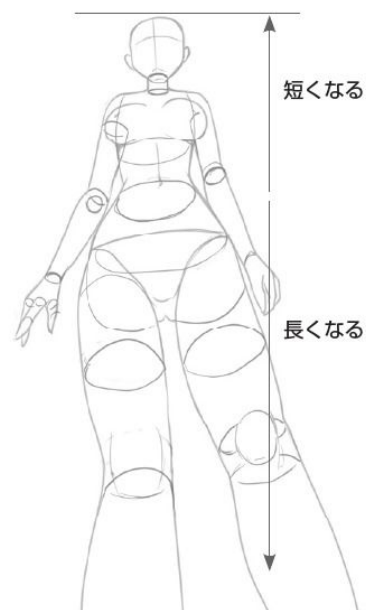
広角フカン

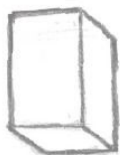
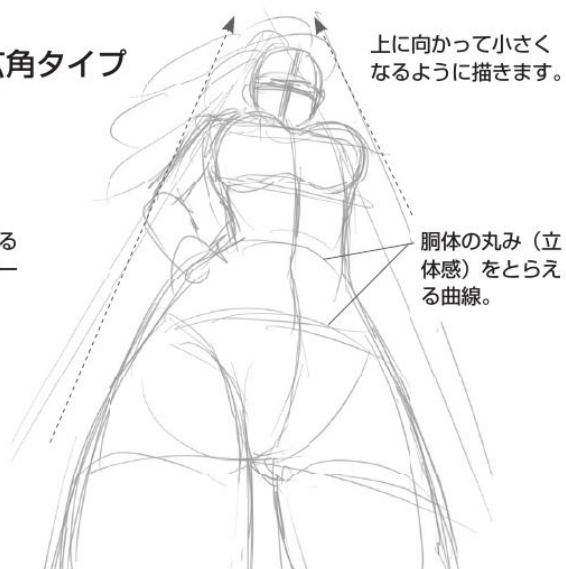
「広角レンズ」（手前がより大きく、奥がより小さく写るレンズ）で見下ろして撮ると、下に向かって小さくなります（p 59）。

顔を上げた場合。肩幅に対して、頭部・顔が大きくなるので、キャラアピール効果があります。

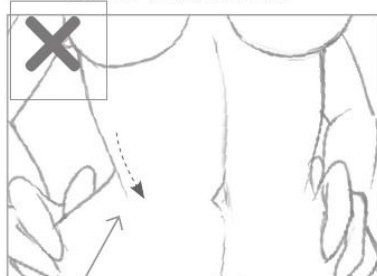
アオリ

下から見る・見あげる

少し下から見た場合（標準アオリ）。円柱の底が見えてきます。

広角アオリ

広角レンズで見上げて撮ると、下が大きく、上が小さくなります（p 57）。

アオリのアングルで描く

「キャラの下から見上げる」イメージです。普通に見上げる「標準タイプ」と、ダイナミックな印象の「広角タイプ」を描いてみましょう。

腰のシワの線に注意

×

腰ぎわの線をこうするとアオリっぽく
なくなります。

○

アオリでは下から上に食い込ませましょう。

服のアタリ。ス
カートもだ円を
描きましょう。

● パンチラショット

服のシワもハダカ
の腰の線の方向を
反映させます。

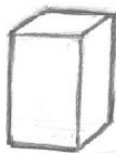
フカンのアングルを描く

「キャラの上の方から見下ろす」イメージです。座っているポーズなどは標準タイプで描き、遠近感を強調したいときは広角タイプを用います。

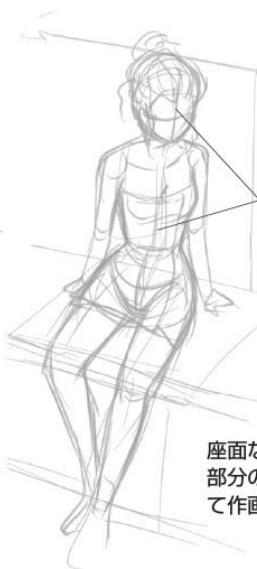
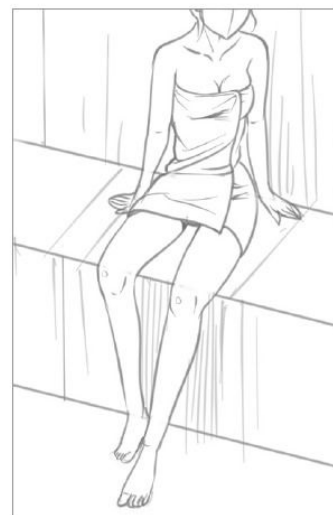
標準タイプ
（簡単タイプ）

● ゆったり湯船につかる

寄りかかる面のアタリを取りながらカラダのデッサンをします。

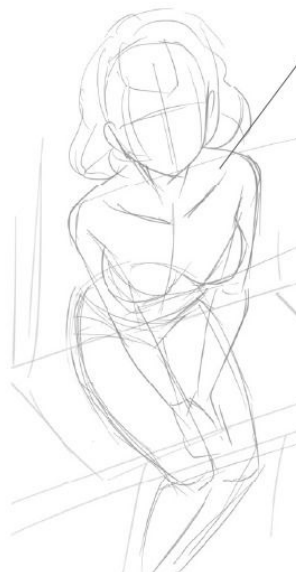
おっぱいは水に浮くので、フカンの構図でもあまり垂れた形にしません。

おなかのシワを入れましょう。

標準タイプは遠近感（手前が大きい、遠くが小さい）をほとんど考えません（水面・水中のゆがみなども、必要がなければ考慮しません）。

● タオル巻きで腰かける

広角タイプ

● ブラウスとタイト
スカートで腰かける

ドラマティックなイメージにした
い場合。顔を大きくできるので、
キャラをアピールしたいイラスト
などでも用いる手法です。

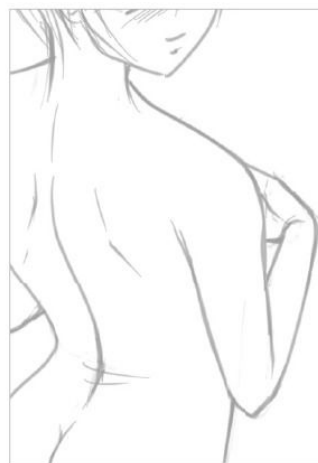
広角タイプは上面の厚み（幅）
を意識して作画します。

座面と背面のタテ横をラフに
描き込んで姿勢や立体のイメ
ージをつかみましょう。

カラダの主線を描きます。

服を描きます。肩まわりや
腰まわりは体のラインに沿
わせます。

服を透けさせたもの。そでの
ゆったり感だけで、ほかは貼
りついているように描いても
違和感がありません。

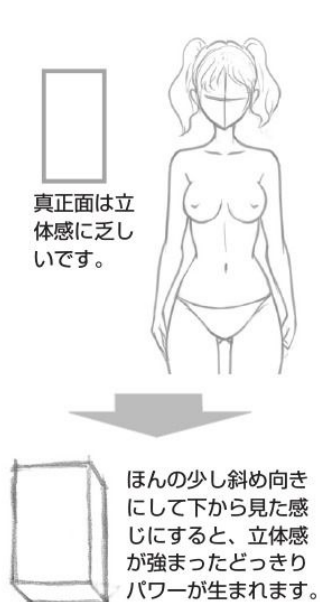
● ハダカ。ちょっと振り向く

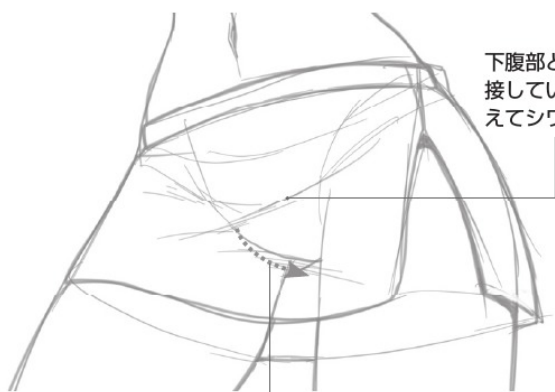
カメラワークを意識した作画①

アオリの色っぽい描写

カラダ・肉体の存在感を強くアピールしたい、お尻を大きく描きたいなどのとき、広角ふうに描きます。

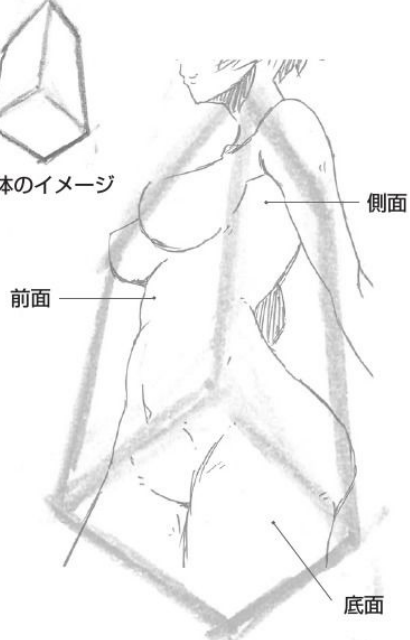
自然体のアオリ

標準タイプのアレンジです。下半身を大きく、ほんの少し広角ふうに描きます。

● 腰まわりの強調

● 下乳を魅力的に見せる

ほんの少し
広角アオリ
デッサン。胸、腰、スカートはだ
円をイメージして描きます。円柱
の「底面」のイメージです。
上着もスカートも体のラインに
ピッタリした感じで描きます。
下腹部とスカートが
接している面をとら
えてシワを入れます。
おっぱい上部
の線を活かし
ます。
股のまわり込み。スカートから離れる部分

● アオリでとらえるおっぱい表現

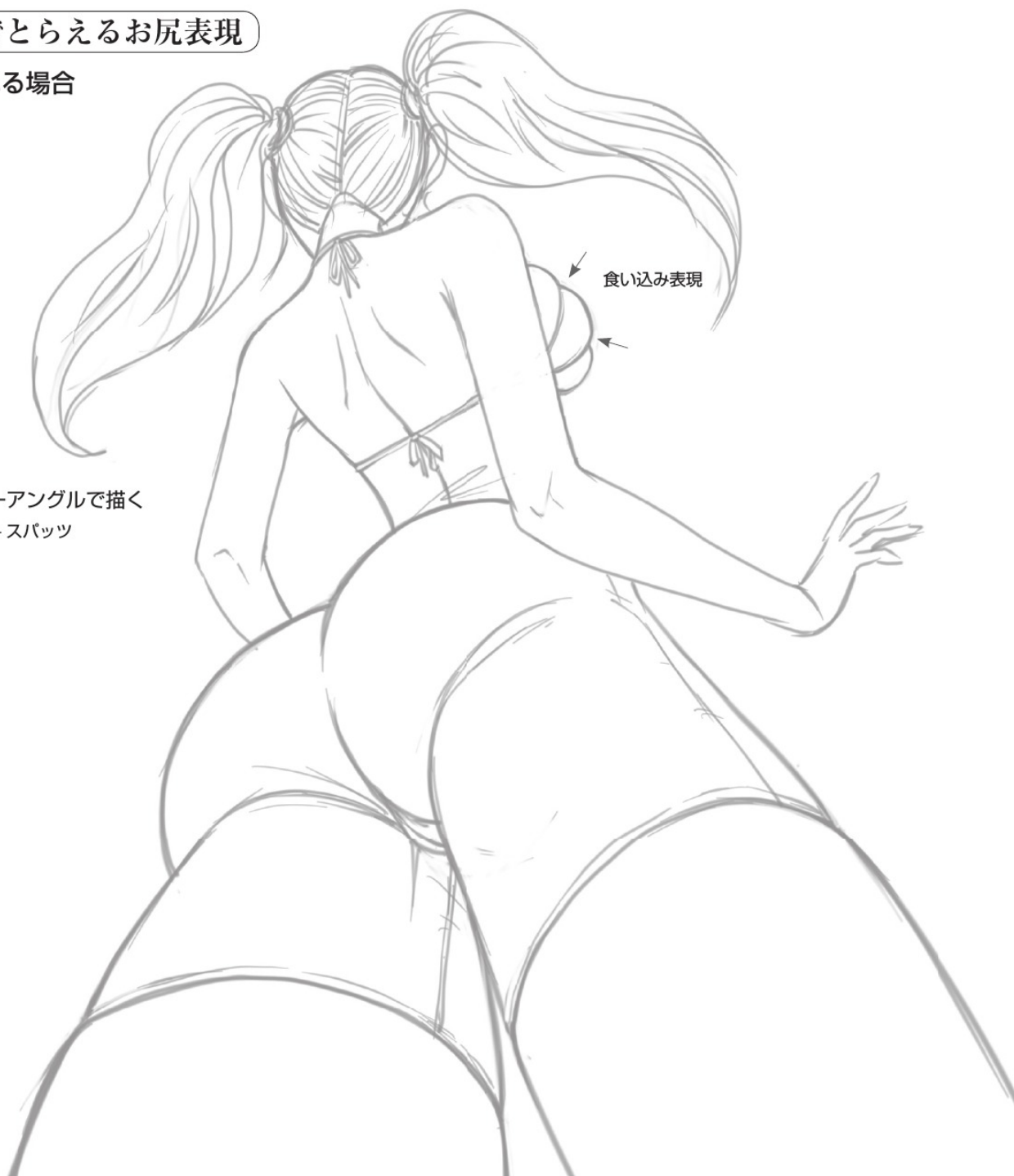
ハダカの状態

透視図

オーバーオールふう衣装の場合。
バストラインは完全に消えます。

透視図

● パンチラ表現
ちょっと広角
アオリ
おっぱいのボリューム
感アピールやパンチラ
サービスは、アオリなら
ではの効果です。
下着サービス
透視図
下乳アピールとショートパンツ
（見えそうで見えない効果）
おっぱいのボリュー
ムと衣装で口が隠れ、
表情がわからなくな
りました。
透視図
表情を大事にした
い場合、顔を大き
めにします。

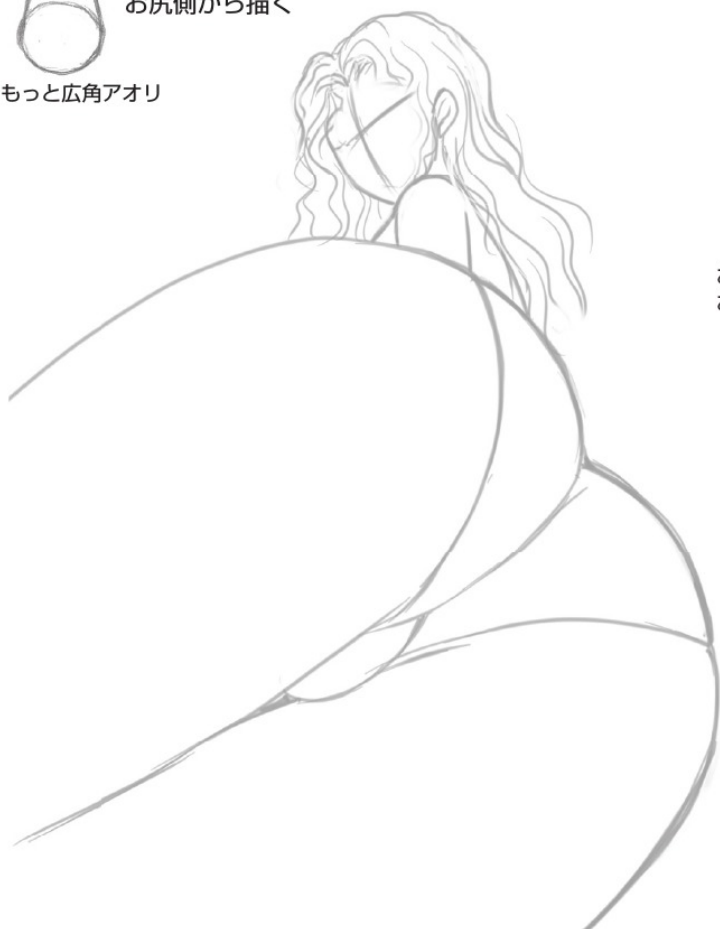
アオリでとらえるお尻表現

● 立っている場合

● 横になっているポーズの場合

広角ふうになる構図です。後ろや下からの構図は、自然に遠近がつきます。

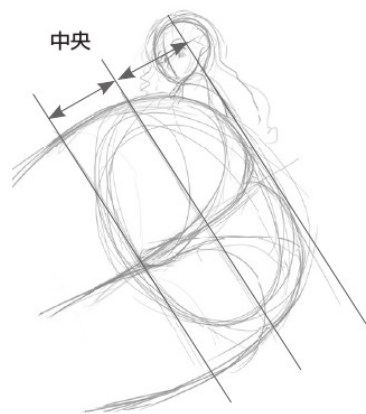
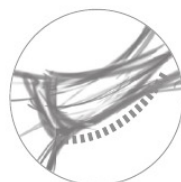
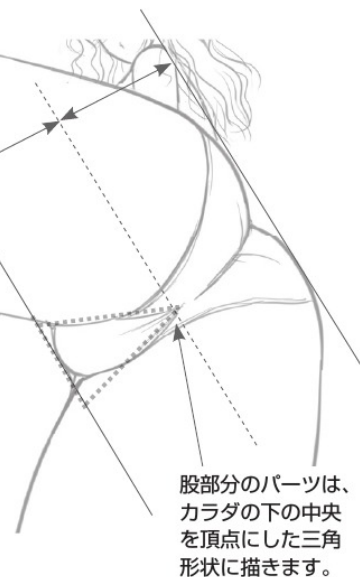
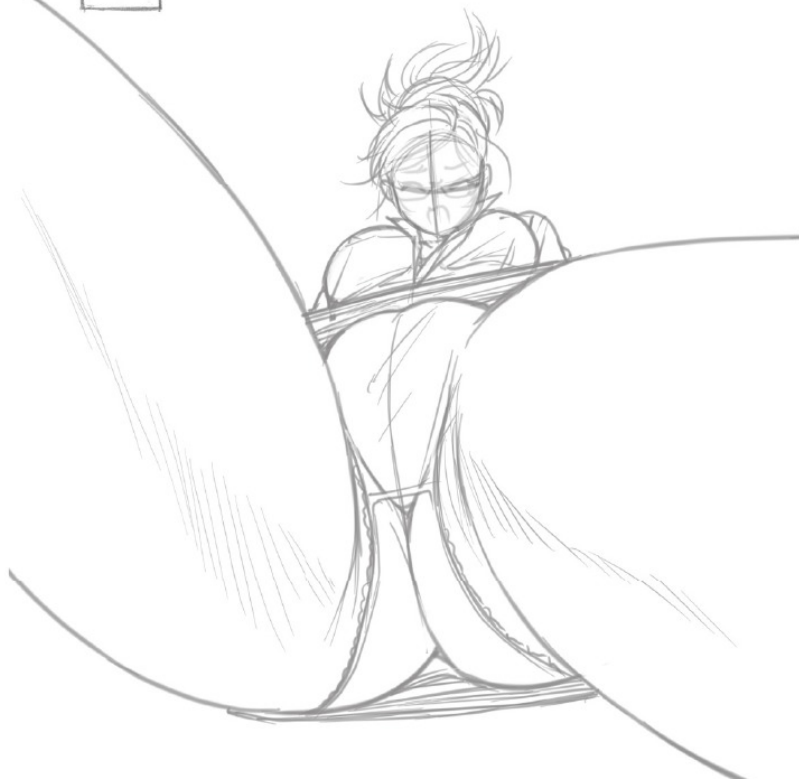
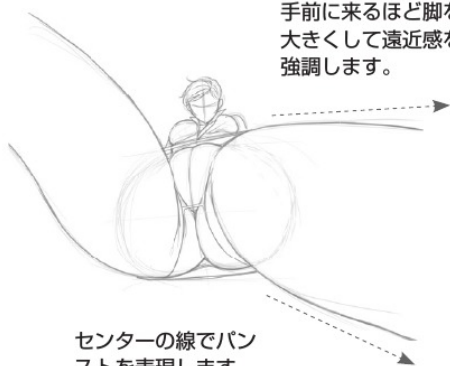
横になっているポーズをお尻側から描く

もっと広角アオリ

中央

お尻と頭のアタリを描きます。
お尻を大きくとりましょう。

脚を広げた場合

脚を閉じたときに生かす丸み

股部分のパーツは、カラダの下の中央を頂点にした三角形状に描きます。

転んだシーンを脚もと側から描く

手前に来るほど脚を大きくして遠近感を強調します。

センターの線でパンストを表現します。

カメラワークを意識した作画②

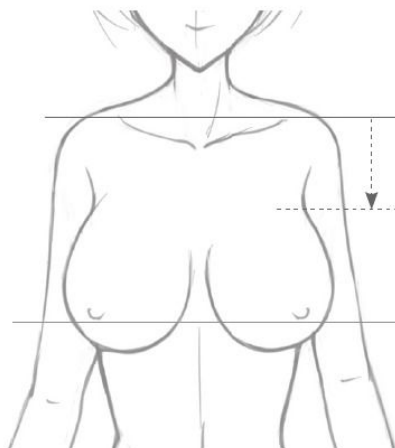
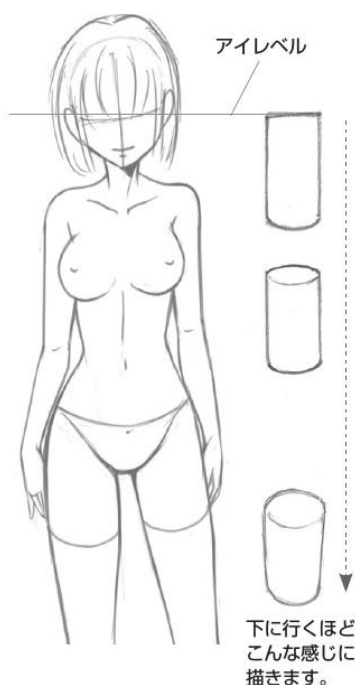
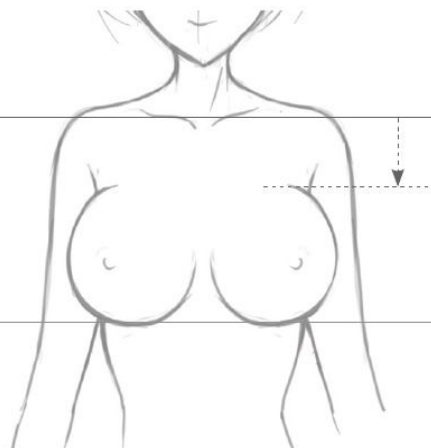
フカンで色っぽく描こう

フカンの絵には、説明的に用いられるフカンと効果として描かれる「ダイナミックなフカン」があります。

自然体のフカン

普通のショットでも、カメラより下になる部分はしばしばフカン的に描いて立体感を出します。

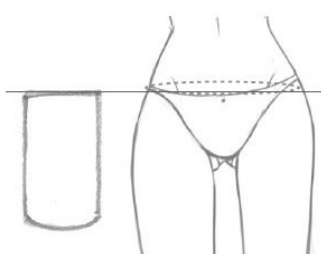
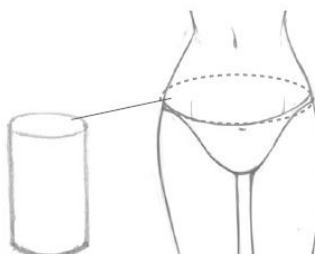
● 正面側

おっぱいまわりの作画

普通に見たまま描くと、おっぱいは見下ろした感じになるので、肩からずいぶん下になります。

おっぱいの位置をカッコ良く調整（デザイン）した場合。見えないブラジャーで形を補正しているイメージです。

パンツまわりの作画

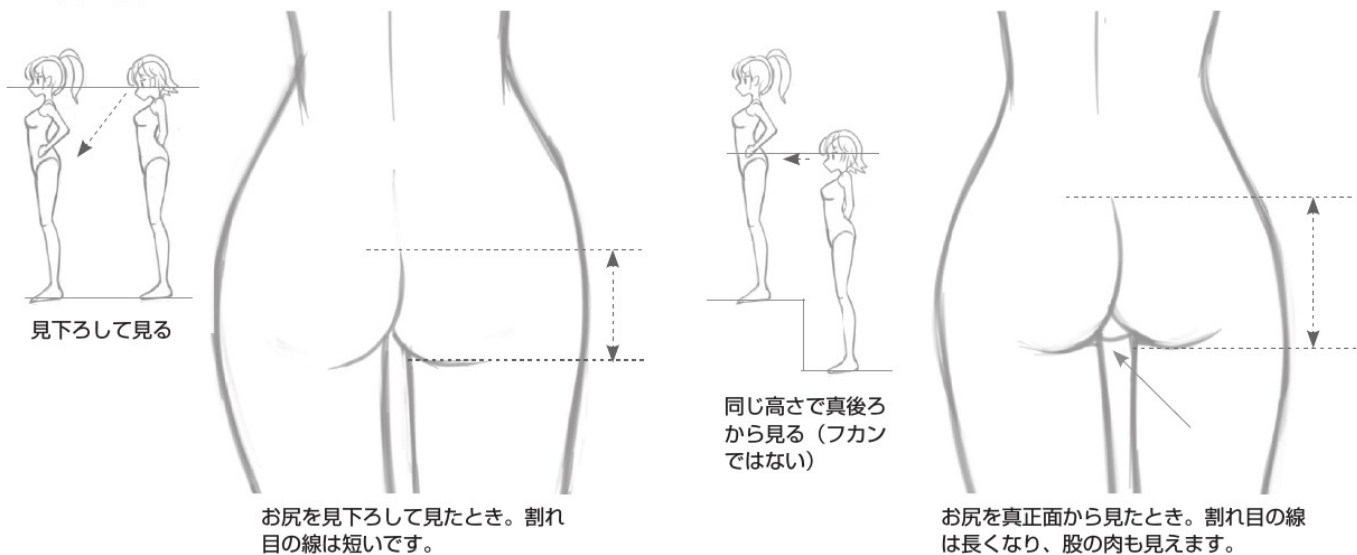
普通に立って見たときの下腹部。お尻の肉はほとんど見えません。

しゃがんで真正面から見た場合。お尻の肉が見えます。

● 横

おっぱいとお尻はそれぞれ、少しずつ「上から見下ろした見え方」で描くと立体的。

● 後ろ側

お尻を見下ろして見たとき。割れ目の線は短いです。

お尻を真正面から見たとき。割れ目の線は長くなり、股の肉も見えます。

説明ショットのフカン

シーン紹介など、「説明的に伝えたいショット」は標準タイプのフカンを用いることが多いです。

自宅のリビングカウンターでくつろぐ

参考全身ショット

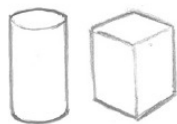
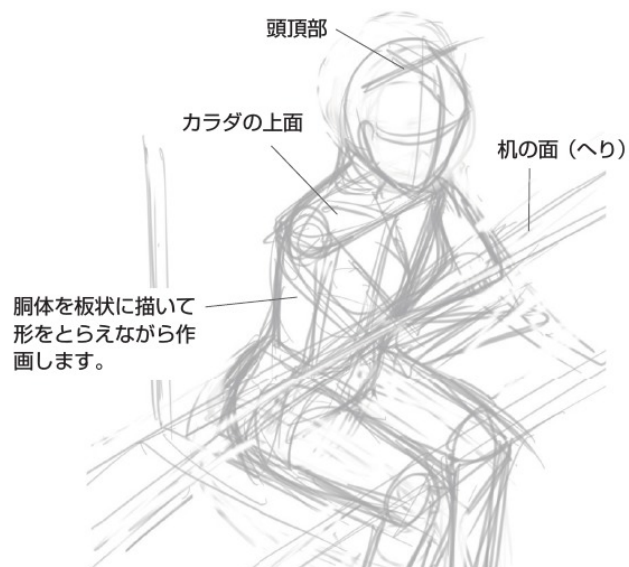
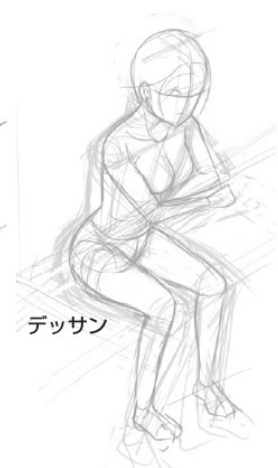
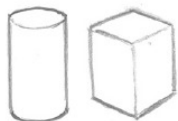
デッサン

頭頂部

カラダの上面

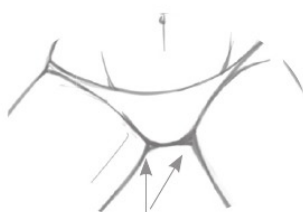
机の面（へり）

胴体を板状に描いて形をとらえながら作画します。

アタリ。全体のイメージを描きます。

標準タイプのフカン

● 腹ばいになってくつろぐ

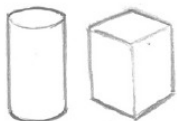
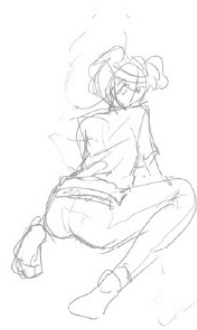
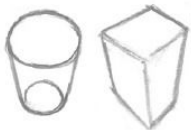
ハダカの場合

タオルを巻いた場合

シワは短く、アクセント的に入れることでピッタリ巻き感を出します。

くびれ

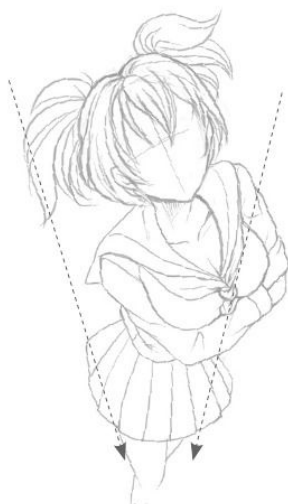
はみ乳感（横に張り出すおっぱいのボリューム感）を演出するシワ

タテ（垂直）方向に入れるシワで、胴体の立体感を演出します。

● 床にぺったり、脚を開いて座る

標準タイプのフカン
● 肌脱ぎ＋ローライズ
レギンス。ひとやすみ。
ハダカ
ラフイメージ
透視図
おっぱいは
そでで隠れ
ています。
レギンスは脚の肉
感も反映させまし
ょう。
ラフイメージ
●「暑い…！」
おっぱいのイメージ
も描き込みます
流れる汗の線は、
カラダの曲面を
意識した曲線が
効果的です。
箱状のアタリや関節
をとらえながら描き
ます。

ダイナミックなフカン

広角タイプのフカンを
用います。

胸もとアピール

胸当てナシのセーラー＋腕組み
でおっぱい抱えるようにポーズ。

胸当て。取り外し
可能です。

下に向かって小さくなる
ように描きます。

ハダカ＋パンツ。太
ももの立体感をとら
えるため、ニーソッ
クスも描いています。

透視図

肩と胸のつけ根
を平行にとらえ
ます。

パンツのラインで胴
体の立体をとらえま
す。だ円状です。

デッサン

胸もとアピール

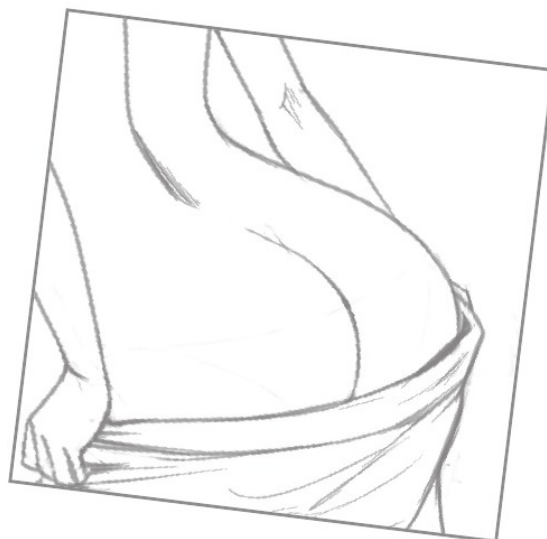
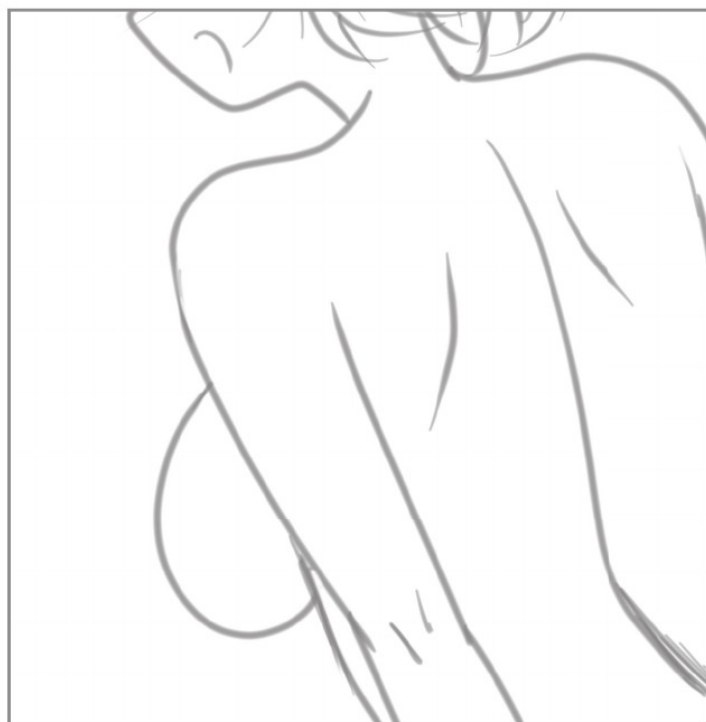
胸元のあいたドレス。おっぱいの自然なボリューム感とバストラインを見せます。

ハダカ+パンツ、ストッキング

ドレスのラフ（透視図）

参考図。上を向いたポーズのアオリショット（軽い広角）。

見せたいものをクローズアップしよう

アニメやマンガで良く用いられる「アップ」ですが、カットやイラストでもインパクトのあるものになります。部分だけ描くと失敗しやすく、大づかみでもある程度全体のポージングを描いてから、必要な部分を拡大して仕上げます。トレスを利用することもあります。

はいてなかった演出

肌脱ぎ　勢いのいい肌脱ぎショット。下着でなく、水着のブラでもドッキリさせます。

ラフデッサン。勢いを表現する必要があるので、胸を反らせた姿勢が重要になります。そのため、太もももぐらいまでカラダを描きます。

全体イメージ

おそらく現実にはこうはならないだろうというブラと肉の状態ですが、おっぱいの躍動感と肌みせの魅力をアピールすることを優先。そもそも、実際にこんな脱ぎ方をすることはめったにないかもしれません。

サービスショット

全体イメージ

片側の肩ひもが落ちている
脱ぎそう、脱げそう……のドキドキ効果。おっぱい半分が布に覆われていることで、素肌の存在感が格段にアップします。

ハダカの場合

説明的に伝えたいショットや部分アップはフカンの絵になることが多いです。フカンの構図は、アオリよりもわかりやすいものになる特徴があります。

はいてない場合。「隠して生まれる色っぽさ」です。

パンチラ＋太ももアピール

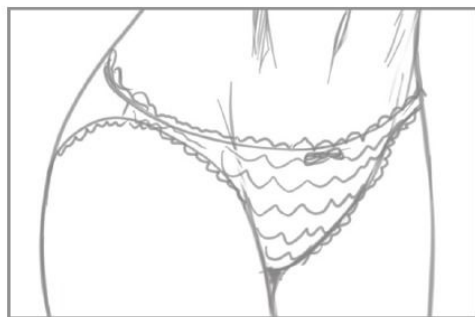
ブラチラ

ハダカの場合

ポロリ効果

全体イメージ＋服の透視表現

パンツはハイレグタイプ。

伸びをするポーズ

パンツのアップ

T シャツのシースルー演出

本来はパンチラ演出

ハダカの場合

パンツなしの場合

コラム　線について

太い線と細い線、太い部分と細い部分を持つ抑揚のある線など、線によって立体感や質感が表現できます。「線は一度引いたら終わり」ではなく、なぞって太くしたり一部を消したりして好みの肉感（立体感や質感）を描きましょう。

普通に色っぽい作画　一般に、アウトライン（りんかく線）をくっきり太く描き、カラダの内側やカゲのタッチの線は細くして肉感を出します。

肉感と肌感に少しこだわった作画

ほとんどすべての線を同じ太さで描いたもの。カラーリングなどで利用しやすく、塗りながら線を消したり太さをコントロールします。

アタリの線。消せるように細く、薄い線が多いです。

ラフの線。重ねたり引き直したりしながら、形や立体を追いかけます。

描き慣れてない場合。力一杯、線を引くことだけで精一杯だとこんな感じになりがちです。力を抜いて線を引いてみることからはじめましょう。

その他のカメラワークを意識した作画

マンガパースで描く

ここでは「撮影だと難しいけど、絵なら描けるもの」（マンガパース）による作画を見てみましょう。色っぽいパーツを強調しつつキャラの表情も魅力的に描けます。

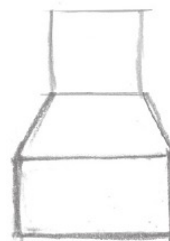
標準

通常アングル
標準タイプ。
もっとも当たり前に「わかりやすい」画面になります。

広角

アオリの広角タイプは、画面に迫力が出て、印象的な画面になります。お尻やおなかなど、「見せたい部分」を強調して伝えられる反面、顔が小さくなる欠点があります。

アオリの構図
広角タイプ

パンツの線が浮き出して見える場合

アオリでお尻のアップを狙うと顔が小さくなってしまいます。また普通にお尻をアップにすると、お尻しか写らなかったり。そこで、アオリふうに描きながら、顔を大きめに描いてしまうのがマンガパースです。

● ロング・広角イメージからマンガパースへ

広角タイプで描いて、「顔が小さくなりすぎたかな？」というときは、「あとで顔をちょっぴり大きく描き直す」…たったそれだけでマンガパースのできあがりです。

第3章

色っぽく感じる**表情**と**パーツ描写**

表情やパーツ描写を変えるだけで色っぽい！

● 顔（表情）

キャラの色っぽい雰囲気は、出そうと思って出すものです。くちびるもお尻もおっぱいも、形をくっきりさせたりカゲをつけるなどして、存在感を高めます。

顔・表情描写に変化をつけるポイント
…目もと（まつげ）、くちびる表現など。

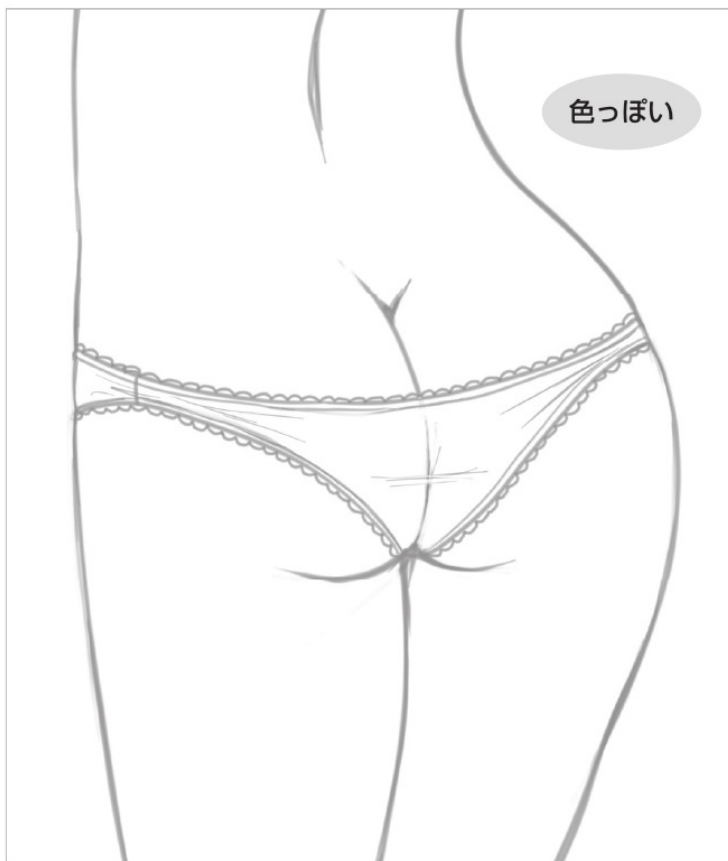
頬の赤みで、ちょっと照れたかわいい笑顔

頭部のアタリはどちらも同じです。

色っぽい

含みを持った笑顔。伏し目がちに少し目を開ける表現
+くちびるを少し強調。

● お尻

色気をおさえる作画。パンツの布幅を広くしてお尻の割れ目を隠します（お尻の線は描き込みません）。おむつタイプともいい、イチゴ柄や動物の顔などを描き込むと、もっとかわいい感じが演出されます。

色っぽさを出す作画。パンツの布幅を狭くし、布を通してお尻の線も見えるくらい薄い布を演出します。「透けて見える」の演出です。

● おっぱい

色気をおさえる作画。おっぱいは控えめサイズにして、シワでふくらんでいる感じを出します。ただ、Tシャツや体操服はこれだけでも十分色っぽい感じになります（さわやかな色っぽさ）。

色っぽさを出す作画。おっぱいのふくらみを大きくし、下乳のアウトラインも描きます。シワやカゲで肉感をアピールし、必要に応じて乳首のふくらみもカゲで表現します（体操服の場合は、マンガならではの表現です）。

ドキッとするような表情を描こう

うったえる、お誘い、無邪気、妖しげなど、さまざまな表情に色っぽさをプラス。多様な瞳の表現に注目しましょう。

● 瞳の表現

妖しげな微笑み。誘っているムード。

ちょっぴりおどけ。でも目は半分マジ。目の中の色を薄めにすることで、ちゃめっ気と「半分マジ」な感じを演出します。

憂い。カゲ表現なしの場合。
憂いの表現は、ストレートに思いを向けてこない代わりに、主人公の青年などがふと見かけてドキッとするなど、「いつもと違うキャラムード」を印象的に演出します。

● 頬の赤みに注目しよう

喜びの笑顔。ほおの赤みには「期待」や「ドキドキ」、ものすごい喜びなどの思いや状況が背景にあります。ワンカットの場合、見る人の想像をふくらませる効果もあります。瞳孔も虹彩も白くすることで、ふわっとした印象を高めます。

真正面からの笑顔。少し上向き気味で、うったえかける力や、喜び感が強まります。

悲しみ＋怒りの思いをうったえる。少しうつむき気味にして､上目遣い気味にすると「にらむ」「うったえる」感が高まります。瞳孔を強めの濃い色でくっきりさせることで、感情の強さが現れます。

やさしい思いで見つめる。うつむき気味で優しい表情は、見守る感が生まれますが、全く正反対の「求める」表情にも通じます。目線の先にあるものを、読者が何を想像するかによって変わります。

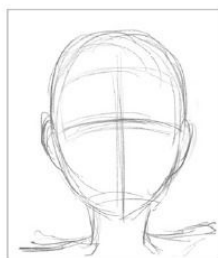
普通の表情を色っぽくしてみよう

目や瞳、口もとなど、顔のパーツ表現のいろいろです。普通の表現を「ドキッ」とグレードアップさせる描写を見てみましょう。

● ちょっとびっくり

普通

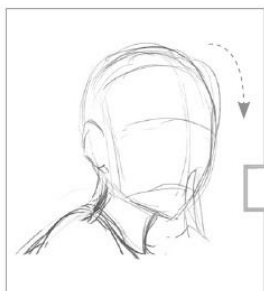
普通にちょっと驚いた顔。
微妙にうろたえ。少しうれしい。

瞳はタテ長。丸くぱっちりさせると驚き感が出ます。

頭部のアタリは共通。ほんの少し上向き気味です。

色っぽい

目をやや細めにし、下まぶたの線を描きます。瞳はまぶたに隠されて横長のだ円ふうに。ハッと驚いた後、戸惑いや喜びが表に出てきた、という表情になります。

● ないしょ♡

ぱっちりした瞳。素直な感じです。くちびるも強調しません。

少し首を伸ばして上向き気味にします。また、肩も少し前に出すことで色っぽい感じが出ます。

色っぽい

目を少し細めてまつげを濃くします。瞳孔もくっきりめに描いて、目線を強めます。口も小さく開けて、くちびるの表現を加えます。

● ああ、うれしい…

つむった目の表現。目もとぎわに少し毛先の表現をくわえるだけで、かわいい感じが出ます。

アタリは共通。胸もとに手をあてるしぐさは、エレガントなムードになります。

色っぽい

まつげを房表現にしてつむった目を強調し、くちびる表現を加えます。

● どうしたの？

普通

誘う表情です。瞳全体を塗ることで、「いつもと違うムード」「ちょっぴり妖しい」雰囲気が生まれますが、微妙にかわいいムードも残ります。

アタリは共通です。肩の演技（少し肩を上げる）＋首をかしげるしぐさで「かわいい感じ」や「おねだり感」が生まれます。

「色っぽい」バージョン。
カゲ表現なしの場合

色っぽい

目を細め、瞳孔の色を描き込むことでかわいらしさが消えて、妖しいムードが強く出ます。

表情の作画を通してパーツを学ぼう

目と口の表現

点と線だけでも描けてしまうのがキャラの表情です。色っぽい顔や表情を演出するときに重要な、目（まつげ）と口（くちびる）の基本的な性質と表現を見てみましょう。

● すっぴん（化粧をしない顔）とフルメイク（化粧濃いめ）表現を比べてみよう

すっぴん（化粧なし）。目も口も眉毛も、ほとんど「同じ太さの１本の線」で描いています。

お化粧濃いめ。目もと（まつげ、まゆげ）、くちびるを強調します。まゆげもタッチで描きます。

デッサンの手順

パーツの形を取っただけです。

この段階で、上下のまぶたを太くしてまつげの房を表現し、くちびるを描きます。

● 目をつむって口を開ける

これだけだと、ごく普通になります。

まつげを濃くし、口にくちびると舌を描き込んでみたもの。

目もと

● まぶたの動き

目を伏せるときは上下のまぶたが動きますが、マンガ表現ではアレンジ（デフォルメ）が必要です。

目をつむった作画表現

実際の目の動き通り、下まぶたよりも上のほうにつむった目の線を描いた場合。目（まぶた）と鼻の距離が広がり、目も小さく見え、髪の毛がないと別人に見えます。

目を開いたときの下まぶたの位置に、つむった目の線を描いた場合。このほうが、もとのキャラっぽく見えます。

横から見た場合

目を開けているとき

目を閉じはじめる

リアルふうに目をつむった表現。目が小さく見えます。

下まぶたに合わせて目を閉じたマンガ的表現。

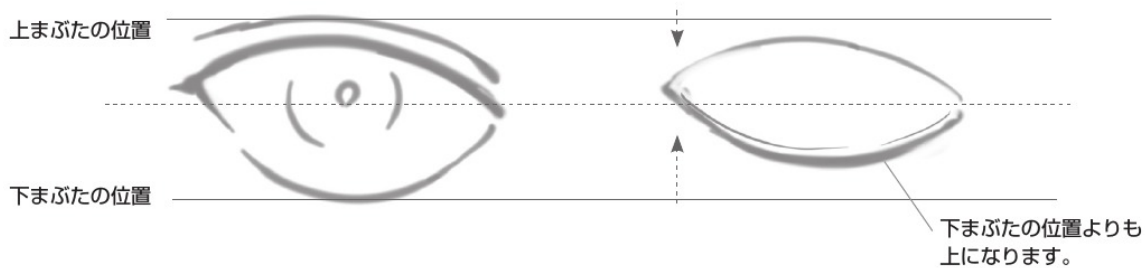
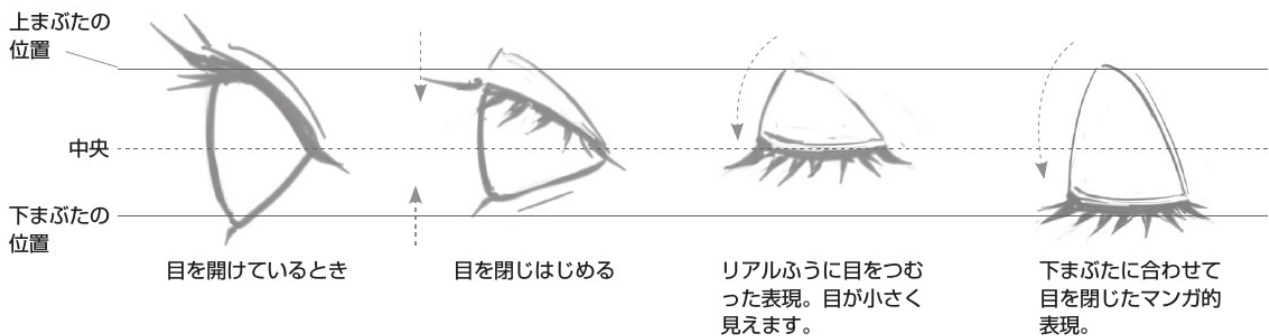
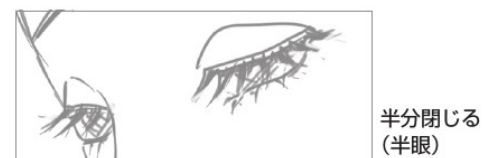
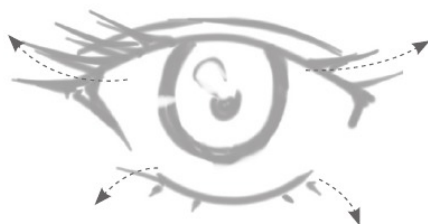
● まつげ表現

まつげは外側に向かって描きます。

目を閉じた場合

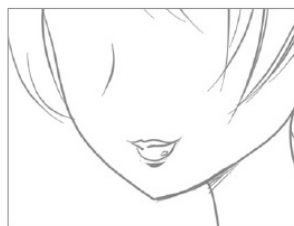
目を開けているとき

半分閉じる（半眼）

目を閉じる

くちびる

口もとに立体感をつけると、かわいいイメージよりもセクシーさや大人っぽい色っぽさを持った雰囲気になります。

● 斜め向き

下くちびるを強調するタイプ

上下のくちびるの形を描くタイプ

下くちびると上くちびる中央のくぼみを描くタイプ

口をすぼめ気味に開いた場合。上くちびるの形を強調しなくても、線でくちびるの形を想像させるものになります。

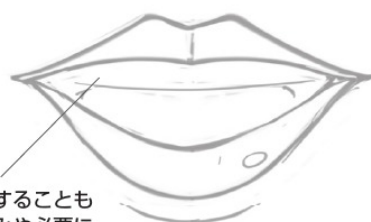
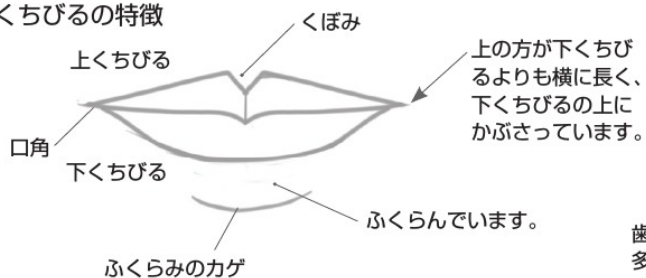
● 正面　色っぽく閉じた口

シンプルな線で描いたもの

両端（口角）と中央にアクセントをつけたもの

下くちびると上くちびる中央のくぼみを描くタイプ

シンプルに口をむすんだタイプ

くちびるの特徴

● 横

リアルタイプの横顔

少しとがらせた口

口を開けた場合

横顔の口もとのバリエーション

アウトラインの内側に口を描くタイプ

口もとのみリアルふうに描くタイプ

● 表情と口もとの表現

口の形で、いろんな表情が生まれます。口の中やくちびる表現も多彩です。

にっこり笑顔

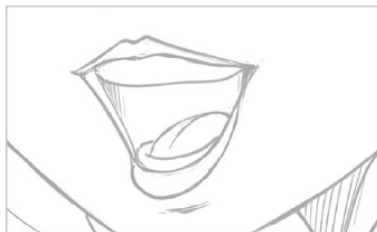
口の中を省略するタイプ

むっつり不満顔

いわゆる「への字」

泣く顔

ゆがんだ長四角

くちびるや口の中を描いた場合

舌でリアルな存在感が生まれます。

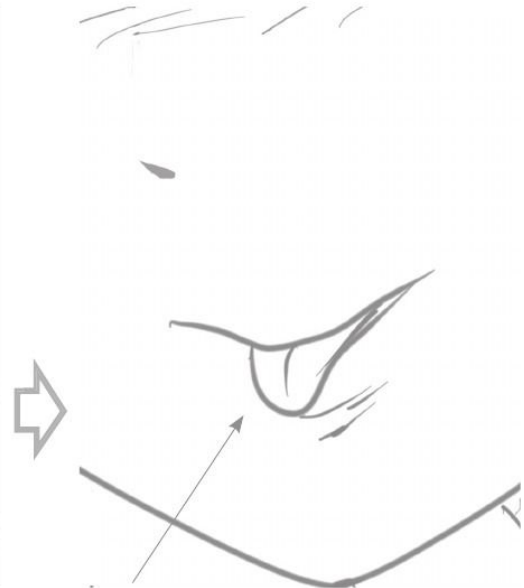
下くちびるを強調して口をとがらせたイメージに作画。

くちびるを描き込むと、ゆがんだ感じが強調されます。

舌と口の中

舌の形や大きさで、かわいい感じや色っぽい感じを演出します。小さめにするとかわいい感じになります。

● ぺろっと舌を出す

かわいくアピールする舌出し

三角形状に表現すると、かわいい感じになります。

なんとなく色っぽい舌出し

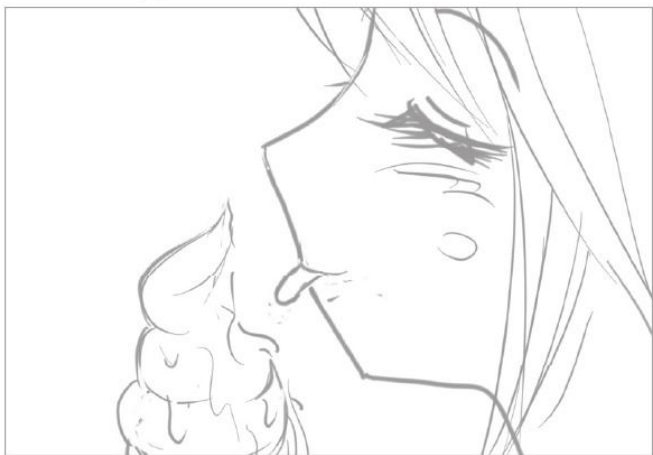
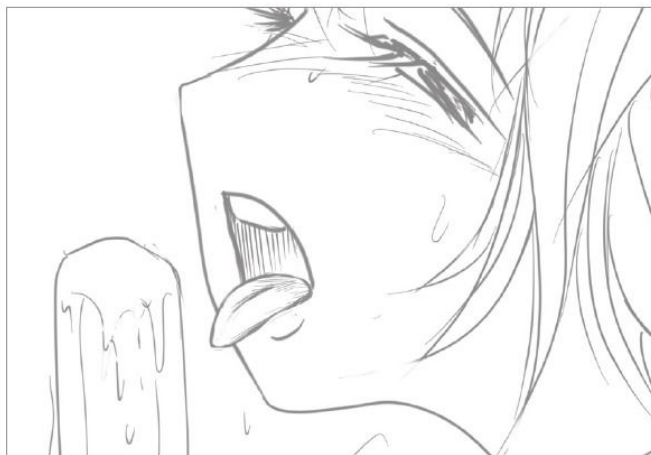
舌はただ円状のアウトラインにします。

舌のりんかくを丸くするタイプ

「おいしい表現」によく使う舌出し

あかんベニュアンスの舌出し

おどけて舌を出す…など。口の中を濃くして下くちびるもていねいに描くと、少しなまめかしい感じになります。

● なめる舌

かわいい表現

一生懸命なめる舌。平たい感じにします。

● 口を開けたときの舌

元気なキャライメージの舌

舌の表現を省略する場合。丸いイメージ

ちょっとしたことですが、口の中を濃くするだけでインパクトが強くなります。

大あくび（下の歯は省略しています）

不満そうに叫ぶ口

● 意味ありげな口と舌の表現

口角ぎわを黒く強調すると､口の動き(口を開きかけた感じ)が出ます。

舌の裏側のカゲを入れると、舌の動きが表現されます。

舌の立体感を出すタッチ表現

下くちびるが舌に押されている表現を受けて、下くちびるのカゲをくっきり入れています。

グッとくるバスト表現をマスターしよう

バスト描写の基本

キャラのスタイルを反映するので、ボディライン（バストサイズ）の設定からはじめます。服のサイズは深く考えず、体の線を隠すか見せるかを決めて描きましょう。

着こなし・バスト表現のいろいろ

● Tシャツ　同一人物（同じスタイル）で着こなしが違う場合

ゆったりタイプ。おっぱいも腰のくびれも全部隠します。

少しおっぱいのふくらみを反映する着こなし。

おっぱいのボリュームとウエストのくびれが出るようにし、股が見えるギリギリの長さまでたくし上げる着こなし。

● セーラー服　別人で、スタイル自体が違う場合

バストが目立たないタイプ。スッキリしたアウトラインです。

バストがやや目立つタイプ。アウトラインにおっぱいのふくらみを少し反映し、乳カゲを落とします。

バストが目立つタイプ。おっぱいの形を丸いアウトラインで表現します。

● アタリからシャツに包まれたバストを描く手順

① ラフイメージ。ポーズ、姿勢、バストサイズのイメージなどをざっと描きます。

② デッサン。全体の形（シルエットイメージ）をとります。

③ 体のラインをとります（体のラインに沿ったＴシャツを描く場合。スタイルを隠すイメージの場合はここで調整します）。

ポイント。おっぱいのふくらみから胴体に至るライン。ここを胴体より細めにすると、シャープなシルエットになります。

④ 体のラインに沿って服のアタリを描きます。

⑤ 顔や髪、シワなどを描いてほぼ完成。これ以上はニーズに合わせて必要があれば描き込みます。

おっぱいの中央にできるシワ（左右の乳首をつないだ位置が目安です）

上乳ぎわにできるシワ。下向きの曲線です。

下乳ぎわにできるシワ。上向きの曲線です。

簡単な処理例。おっぱいの上部、中央、下部に線を入れます。

● 胸もとに描く線のシワ

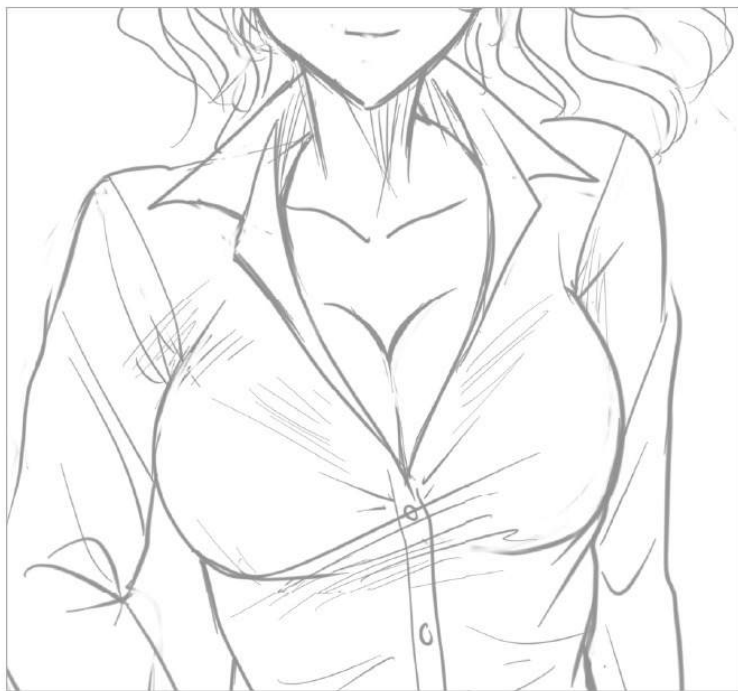
BT（バストトップ）。乳首の先端のことで、体の最も外側に飛び出す部分です。左右のBT をつないだ線をバストトップラインといいます。

ブラウスやＴシャツなど、衣装で胸もとに入るシワの線は、乳首をつないだ部分（バストトップライン上）にできます。

処理のバリエーション。おっぱいの下半分にできるカゲを入れるときも、バストトップラインを目安にします。

チラ見えバストを描く

胸の谷間をアピールするシャツの着こなしです。見え方のイメージを決めて描きましょう。

● 正面向きでアピール

① 全体イメージのラフを描きます。バストショットを描く場合でも、腰の下まで描いてバランスをとります。

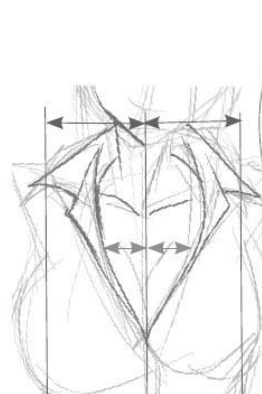
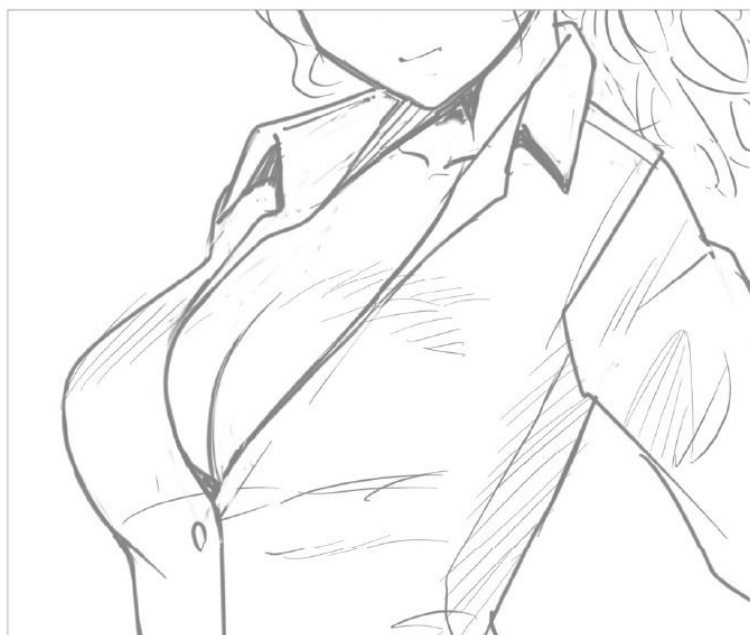
② ブラウスの「チラ見えバスト」をテーマに服のイメージをラフに描きます。

③ この段階で先に顔と頭部を描いても OK です。

④ えりと胸あき部分を描きます。

⑤ 寄せたおっぱいを描き込んで、そでやほかの部分のアウトラインを描きます。

⑥ ボタンや大きなシワなどを描き込みます。

⑦ 胸まわりのシワやえりまわりなどにタッチを入れて完成させます。

● 斜め向きでアピール

見せるおっぱいのラインと、シャツのライン（胸の開き具合）のイメージを決めます。

① 全体のイメージを描きます。

② 中央のおっぱいの線とシャツのラインを描きます。

③ えりと胸回りを描きます。

④ 全体のアウトラインを入れます。

⑤ 表情や髪の毛など、頭部を描き込むとキャライメージがはっきりします。

⑥ 余計な線を消したり、細かいシワなどを描き込みます。

⑦ えりのカゲなど、タッチや黒を入れて仕上げます。

ボリューム感を演出する

線やタッチでシワやカゲを描き込みます。

ハダカの状態

胸もとのシワは、ボールにできるカゲを
イメージして描き込みます。

おっぱい上部に短いタッチでカゲを描き
込むタイプ

おもに横方向のシワを描き込むタイプ

タテ方向のシワを主体に入れて、胸のふくらみ
を強調するタイプ

おっぱいの下に布を巻き込んでいるタイプ

● サマーセーター
線で胸もと＋胴体の曲面
を演出します。
参考透視図。バストライン
そのままがアウトラインに
反映されています。
このページの胴体は
全部共通です。
演出カゲ。実際
にはシワはでき
ません。
● ブラウス
中央の合わせの線で胸のふくらみを表現します。細か
い服のシワ＋おっぱい上部の演出カゲで、胸のふくら
みを演出します。
● タンクトップ
バストトップラ
インを目安に、
カゲのタッチを
入れます。
透視図。どちらもバストラインはひとまわりハダカ
よりも小さく描かれていますが、コントラスト効果
でボリューム感は損なわれません。

ノーブラ演出

乳首が布に浮き出した表現は「突起のカゲ」を意識して描きます。

● ブラウス

鋭角的にとがったものと、おっぱいの丸さを強調するものと、シルエットに２つのタイプあります。

乳首サイズを大きめに表現。乳首の形を大きめのマルで描きます。

乳首サイズを小さめに表現。小さな丸の下半分を描くことで「浮き出した」感じが現れ、ドキッと効果が生まれます。

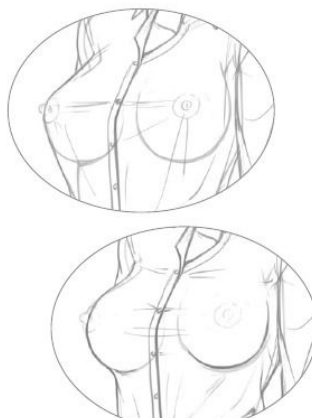
とんがりタイプ透視図

アタリ～ハダカデッサン

服の描き込み

乳首を表現しない場合

とんがりタイプ

丸いタイプ

どちらも乳首の突起を無視してシルエットを作ります。

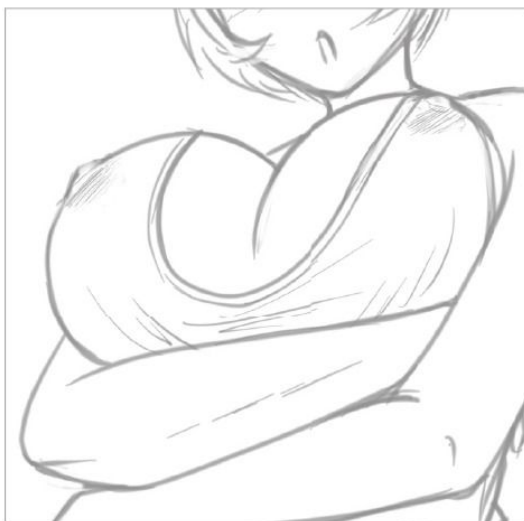
丸いタイプ・ブラ透け表現

● Tシャツ

丸い形を描くタイプ

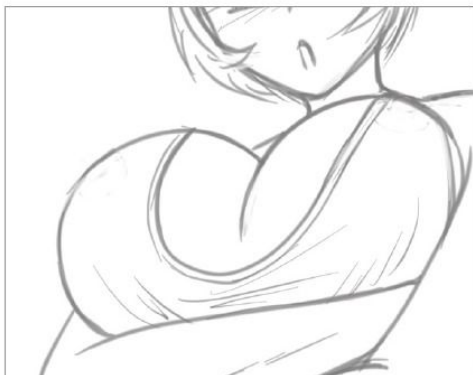
ニーショットイメージ。乳首は小さな点ですが存在感があります。

デッサン

● タンクトップ

乳首の形と乳輪が透けている演出

乳首の突起を山状に描くタイプ

乳首を表現しない場合

乳首の突起をアウトラインに描く場合。半円状タイプです。

グッとくるお尻表現をマスターしよう

お尻の魅力は形とボリューム感です。パンツ類は形の表現、スカート類はボリューム感表現でアピールします。

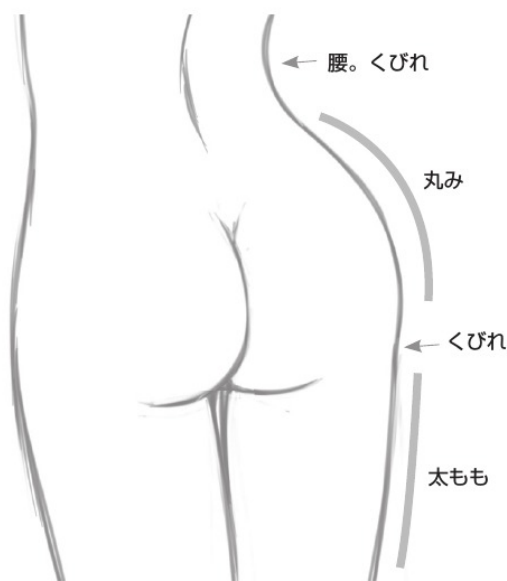
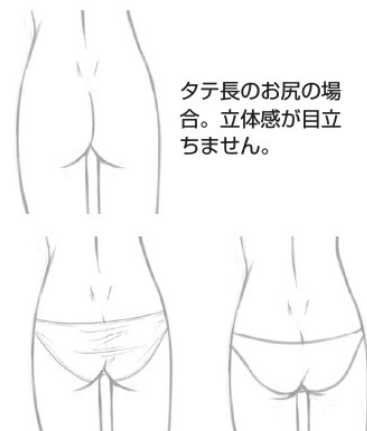
お尻描写の基本

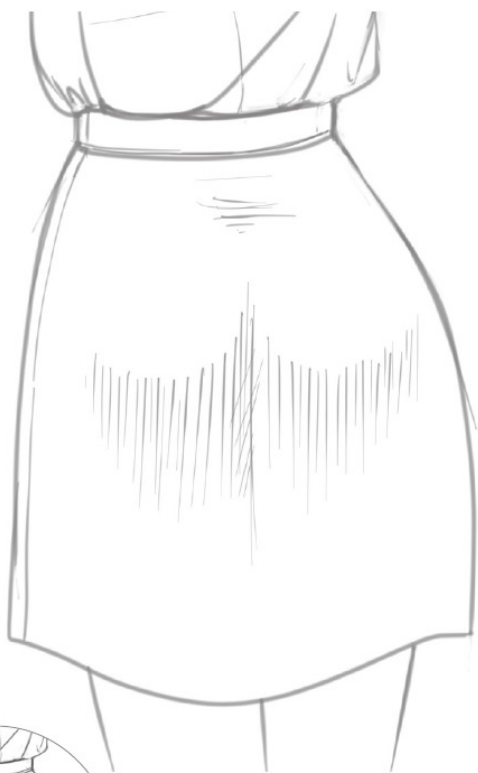
● パンツ類…お尻の形をアピール

レギンス　体にフィットしているので、お尻や脚のラインはハダカとほぼ同じラインで描きます。

ジーンズ　布地は厚めですが、お尻の形にそったピッタリのものも多く、ハダカのお尻のシルエットを大切に描きます。

お尻の作画のポイント

頭部や胴体とのバランスをとりながら描きます。太ももまで描きましょぅ。

お尻は丸く描きましょう。また、腰のくびれからお尻まできれいな曲線になるように心がけます。

パンツの曲線で立体感を出しましょう。

● スカート類…お尻のボリューム感をアピール

お尻の形を反映するカゲを入れます。お尻の下半分にできるカゲをタテ方向のタッチ線で表現します。

お尻の下側にタッチでカゲを入れます。お尻の張り出し感を演出します。

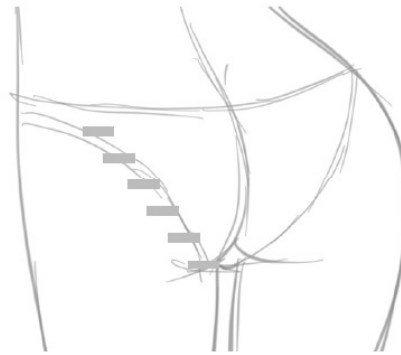
タイトスカート。お尻の中央(割れ目)から両側へ、ふくらみを意識してタッチを入れます。

キュロットスカート。お尻の上面部にタッチを入れ、脚のつけ根まわりにシワを入れます。

しまパンのお尻を描く

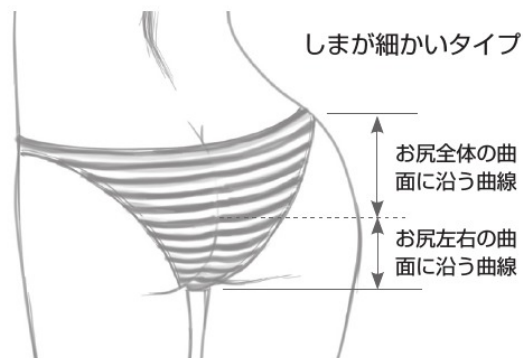
しまの数や色はさまざまです。好みの線幅で描きましょう。

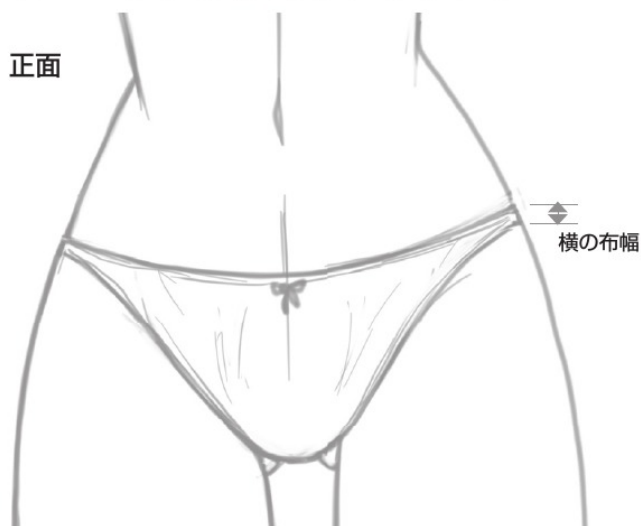
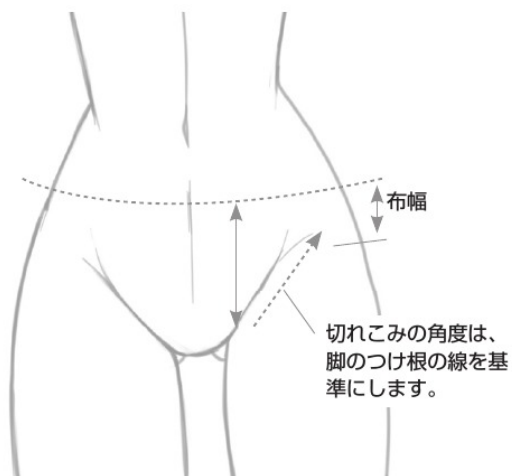
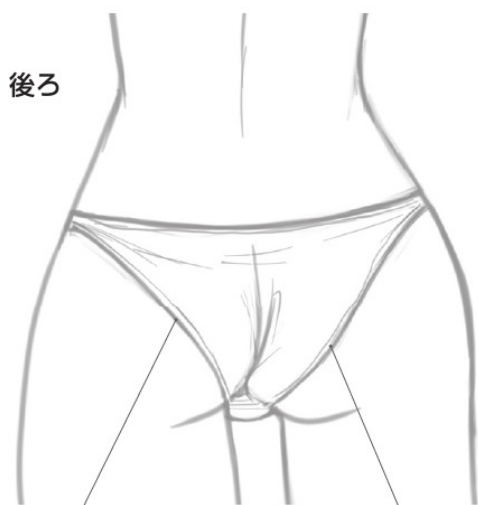
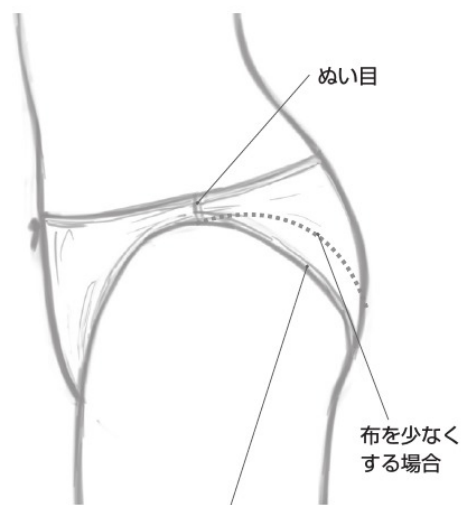
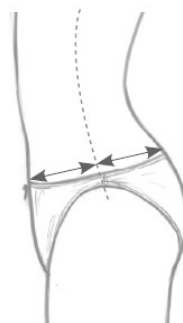
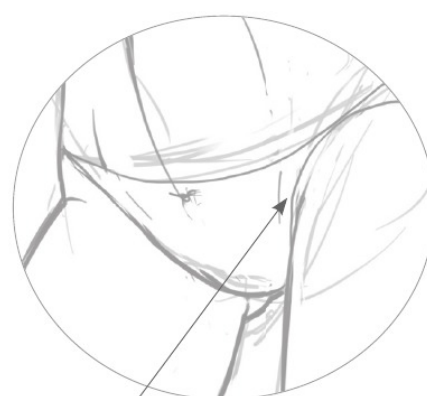
① お尻を描きます。

② お尻を描き、好みの布幅でパンツを描きます。

③ おおよその線幅を取ります。なるべく均等・平行になるように描きます。

④ お尻全体にかかるようにしまを描きます。

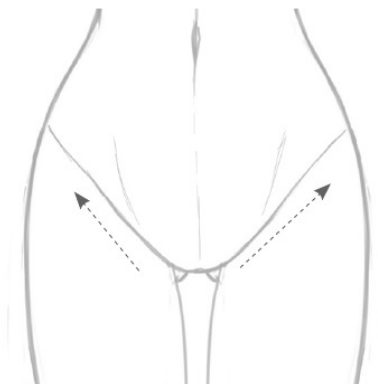
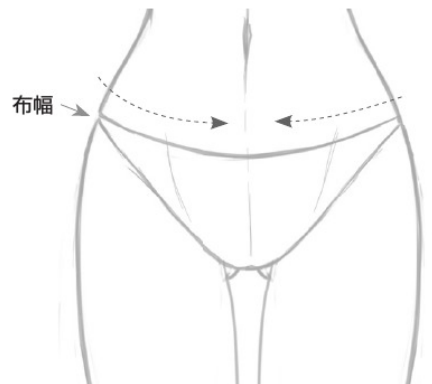
⑤ お尻の線を消して完成です。

お尻の割れ目に切り替え線（継ぎ目の線）がデザインされたものの場合。左右のふくらみを意識してＷ字状に描きます。

割れ目の線をどこまで描くかによって、しまの曲線の入れ方を変えましょう。

コラム　パンツの作画ワンポイント

セクシータイプのパンツを描く

凝ったデザインのパンツは無数にありますが、難易度が高いです。最も簡単に描けるセクシーパンツを描いてみましょう。

作画手順

① 体を描きます。

② 脚のつけ根の線に沿って、はき口ラインを描きます（角度を急にするとハイレグタイプになります）。

③ 布幅を決めて、ウエスト部分を描きます。

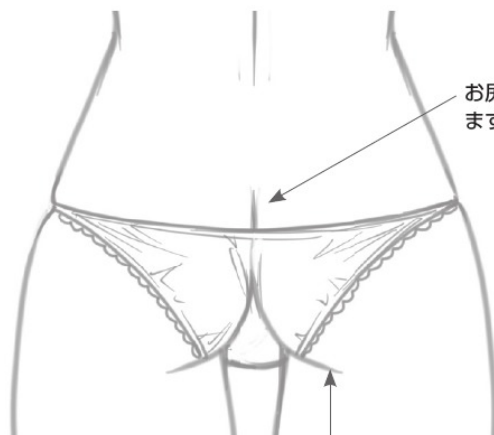
④ レースの境目を曲線で入れます。

⑤ 縁取りを描き込み、中央にリボンを描きます。簡単にする場合はこれでもOK。縁取りは最後に描くこともあります。

⑥ 簡単な花びらや葉っぱなどを描き込みます。

⑦ 境目のラインから、内側に向けて細い線でシワを入れます。体の曲面を意識した曲線を用います。

⑧ 完成

ちっちゃいパンツ（布が少ないパンツ）のいろいろ

三角タイプ

T字タイプ

脚のつけ根の線より少し急角度です。

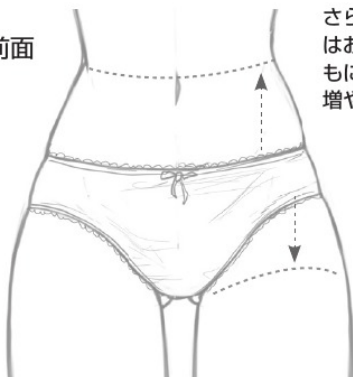
ハイレグ
タイプ

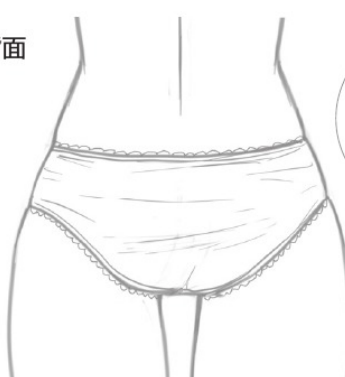
脚のつけ根の線をはっきり見せます。

フンドシ
タイプ

Tバック

参考：セクシー感を控えめにする幅広のノーマルパンツ

前面

さらに幅広にする場合。上はおへそより上、下は太ももにかかるくらい布の量を増やします。

背面

お尻の割れ目の線も、はみ出したお尻の肉も描きません。

お手軽セクシー・黒いパンツ

パンツの布地をグラデーションなどで濃くします。

前面

下腹部を薄めにすると、肌の色が透けているムードが出ます。

下の方を濃くすると立体感が強調されます。

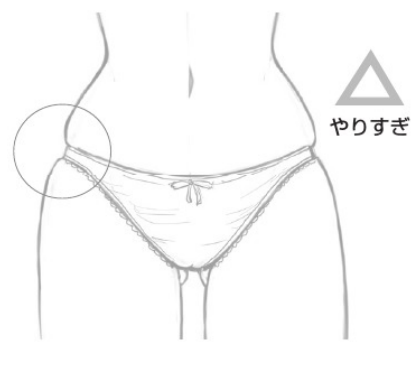
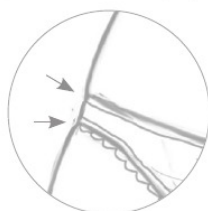
お尻　光があたっている部分を丸く、白くしましょう。

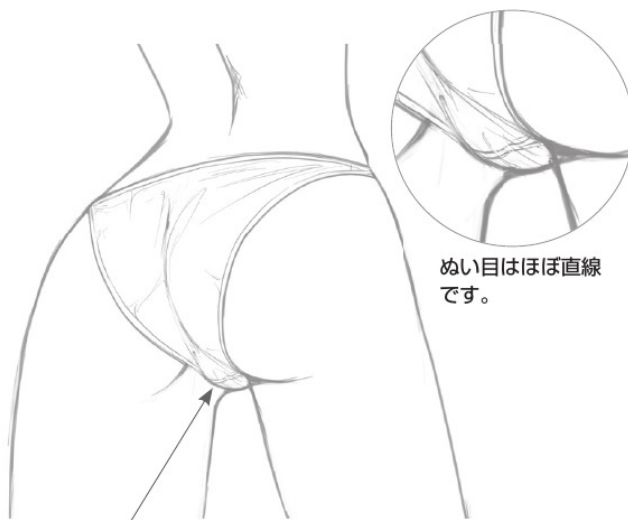
白い場合。お尻の線を細く描いて、透けた感じを出すとセクシー感が生まれます。

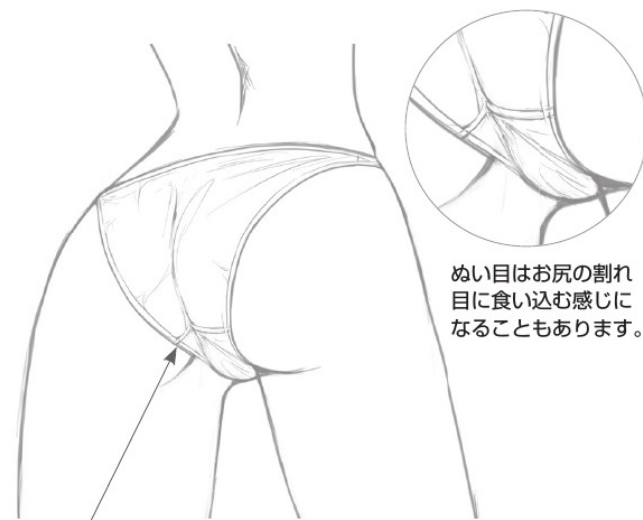
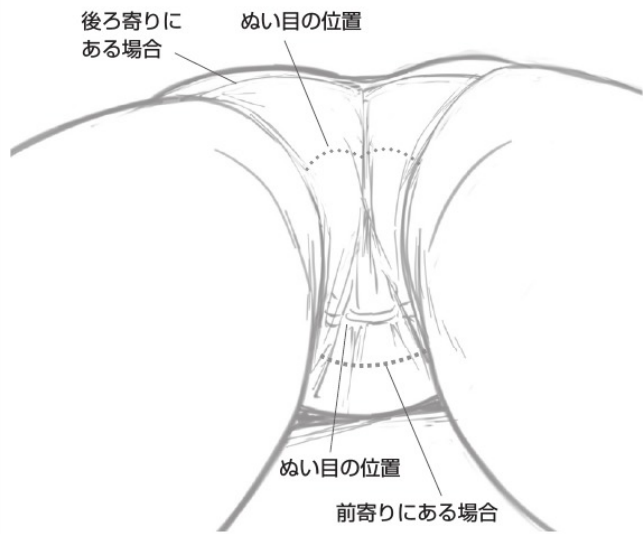
割れ目と下部を少し濃くしています。コントラストが強まり、肉感的になります。

中央・上寄りを白く光らせます。引き締まった感じのお尻になります。

右上から光があたっているイメージで、左右のお尻右上を白くした場合。柔らかなボリューム感が出ます。

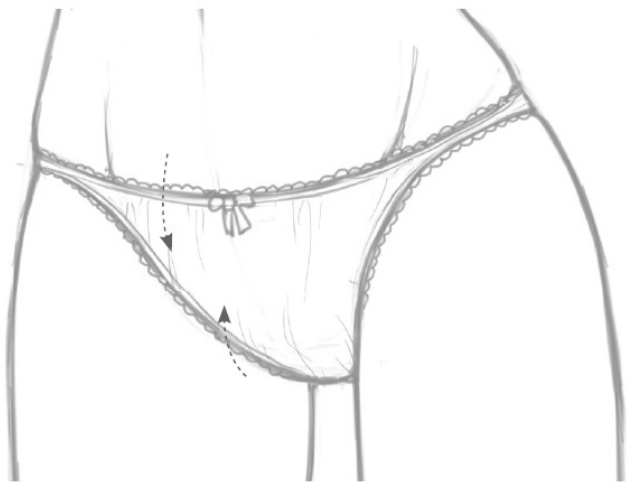
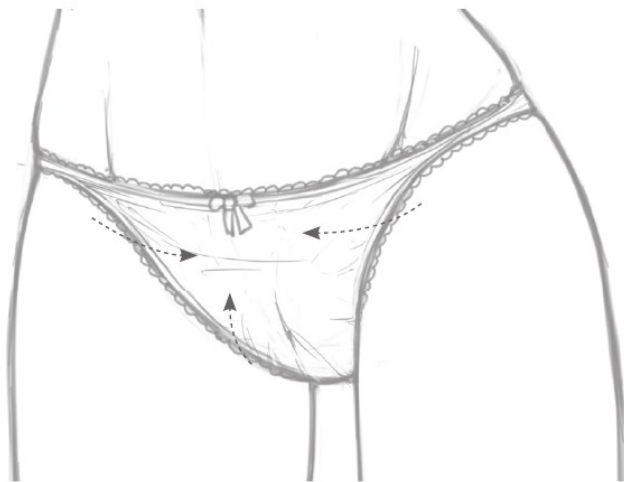
● 作画ワンポイント・肉感表現

「肉の上に布が乗っている」という意識で描いたもの。体のアウトライン上にパンツのラインを描いています。

パンツの食い込み表現。肉の柔らかさが出ます。

パンツを肉に食い込ませすぎたもの。ブヨっとした肉感になり、あまり美しく見えません。

パンツの股のぬい目

パンツの股部分には１本、または２本のぬい目があります。

デザインやはき方などで、ぬい目の位置は変わります。体の最下面にある１本タイプはほぼ直線状、２本タイプはお尻と股の曲面を反映して曲線で描きましょう。

パンツのシワ表現

シワなし表現。シワを描かないことで、ピッタリ感が演出されます。

横ジワ　横方向を主体にして、短いシワを描きます。ピッタリカラダにフィットした感じを出したいときに向いています。曲線を用いましょう。

タテジワ　タテ方向の短い曲線で描きます。布が少し浮いている感じで布感が出て、布をまとっている雰囲気が出ます。

複合ジワ　横じわとタテジワを用います。ぴっちり感と布感が両方欲しいときに用います。動いた後などの感じが出ます。

股の形状について

3タイプがあります。好みで使い分けましょう。

曲線タイプ
普通の表現。基本形です。

直線タイプ
シャープなイメージになります。

直線＋曲線タイプ
股の丸さが強調され、色っぽい感じになります。

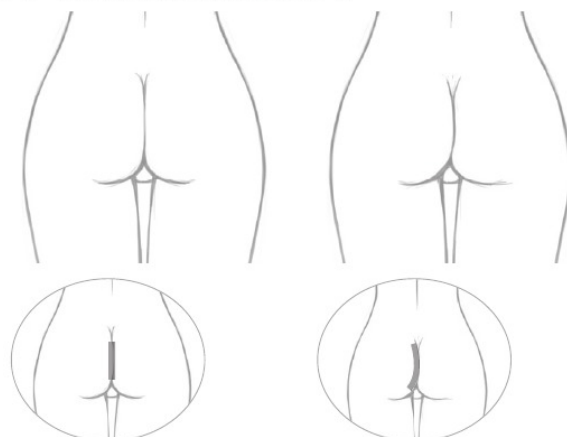
タテジワ（食い込みジワ） 割れ目に食い込んでできるシワです。

横ジワ 割れ目の線ができない（描かない）場合などで、布が引っ張られてできるシワです。

複合ジワ 割れ目に食い込んでできるシワと、布が引っ張られてできる横じわを描きます。

特殊なシワ 割れ目にそって、くぼみ状に見えるように狭い幅で短いタッチを入れます。

透け素材の場合 長く細いシワをお尻の線にかぶせましょう。

参考・お尻の割れ目の線について

直線タイプ。真後ろから見ると、原理的には直線になります。

曲線タイプ。真後ろを向いている場合でも、左右どちらかに寄っているので、曲線で描いてもOKです。

色っぽい脚の表現

脚全体…脚線美

脚の魅力は、上半身が衣服に覆われていることで生まれます。

すらりと伸びた脚の色っぽさをアピールします。太ももは内太ももを太く、ひざに向かって細く描きます。

服を着ていない場合。ただの当たり前のポーズに見え、脚線の魅力は生まれません。

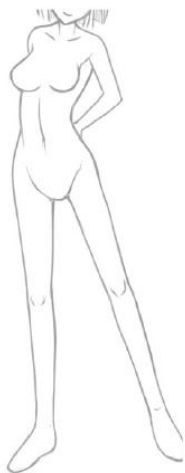
● チャイナドレス

透視図

チャイナドレス。長い布のスリットからすらりとした脚が伸びることで、脚線に眼が釘付けになります。布部分との対比で、肉感が強調されます。

ハダカの場合

ミニタイプのチャイナドレス。ミニのタイトスカートと同様、スリットからのぞく脚線が目を引きます。

ただの脚線と肉感的な脚線の違い

足首はやや太めにするのがコツです。

色っぽさ無用の元気キャラやカワイイキャラの脚は細めの棒状です。

太ももとふくらはぎの起伏を強調すると、たくましい印象になります。ニーソックスやハイソックスを描くと、色っぽさが出てきます。

太ももを太く、足首に向かって先細りのシルエットを心がけます。

● ミニスカート

ミニスカートは太ももに注目を集めやすい装いです。ニーソックスやブーツをはくと、脚部全体（脚線）の魅力がよりアピールされます。

パンツ透視図

ニーソックスをはきました。

ニーソックスをはいて上着を脱ぎました。

ニーソックスや服のコンビネーションでさまざまに色っぽさが演出できます。

ニーソックスをはいてスカートを脱ぎました。

パンツをはいてません。

パンツの前にニーソックスをはいてみました。

すらりと伸びた脚をアピールする「脚線」に対して、脚を組む、座った脚などは、太ももの肉感が色っぽさをアピールします。

太ももアピールポーズ
脚を組んで座る

波線状（逆S字）。太ももの肉感を生み出す曲線です。

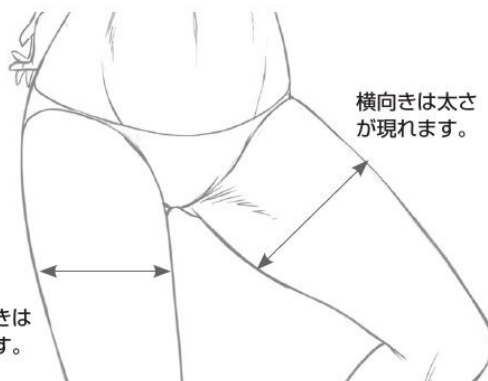
太もも曲線

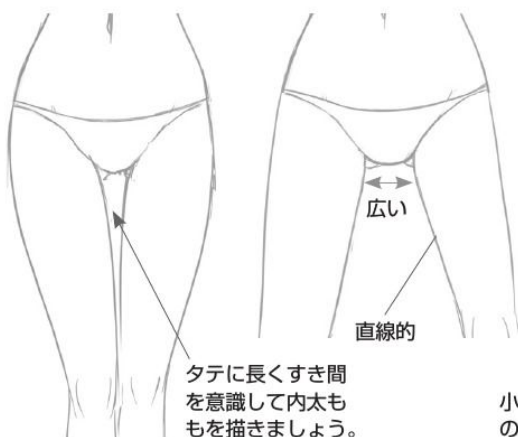
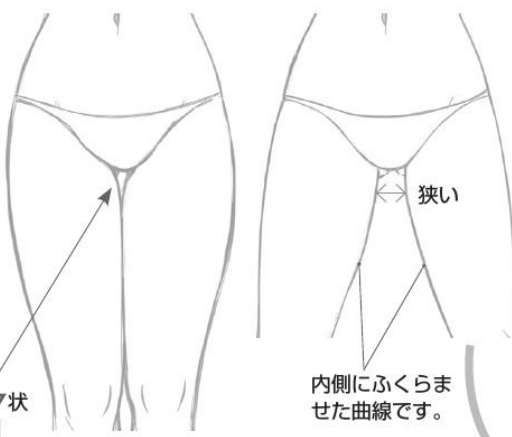
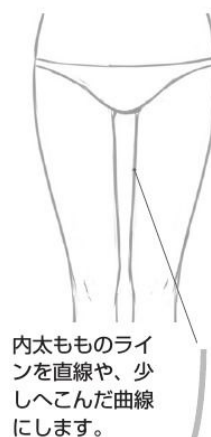
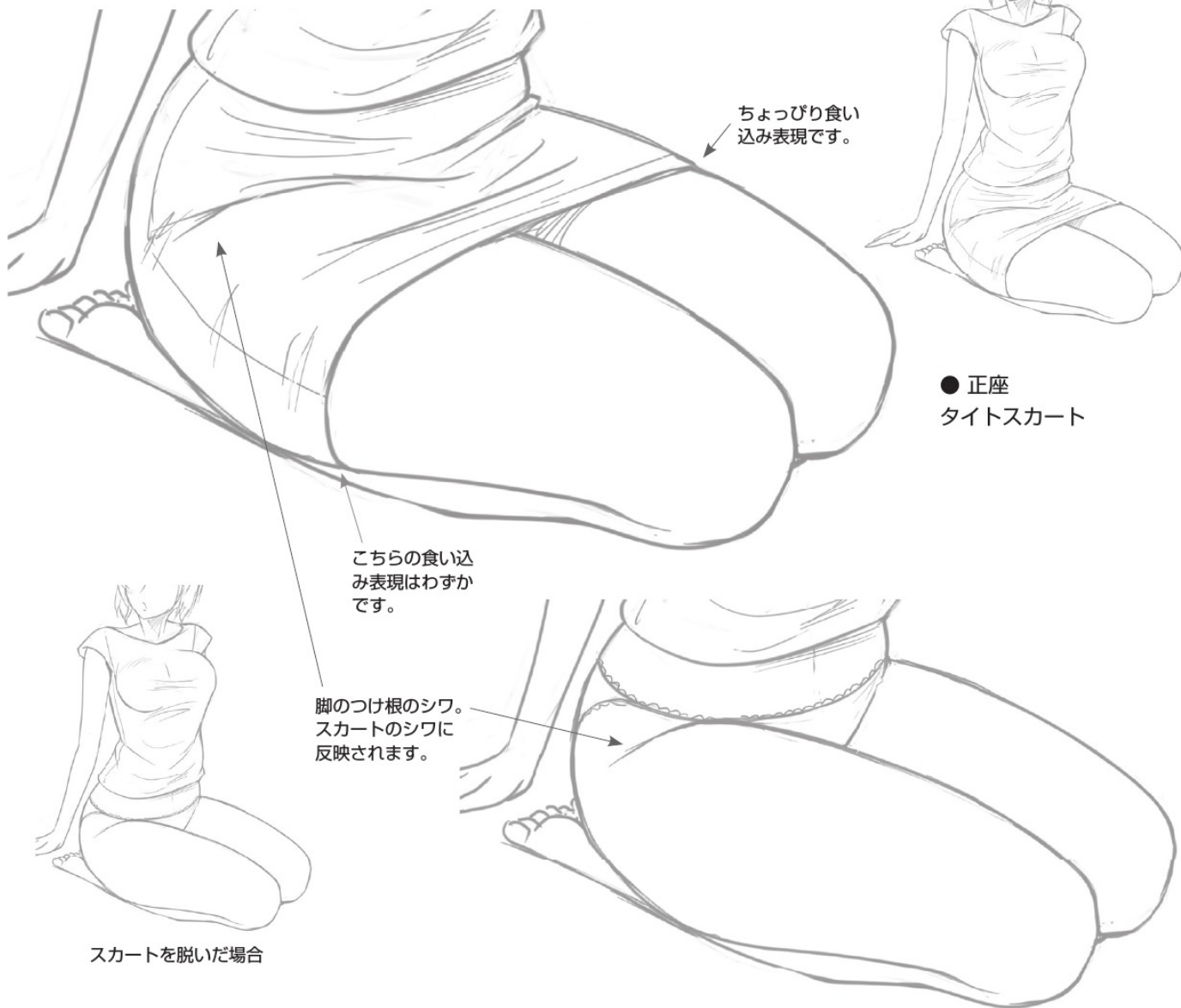
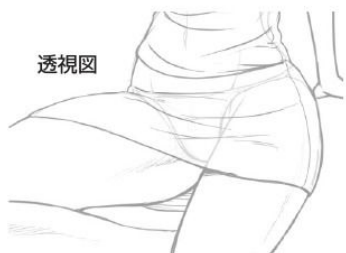
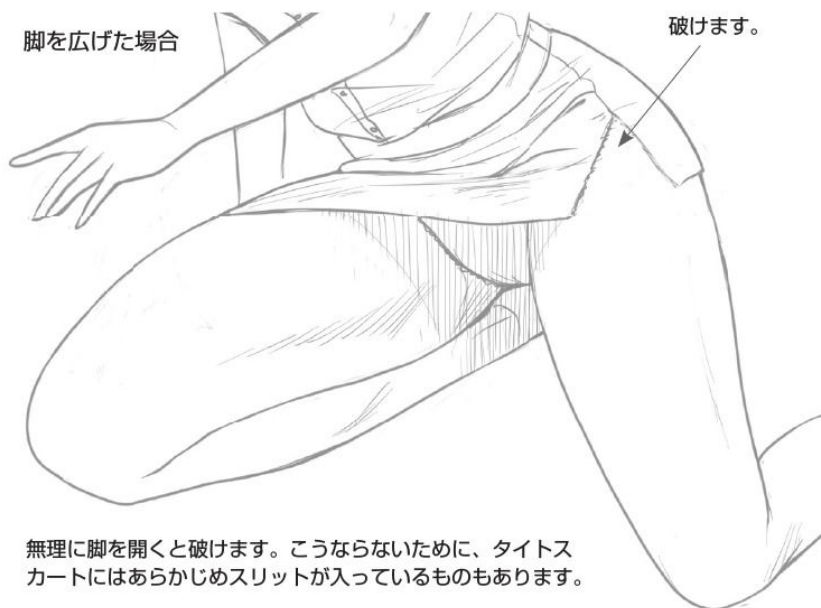
お尻の丸み

太ももは、向きで太さが変わります。太ももの断面はだ円です。

真上から見た太もも（断面模式図）

正面向きは細いです。

横向きは太さが現れます。

● 太さを描き分けるコツ

内太もものラインを引きはじめる位置で、太ももを描き分けます。脚を閉じた場合、細い脚は股の横幅を広く意識して描きます。太い太ももでは逆三角形状の小さなすき間ができます。

ちょっぴり食い
込み表現です。
● 正座
タイトスカート
こちらの食い込
み表現はわずか
です。
脚のつけ根のシワ。
スカートのシワに
反映されます。
スカートを脱いだ場合
● 脚を開いて座る
内太ももの
ふくらみ
ふくらみ
ラフ＆デッサン
外側も少しふくらみますが、ほ
とんど変化なしに見えます。

● のけぞって座る
スカートのすその ラインはゆるやかな波線状です。
透視図
タッチ（カゲ）を入れて
脚の立体感を演出します。
● 前に乗り出す
透視図
くびれ表現
脚のつけ根まわりの透視図。脚は股の部分をとらえて描きます。
タイトスカートはあまり脚が広がりません。スカートのすそは直線的になります。
太ももの曲面に沿います。
脚を広げた場合
破けます。
透視図
無理に脚を開くと破けます。こうならないために、タイトスカートにはあらかじめスリットが入っているものもあります。

● 腰かける

腰かけている部分が
外側にふくらみます。

カゲができるはずのパンツに
カゲを落とさない場合（パン
チラアピール演出）。

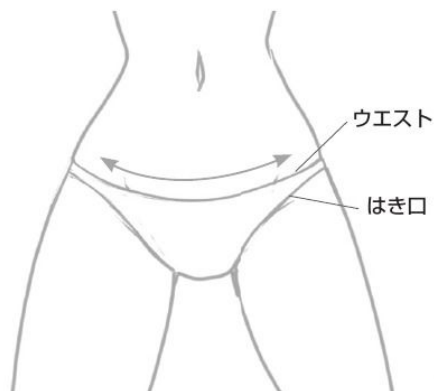
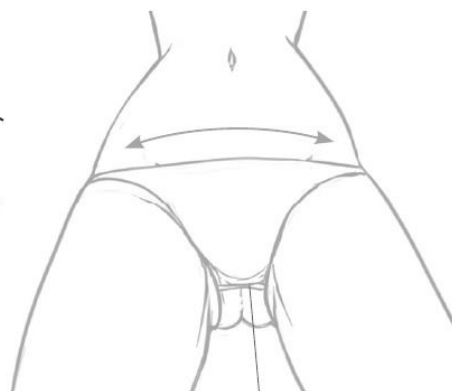
透視図

ラフデッサン。スカート部分は太
ももの丸みを反映させて、M 字状
にとらえます。

ニーソックスをはいている場合
食い込み表現なし
食い込み表現をする場合
もっと強い食い込み表現
● 太ももと
パンチラどっきり
素足の場合
強い食い込み表現は、
太ももの柔らかさを
より強調したいとき
に用います。
● うつぶせになる
スカートのカゲで太
ももの立体感が表現
される効果を狙った
演出です。
脚のつけ根
太ももの魅力をア
ピールする曲線
デッサン＋透視図。お尻の形と脚のつけ根をと
らえて描きます。

コラム　立体感を表現する曲線　スパッツ太ももの線の作画から

上着やスカートのすそや、パンツの腰まわりなど、立体を意識した曲線が決め手になります。

● パンツの曲線（布幅が小さめタイプ）

正面・通常アングル
※ウエスト…パンツ類の腰まわり部分をウエストといいます。実際のウエスト（腰）よりも下でも「ウエスト」です。

正面・アオリの場合

後ろ・通常アングル。脚を前後にしています。

● スパッツの曲線

スパッツは太ももに曲線が入るので、脚の立体感がはっきりします。

正面・通常アングル

立体イメージ。ウエストはやや低めですが、おへそが隠れるくらい高い位置のものもあります。

正面・アオリの場合

スパッツ、太もも部分の立体イメージ。

後ろ・通常アングル
脚を前後にしています。はき口ラインが変わります。

● 失敗例（スパッツ）

曲面を通常と逆に描いた場合。立体感覚が混乱します。

正面の失敗例　　正面・アオリの失敗例　　後ろの失敗例

体を倒すとフカン
（上から見た柱）、手
足なんかも柱を意識
するといいです。
ちょと丈長のショートパンツ。
スパッツふう。
マイクロミニ
ニーハイ（ミニスカートでもこんな曲線になります）
ハムになった気分（笑）
脚も前に出てる右脚と、後ろに引いた左脚で曲線が違うのを見てね！
失敗例

色っぽい背中・おなか

お尻や胸のふくらみ、腰のくびれだけでなく、背中やおなかの魅力もファッション的にアピールポイントのひとつになっています。

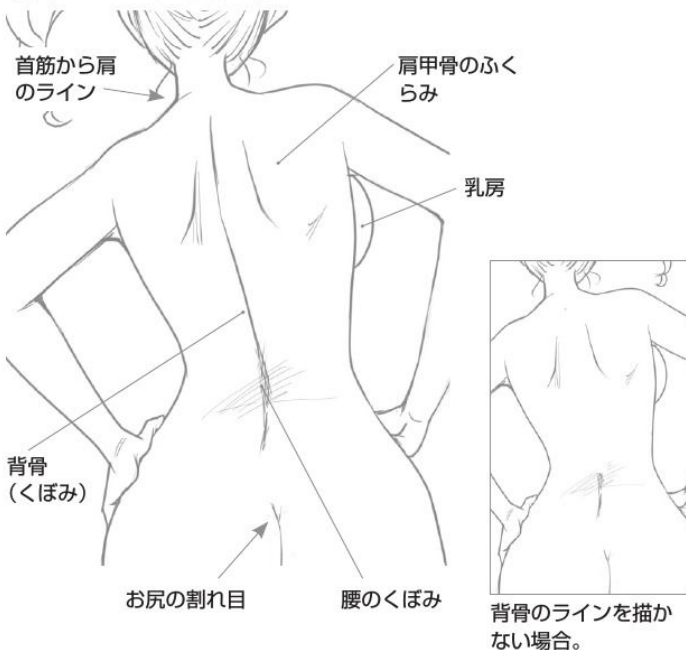
背中の魅力をアピール

背中は肩甲骨が色っぽさのポイントです。背骨の線は省略することもあります。

背中の大きく開いたドレス。「ベアバック」といわれます。

お尻が見えるくらい、深く切れ込んだデザインもあります。

水着で、パンツだけのスタイルを「トップレス」といいます。

背面のアピールポイント

背骨のラインを描かない場合。

● 横から胴体の曲線をとらえよう

おなかの魅力をアピール

おなかの色っぽさは、腹筋など筋肉表現を主体に起伏をアピールする場合と、筋肉表現をしないでおなかの柔らかさをテーマにするものがあります。

チアふう衣装。おへそを見せます。キャラ的には、健康的なイメージや、元気さをアピールします。

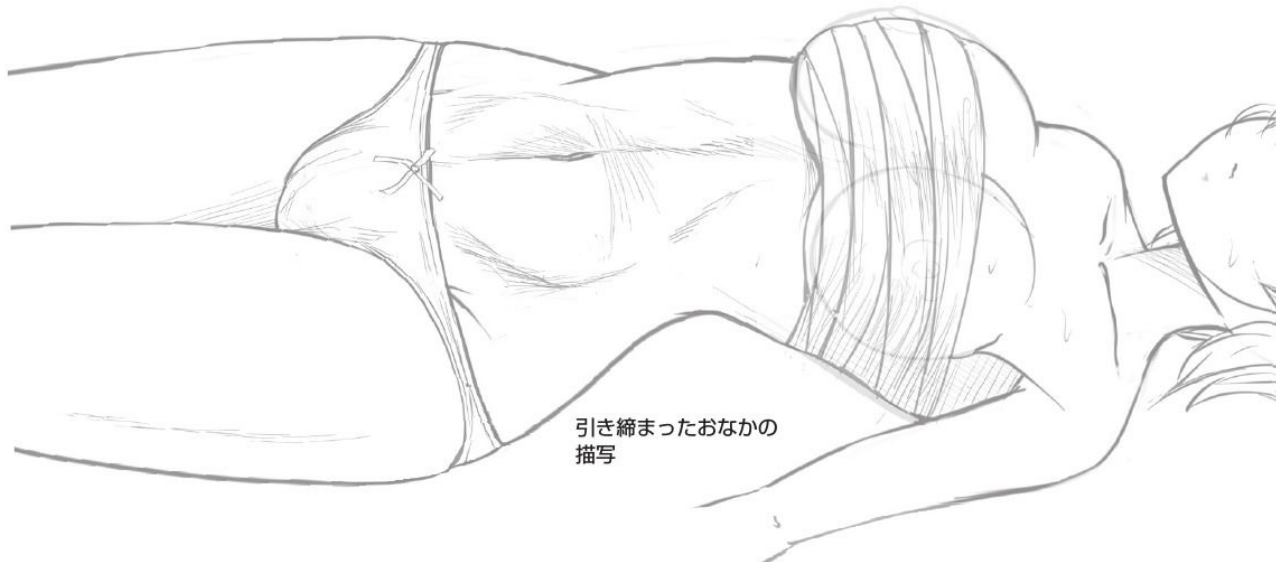
腹筋のタテ線を描かない場合、柔らかそうなおなかの魅力が表現できます。

おなか部分があいた水着。アダルトな女性を演出したいキャラに用います。

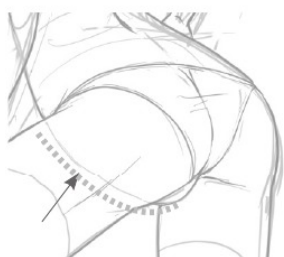
パンツとブラの位置に線を加えるデザインもあります。

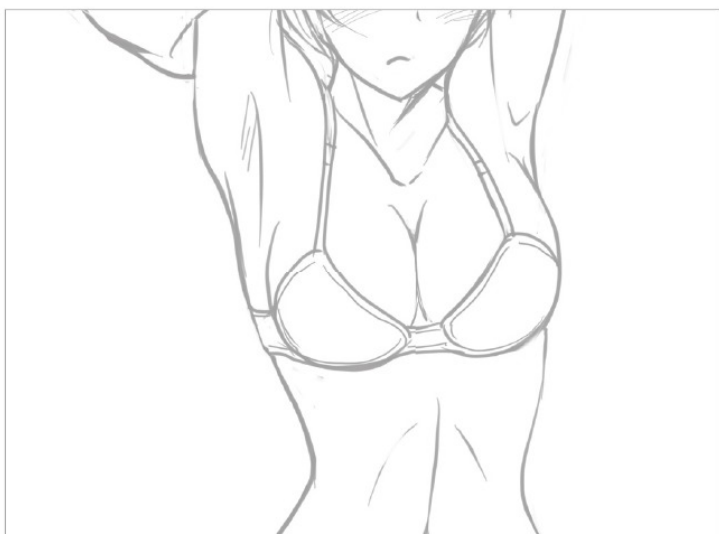
鍛えているおなかを演出する場合。タッチや線で腹部の筋肉や凹凸感を強調します。

サラシとパンツ。横になったおなかのショットは、パンツとのコンビネーションでなまめかしい立体感を演出しやすいです。

柔らかそうな描写

引き締まったおなかの描写

コラム　アオリアングルでの股間の見え方と作画ポイント

第4章

みんなが「色っぽい」と感じる場面は？

シチュエーションと演出について考えよう

ドキッとさせるにはシチュエーションが大事

ただのハダカよりも、なんらかの「隠してる・隠されてる・見えそうで見えない」などの要素で色っぽい魅力は生まれます。いろいろなシチュエーションを演出しましょう。

不意にスカートがめくれる演出は、昔から受け継がれる、伝統芸みたいなものだったりします。
ギリギリラインのギリギリに挑戦♡
お風呂はハダカが当たり前。水滴で肉感を表現したり、あえて湯気で隠したり。これも、映画やドラマで愛されるサービス演出の代表です。

バスタオル巻き姿でつかむ布の表現

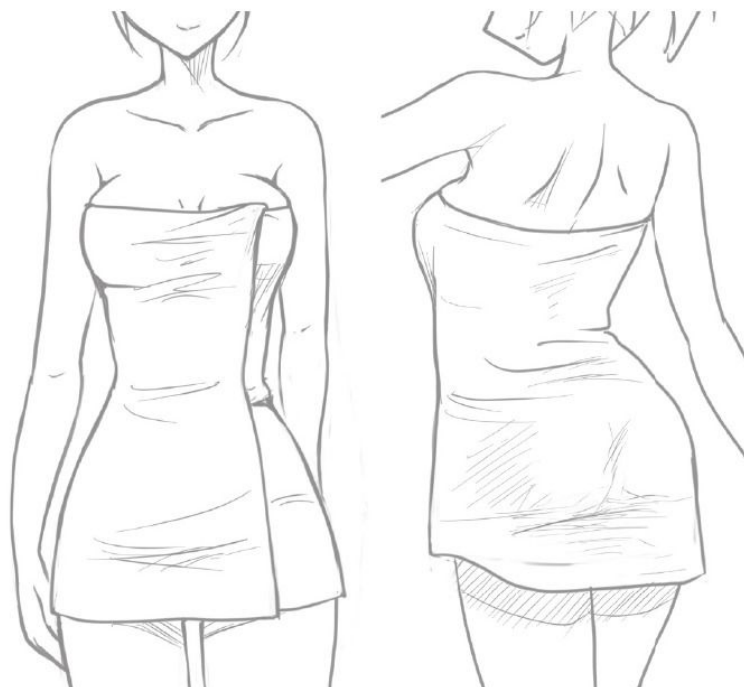
お風呂シチュの定番を描く

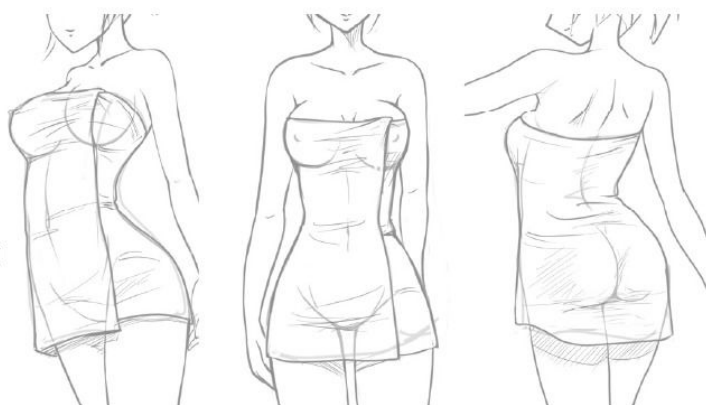
バスタオルを巻いただけのスタイルです。現実には体のラインが隠れますが、ここではボディラインをくっきり出して色っぽさを演出する作画を見てみましょう。

色っぽい表現

ボディラインをくっきり描き出します。

● 普通に巻いた場合

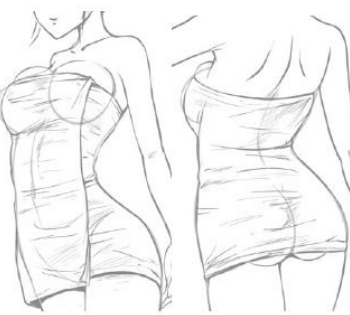
胸の谷間、腰、股あたりにシワを入れます。おもに横方向の線を用います。

後ろ側は腰まわりに太い線で布のたわみを表現します。お尻まわりは、タッチなど、細い線でお尻の形を演出するカゲを入れます。

透視図

タオルのカドを内に差し込んで留めます。

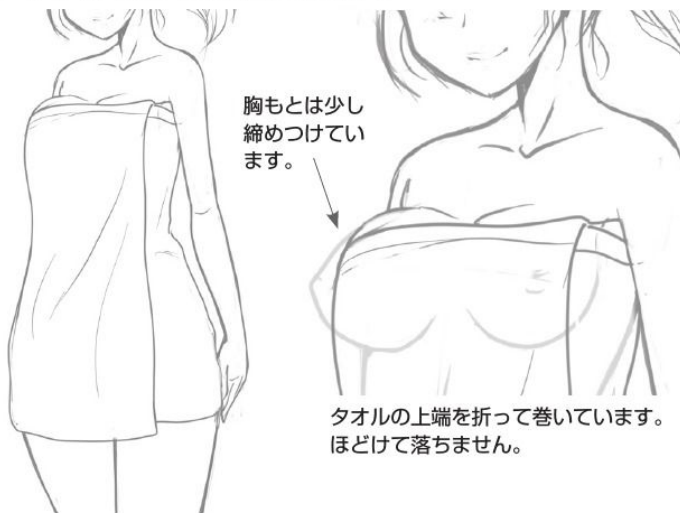
● もっときつく巻いた場合

「布が左右に強い力で引っ張られている」ことを意志してシワを描き加えます。
また、肉体が浮き出す演出（細い線やタッチでカゲ部分を演出）も大切。

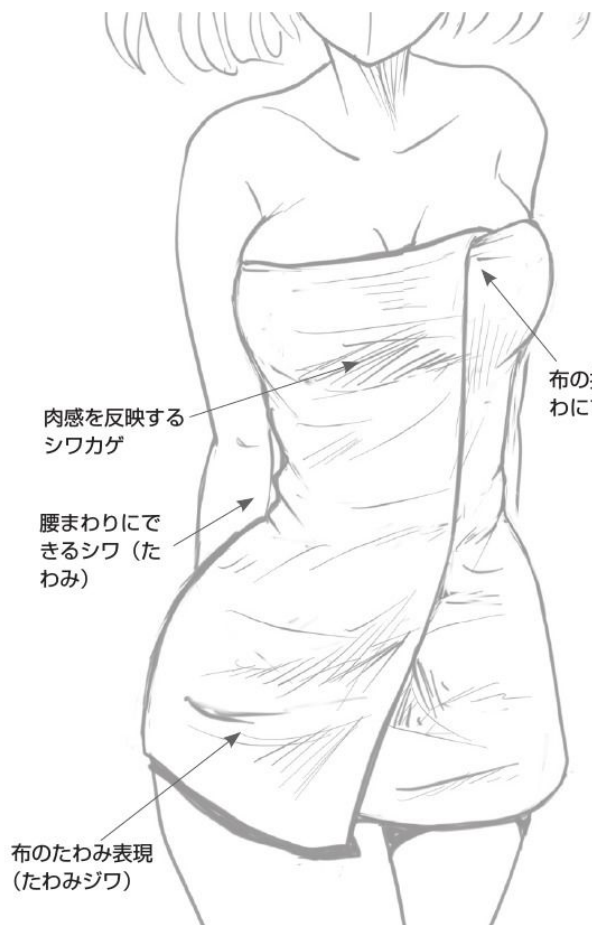
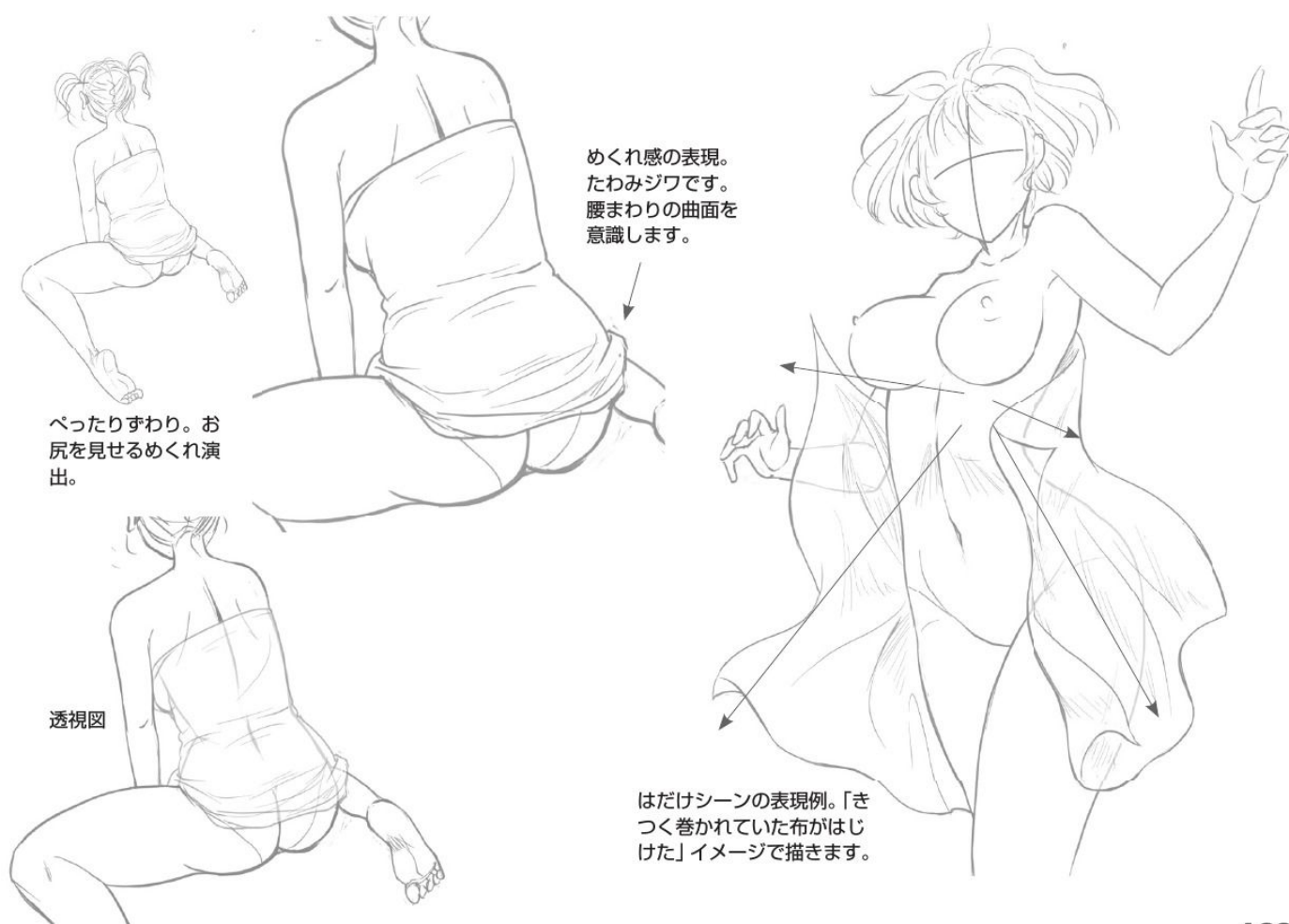
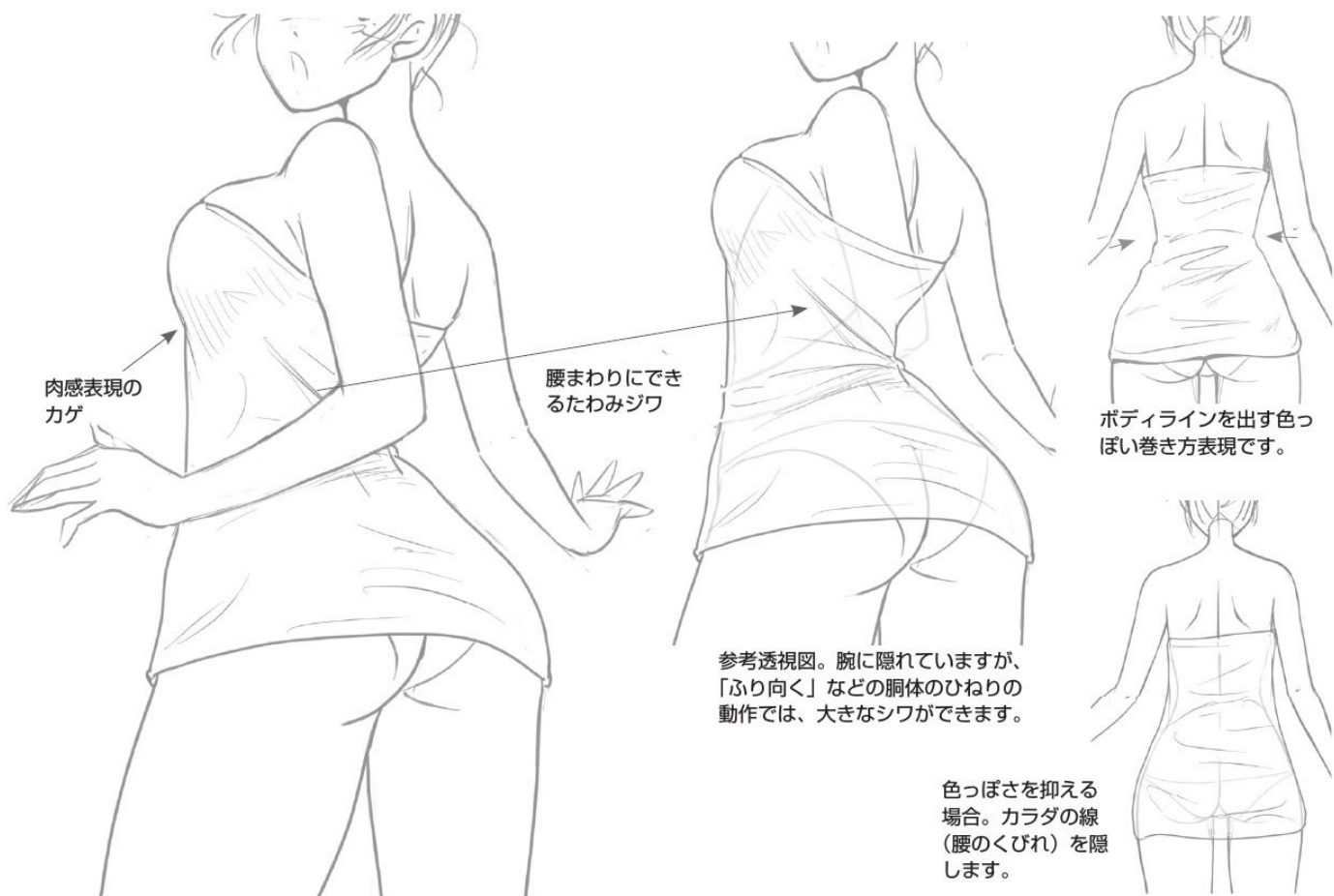
食い込み表現

タッチ。肉感演出

透視図

強く巻いている影響で、お尻も少し見えます。

● リアルふうに表現した場合

布が緩やかに身体を覆い包むので、ボディラインはくっきり表れません。

いろいろなシワ・カゲ表現
布の折り込みぎわにできるシワ
肉感を反映するシワカゲ
腰まわりにできるシワ（たわみ）
布のたわみ表現（たわみジワ）
たわみ表現
肉感表現のカゲジワ
引きつったシワ
乳首が浮き出したカゲ
たわみジワ。少し前かがみの動きを反映しています。
短く引きつったシワ。お尻の肉感（立体感）を出します。
肉感演出のタッチ
腰まわりにできるくびれジワ（たわみジワ）
透視図

肉感表現の
カゲ
腰まわりにでき
るたわみジワ
ボディラインを出す色っ
ぽい巻き方表現です。
参考透視図。腕に隠れていますが、
「ふり向く」などの胴体のひねりの
動作では、大きなシワができます。
色っぽさを抑える
場合。カラダの線
（腰のくびれ）を隠
します。
めくれ感の表現。
たわみジワです。
腰まわりの曲面を
意識します。
ぺったりずわり。お
尻を見せるめくれ演
出。
透視図
はだけシーンの表現例。「き
つく巻かれていた布がはじ
けた」イメージで描きます。

前かがみ

アクシデントやハプニング演出のひとつです。前面側はおっぱいを、後ろ側はお尻やパンチラをアピールします。

拾うポーズ

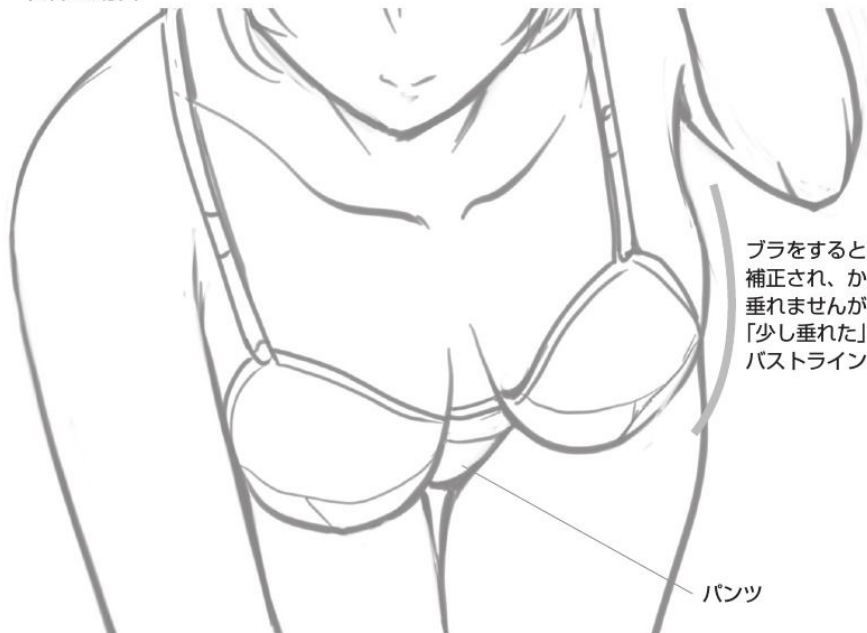
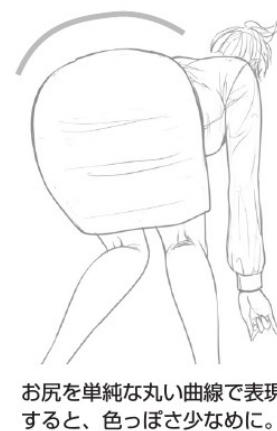
● ブラウス + タイトスカート：前

ブラは一部が見えるだけです。

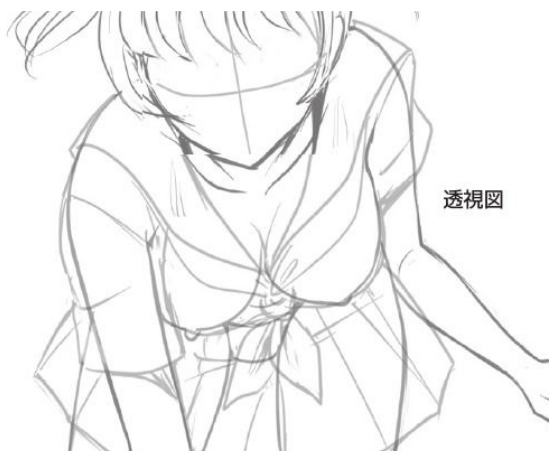
ハダカ透視図

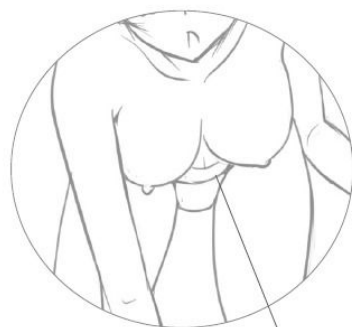
ブラ透視図

胸もとを開けていない着こなしの場合

下着の場合

● ブラウス＋タイトスカート：後ろ

● セーラー服の場合

胸もとの布あてがある場合。

胸当てなしの場合。谷間は Y 字状にシワを入れて強調します。

透視図

おっぱいはあまり垂れさせず、形のよいおわん型に。

パンツのウエストラインは胴体の丸みを反映して U 字状に描きます。

後ろ側

シルエットにお尻の形が出るように描きます。

スカートはお尻からわずかに浮いています。

透視図

すそ部分はだ円状にとらえます。

机に手をつく

「I字タイプ」といわれる胸の谷間表現です。大きなおっぱいの象徴です。

ほぼ直線で描きます。

胸の谷間と太ももをアピールする場合

ラフイメージ。ハダカ状態で、垂れているおっぱいです。

デッサン。着衣スタイルにあわせて、おっぱいがくっついた形に変更します。

水着姿でひょいっとのぞき込む

おっぱいの形をタテ長気味にして、揺れを演出します。

ラフイメージ。ブラでしっかりホールドされているイメージです。揺れ感はなく、「巨乳を見せる」「重量感」がテーマの作画です。

体を斜めに傾けて、動きのある前かがみを演出。それに合わせておっぱいも揺れる表現に変更します。

画面から切れる脚部も、クロスして動きを意識して描きます。これが股まわりの太もものラインに反映されます。

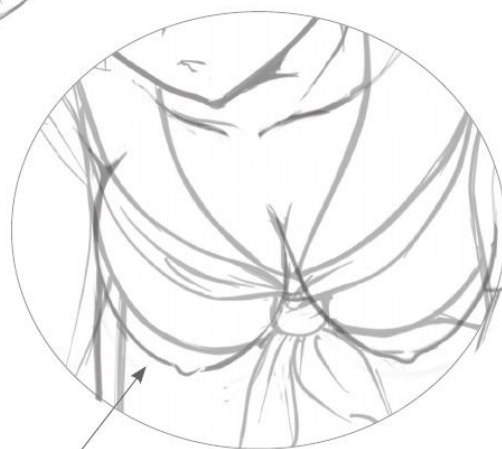
シチュエーション②

四つんばい

前かがみの発展形です。前面側はフカンの構図で、衣装によっては胸とお尻の形両方をアピールします。背面側はお尻が主役の構図が主体です。

探すポーズ

● ブラウス＋タイトスカート

● セーラー服の場合

お尻は頭より低いです。
普通にはっているイメ
ージです。
胸の当て布をはず
して、胸もとをア
ピールします。
ハダカのおっぱ
いのライン
おっぱいの形とサイズを修正
しています。
後ろ側
透視図
ハダカのお尻の形を隠します。
スカートを少し前にたくし上げて、見える範囲を広くしています。

シチュエーション③

ころんじゃった！

同じ「ころんだところ」でも、「ころんだあと」と「ころんだ瞬間」をとらえる作画があります。

しりもちをついた

● セーラー服の場合

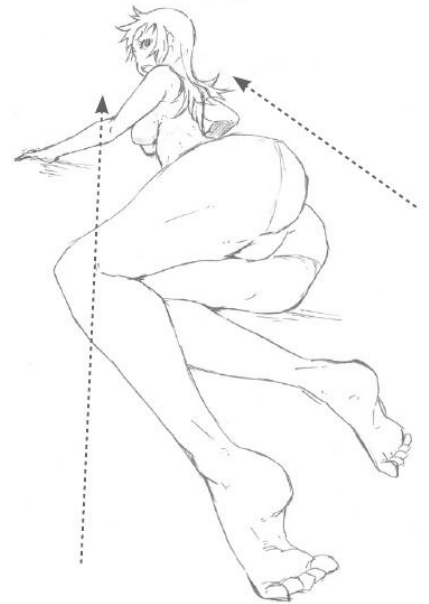
外側に向けて胸を揺らせる表現。ころんだ瞬間の動きを演出します。

姿勢に注目。上体は真っ直ぐめ、お尻を前に突き出しています。後ろにそり気味の姿勢で、「ころんだあと」の雰囲気が出ています。「しまった！」という感じ。

ハプニングっぽさを演出するトリミング。

しりもちをついた瞬間。お尻を突き出し、斜めに傾いた姿勢で、すとんとお尻をついた感じが出ます。

つまずいてころんだ

● ブラウス
+タイトスカート
ころんだあと、起き上がろうとして上体を起こしてきているショットです。
奥を小さく、手前を大きく描く「遠近法」による描写です。
ストッキングが破れた演出
ヒジを曲げたポーズにした場合。
キャラの目の高さあたりに「床の線」を描き入れると床面が現れ、ポーズが活きます。
床の線。壁やベッドのきわなど、「面」と空間を演出します。
トリミング演出。顔を隠す場合、床の線を下げても落ち着いた画面になります。

ハデにころんだ瞬間を描く

● 開脚ポーズ

「開脚ポーズ」をテーマに、床が急に動いた、ぶつかった、突き飛ばされた、などを想定して描きます。

おっぱいの揺れ表現。「弾む感じ」をテーマにして、左右の形を変えて描きます。

顔をのけぞらせた場合。上半身の迫力は出ますが、全体で見ると「ころんだ勢い」感は弱まります。

● スカートの奥が見える

スカートの奥を見せたい場合はアオリ気味でとらえます。
滑ってころんだ、何かにぶつかってころんだなどのシチュエーションを想定します。

真上方向になびく髪の毛で、すとんとしりもちをついた動きを演出します。

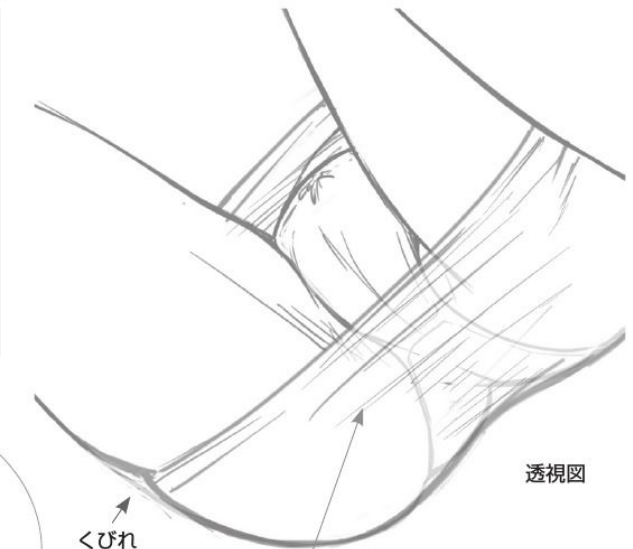
透視図

派手な動きではないので、おっぱいは大きく変形させません。乳首の位置をずらすことで、揺れを表現します。

ウエスト部は見えません。股の形を丸い曲線で描きます。

お尻はスカートで隠れますが、布が食い込んだ感じに表現します。

● 迫力をテーマに股間を見せる

「転倒」をあおりの構図で描きます。

シチュエーション④

チラリでドキッ！

下着が見えそうとか、少し見えているなどのシチュエーションです。

いろんなチラリ

ボリュームのわりに垂れていないおっぱい。見えないブラで形を整えている美しいラインをイメージして描きます。

透視図。おっぱいの形を崩さない衣装、着こなしという設定で作画されています。

シチュエーションどっきり。イスがきっちり描かれていると、ハダカで座っているだけでも衝撃的です。

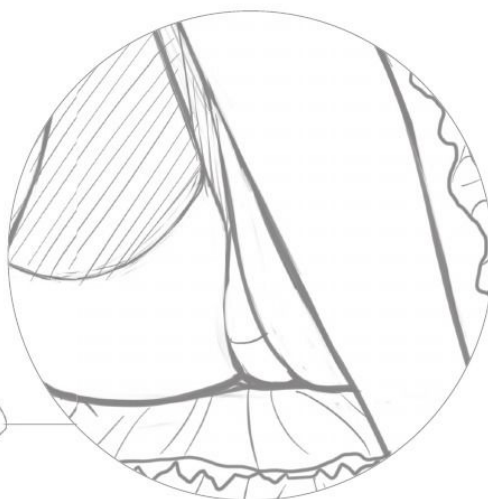
● うっかり爆睡

ハダカ

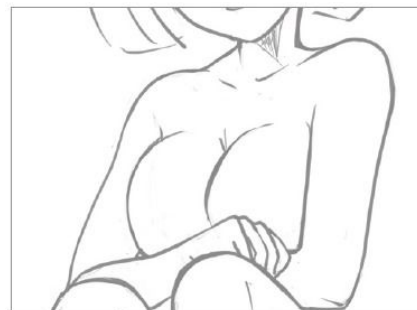
寄りかかる姿勢。腰にシワが入ります。

透視図

ポイントになる黒。奥行き感と立体感が生まれます。

● 無邪気にM字座り

パンツではなく、実は撮影用の水着（見せパン）。…だったとしても、やっぱりどっきりします。

ワンポイント：おっぱいと腕

両腕を下ろしていると、おっぱいは自然な形で、谷間はできません。

腕を少し前に出すと、おっぱいは左右から押されて胸の谷間が生まれます。

ミニスカート＋片ヒザ立てポーズ

ちょっと靴下を整えるため片ひざ立てになった…というシチュエーションです。

少し丸みを強調した股表現にすると、パンチラのお色気感のインパクトが上がります。

アップにすると、ぬい目の線がわかります。前面側にぬい目があるタイプです。

透視図

おっぱいは小ぶりです。

シースルー衣装

意図的に「透けて見える」ように作られた衣装。ランジェリー（魅力アップのためのかわいい下着）のひとつで、ベビードールといわれます。
※透けさせず、細かい線も入れなければ、短いネグリジェです。

おっぱいの形をこわさない、自然なカップです。

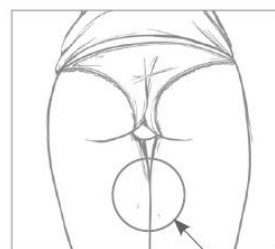
ハダカの場合

うっかりどっきり

● 誰か来た！

短めのTシャツを着ていたら、誰かが入ってきた！というシチュエーションです。

Tシャツの胸の谷間ジワ演出

前は隠しても後ろは丸見え、というオチの演出です。

前面から見たポーズ的にはこのへんに手や指が挟まれていて、指先が見えるケースもありますが、ぱっと見で指や手だとはわからない絵になります。どうしても指を描きたいとき以外は省略しましょう。

パンツの一部が見えます。

● 狙っていない、マジうっかり（ハプニングショット演出）

胸もと胸チラ。ボタンが外れていた。

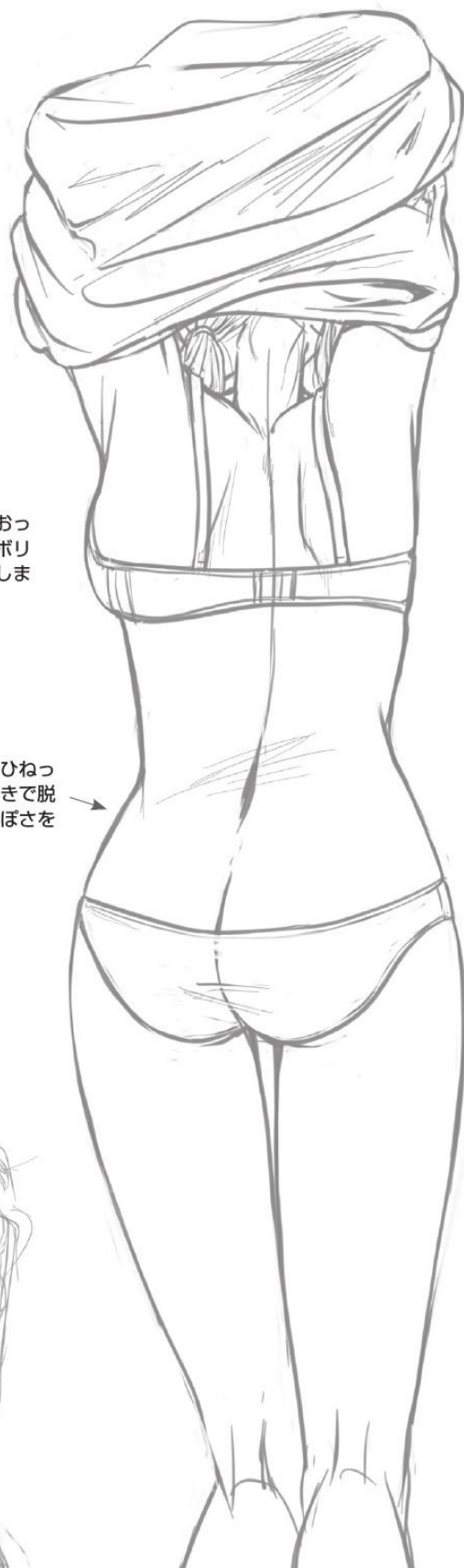
サイドのファスナーが開いていた。

前面のすそが短めで、おへそがのぞくケースもあります。

シチュエーション⑤

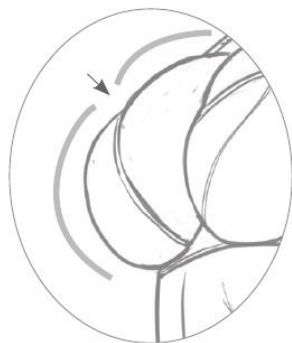
着替え中です

着替えのポーズは、自分でやってみながら描きましょう。ブラなどは「背中で留めるときのポーズをしてみる」など、姿勢や腕の動きを確認します。

● Tシャツを脱ぐ

● ブラウスのボタンを留める
透視図
姿勢と腕のポーズを決めて、手や指は後で描きます。服に隠れないカラダ前面や太もものラインはきっちり描きます。
胸もとと腰からお尻の丸みに至る部分は体のラインを活かして描きます。
前があいているシャツからわずかに見える肌とパンツ部分がお色気ポイントです。
● そでを通す
手がそでから出ていると、さっそうとした感じになります。そでを長めにして手をあまり見せないとかわいい感じになります。手が出ないで先がブランと垂れる「萌えそで」演出もあります。
透視図
ヒモなしブラ
萌えそで

● ブラをつける

少し小さめのブラを強引に装着するシチュエーション。おっぱいのはち切れそうな感じを演出します。

① 乳房全体のシルエットをとらえます。

② ブラを境にしたくびれで、おっぱいの柔らかさを強調します。

腰のくびれを強調すると、色っぽいスタイルになります。

少しうつむく

胸を反らせた姿勢

少しうつむいて胸を反らせると、ブラをつけているように見えるシルエットになります。

● スカートをはく

上半身ハダカでスカートをはく…リアリティよりも、サービスがテーマのシチュエーションです。

豊かなおっぱい表現は、前かがみならではの見せ場のひとつになります。

● パンストやパンツを脱ぐ

パンストを脱ぐ

パンツを描かない場合。同じポーズでパンツを脱いでいるように見えるものになります。

パンストもパンツもくしゃくしゃによれた感じになります。布の折れ重なった、たわんだシワの固まりのようなイメージで描きましょう。

デッサン。大きく前かがみの姿勢です。背中を弓なりに描きます。

脱ぐ作画のワンポイントと見せ場

少し外に張り出して描くと、脱いでいる感じが出ます。

伸びないTシャツ。腕が広がりません。Tシャツによっては伸縮性が少ないものがありますが、見栄えを優先して描きましょう。

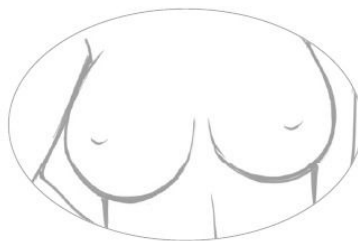
ラフ。服に隠れる腕は、関節の位置だけとって描き進めてもOKです。

Tシャツを脱ぐ…胸から下のショットはどっきりシチュエーションの見せ場のひとつです。

演出①

シャツやスカートのめくれ表現

Tシャツをめくる

たくし上げてできる布の重なりをとらえます。

めくれるスカート

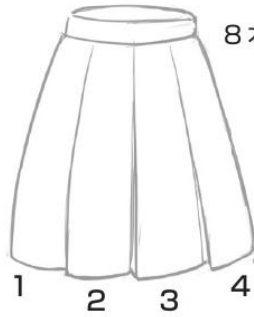
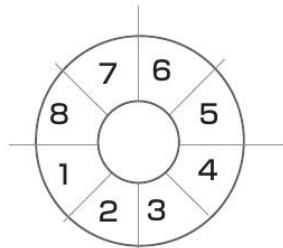
お尻を見せたいか、前を見せたいかテーマを決めましょう。風の来る方向を決めてラフを描きます。

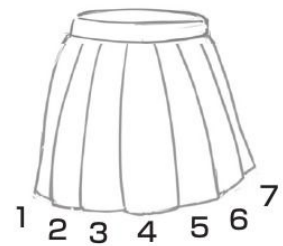
● 下からの風にあおられる

● 何かがめくった

● 斜め下からの風にあおられる

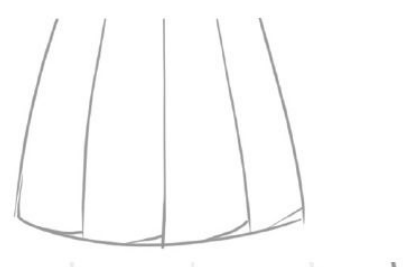
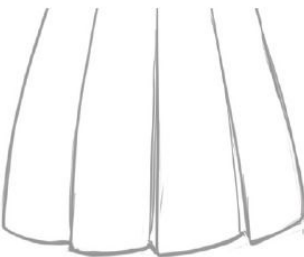
コラム　プリーツスカートの描き方

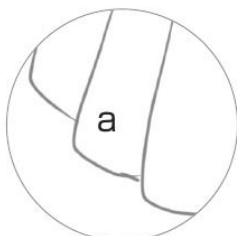
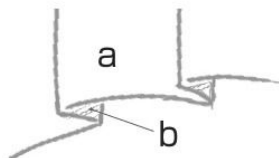
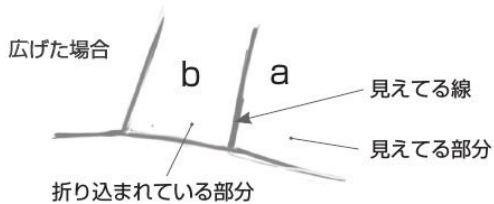
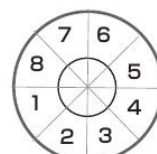
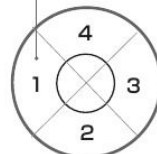
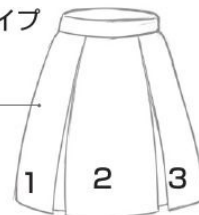
ひだがあるスカートをプリーツスカートといいます。線の数でなく、ひだの数でとらえます。８本タイプと 24 本タイプが代表的ですが、12 本タイプもデザインされます。

前面から見えるヒダは４本。動きの演出（ヒダの広がり）などで、線の数を増やします。

どの角度から見ても、おおよそ４本です。

前面から見て 12 本あります。作画では多少増減することもあります。

前面から見て６本あります。作画では多少増減することもあります（図版は７本）。

作画手順

① スカートの形を描きます。

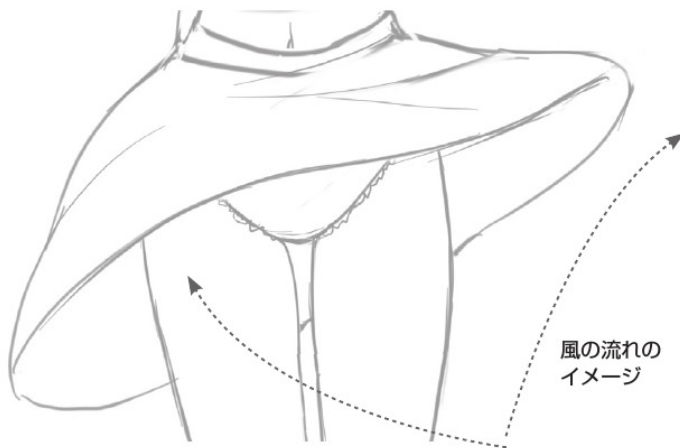
② 前面に３本線を引きます。

③ すそをひだ状に調整します。

④ 線を足して、ひだっぽく布が重なっている表現をして完成です。

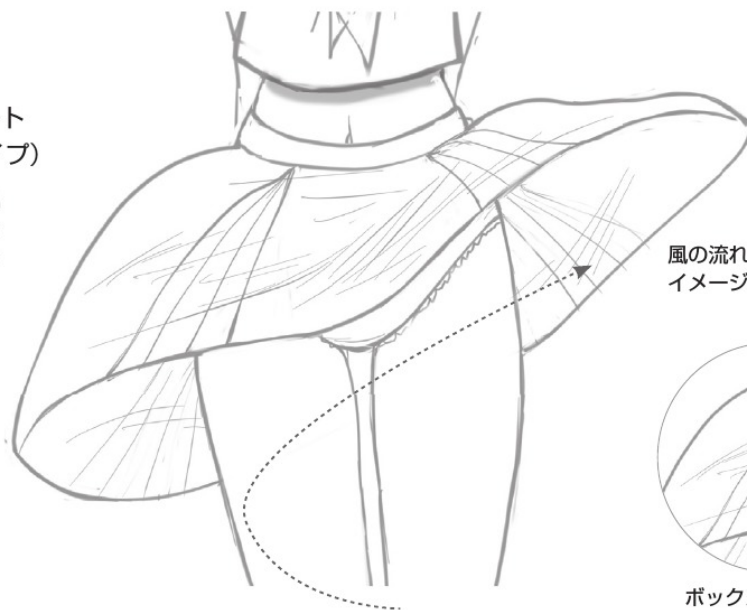
● ヒダの重なりについて

● ボックススカートの場合

スカートの広がり演出

ヒダの数が多いほど、ゆったり大きく広がるように描きます。

● プレーンタイプ

短めで布に余裕がないので、あまり大きく広がりません。

● ボックススカート
（ヒダ数、４本タイプ）

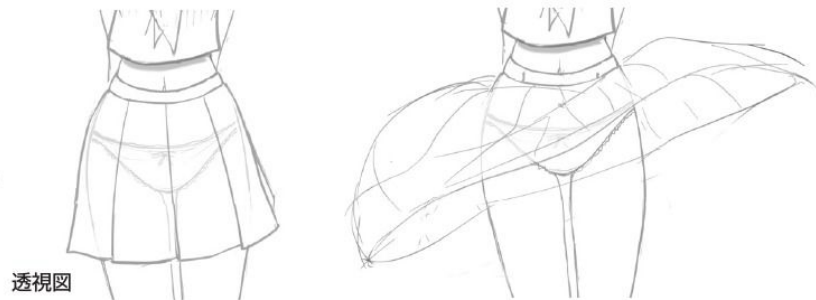
ヒダに折り込まれている分、布面積が増えるので、ゆったり広がるイメージで描きます。

風の流れのイメージ

ボックス分が開きます。

透視図

● プリーツスカート
（8 本タイプ）

ヒダとして折り込まれている分、布に余裕ができるので、ゆったり大きく広がらせます。

広がったとき布が折り込んである分、線の数は倍近くなります。正確に描くことにとらわれず、線の数やヒダの幅は、見た目でそれっぽさが出るように描きましょう。

透視図

● プリーツスカート
（12 本タイプ）

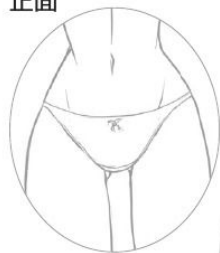
内側が大きく見える場合、ヒダの線は傘の骨をイメージして放射状に描きます。

ところどころに直線的なラインを混ぜましょう。プリーツスカートっぽい硬さを演出します。

このスカートの長さでこんなに広がることはないだろう、というくらい、豪快なふわっと表現です。全身で見たときの雰囲気やインパクト効果を重視して描きます。

透視図

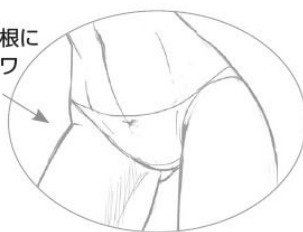
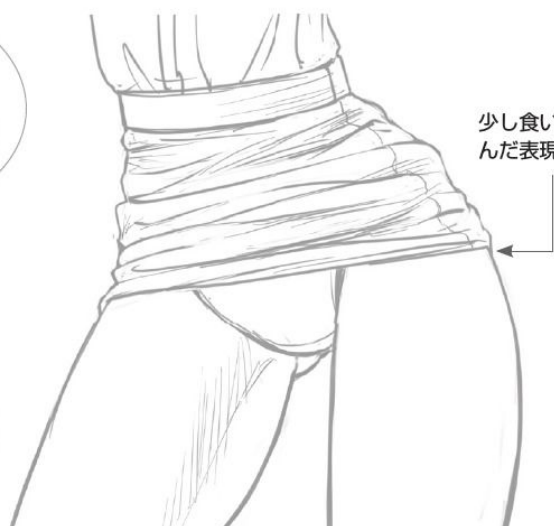
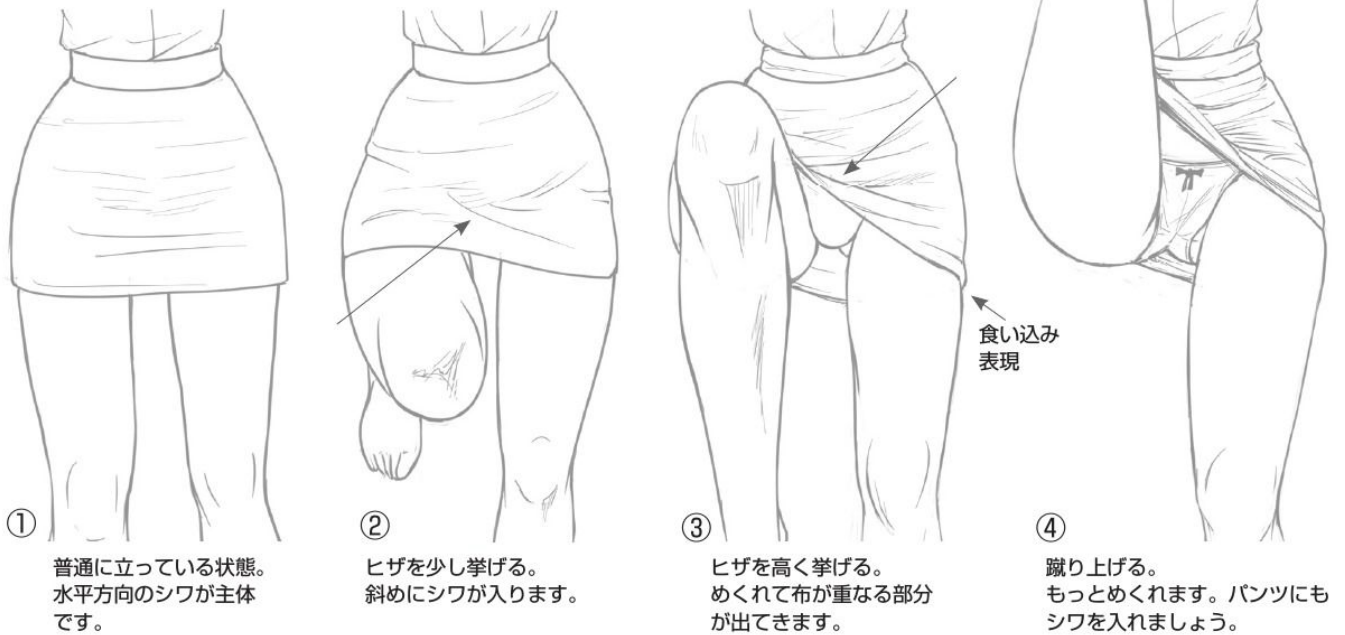
タイトスカートのめくれ表現

タイトスカートはふわっとめくれません。たくし上げられた「めくれ表現」を見てみましょう。

● 脚を挙げる動きとスカートの表現（シワの変化）

①
普通に立っている状態。
水平方向のシワが主体
です。

②
ヒザを少し挙げる。
斜めにシワが入ります。

③
ヒザを高く挙げる。
めくれて布が重なる部分
が出てきます。

④
蹴り上げる。
もっとめくれます。パンツにも
シワを入れましょう。

● シワのポイント

脚の動きを意識して、最初に描き込む曲線を見てみましょう。

①
股の近くにポイントに
なるシワを濃いめに入
れます。

②
脚のつけ根と挙げられ
る太ももの曲面を反映
します。

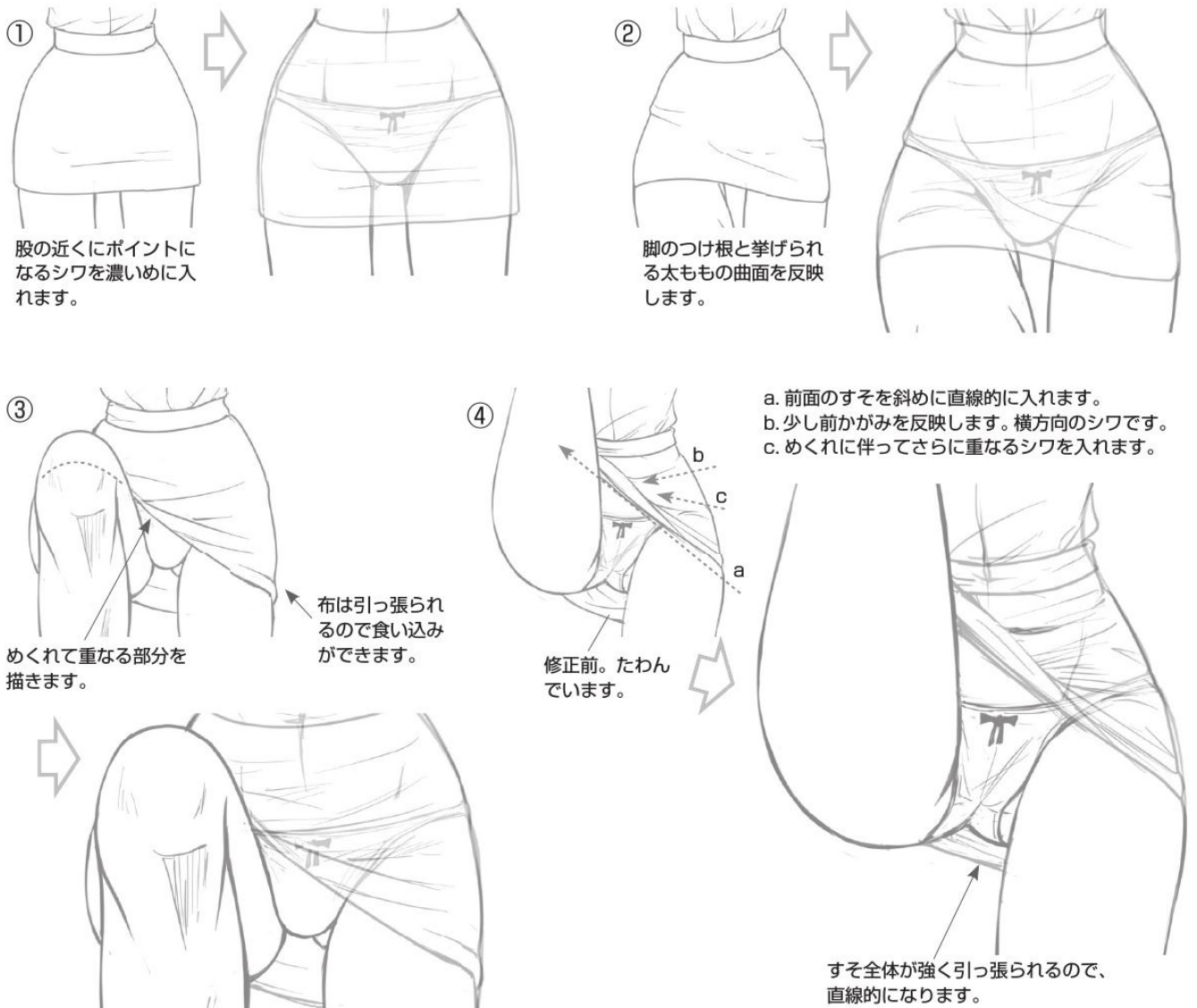
③

めくれて重なる部分を
描きます。

④

a. 前面のすそを斜めに直線的に入れます。
b. 少し前かがみを反映します。横方向のシワです。
c. めくれに伴ってさらに重なるシワを入れます。

すそ全体が強く引っ張られるので、
直線的になります。

演出②

濡れ表現

濡れることで、服が貼り付いている感じを出します。体のラインがあらわに出る部分と、貼りついてたわんだ布のシワ感を表現します。

● 背面

ブラの線が
透けて見え
ます。
濡れる前の状態
透視図。服は体から離
れています。
濡れた状態の透視図。
パンツの線が
見えます。
濡れたときの変化
貼りついています。
えりの形は
ほとんど変
わりません。
そでがしぼんで、
袖に隠れていた胸
が見えてきます。
よれた感じの
起伏をつけま
す。波線をイ
メージしまし
ょう。
よれ気味の線で
描きます。
濡れて重くな
り、下にたま
ります。
貼りつき
ます。
天使の輪といわ
れるテカリ部分
は、濡れても有
効です。
濡れの表現は、体のア
ウトラインと、体の凹
凸（体表面の起伏）で
凸部分をとらえて描き
ます。
布が貼り
つく場所。
布同士が重なったり
貼りついたりして、
ふくらみやたわみの
シワができます。
濡れぼそる感じで
うねうねの波線で
描きます。

● ワンピース

濡れる前

濡れちゃった

ぺったり貼り付いた感じです。

えりまわり。波打ったライン

そで。うねうねのアウトライン

細かいシワ

脚を伝って垂れる水は細い線で表現します。

貼りつき（肌透け）表現をする場所にタッチを入れたもの。日焼け表現でタッチを入れる場所とほぼ共通です。

濡れる前。ブラとパンツの透け表現。

ブラとパンツも透けさせた場合。

シチュエーション ＋ 演出

水際の彼女

「普段は隠れている肌を見せるだけで色っぽくなる」。気になるキャラの素肌には、ドキドキするものです。キャラの水着姿やお風呂のシーンは、手軽な「色っぽいキャラ」の演出です。

色っぽい水着姿

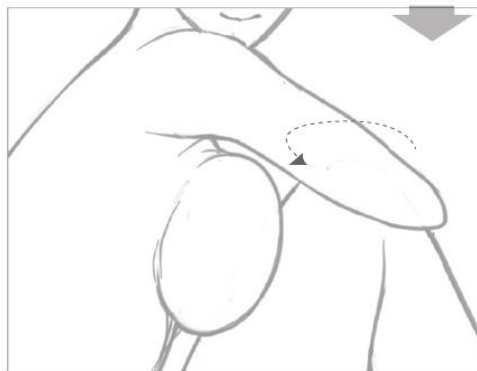
キャラの性格や設定によって、露出度が変わります。肌を多めに隠すワンピース水着と、肌をたくさん見せるビキニ水着が基本です。

色っぽさの何気ないアピールのポイント

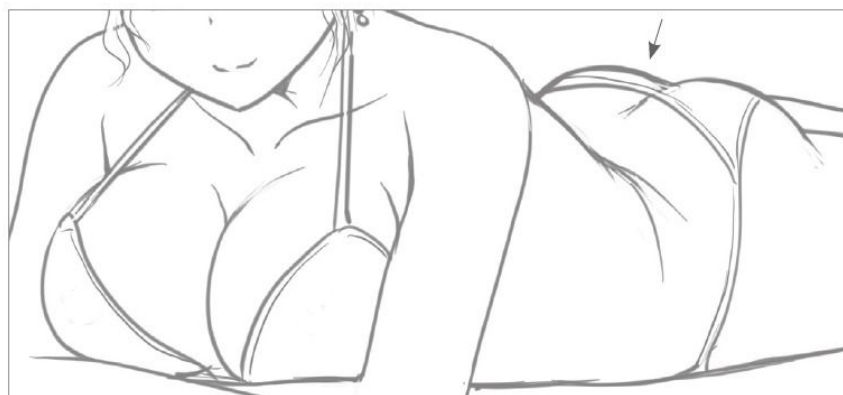
色っぽいポージング

● トップレスで立てヒザ
おっぱいアピール

ブラをつけずに脚で乳首を隠す演出。ほどよく豊かなボリュームと美しいバストラインをアピールします。

プリン感の演出。太ももでおっぱいを押す演出です。丸いシルエットに変化します。

ボリューム感のアピール演出。太ももでおっぱいの内側から外側に押し出します。つけ根のラインが変化し、おっぱいの存在感がさらに強まります。

● 腹ばいポーズ　おっぱいと同時に、お尻の形もアピールされます。

お尻の割れ目の線がちょっぴり見える小さめパンツはオシャレやお色気アピールの効果があります。

おっぱいは腕（左右）と下（床）から寄せ上げられます。ボリューム感を与えましょう。

● トップレス＋布幅の少ない小パンツ

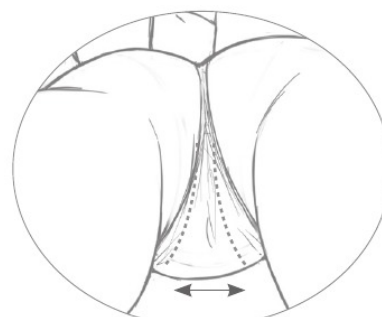
お尻の形に食い込ませた表現ではなく、布感を感じさせるシワ表現がポイントです。

● ワンピース水着で大胆ポーズ

乳房の半分くらいが見えると、
「大胆な胸もと」といわれます。

股部分の布幅もやや狭く、
ワンピース水着の色っぽ
さはビキニ以上の効果を
生むこともあります。

ラフイメージ。姿勢やデ
ッサンと合わせて、背景
のラフも描いて雰囲気を
とらえながら描くのも効
果的です。

● 甲羅干しポーズ

パンツのはき口ラインと、脚のつけ根の線の距離が広いほど
パンツの布幅の狭さが強調されます。

お風呂／色っぽい入浴シーン

基本がハダカ状態なので、肉体の表現、肉感の演出がメインになります。

タオルとキャラ

肉感ポイントはおっぱいまわりです。

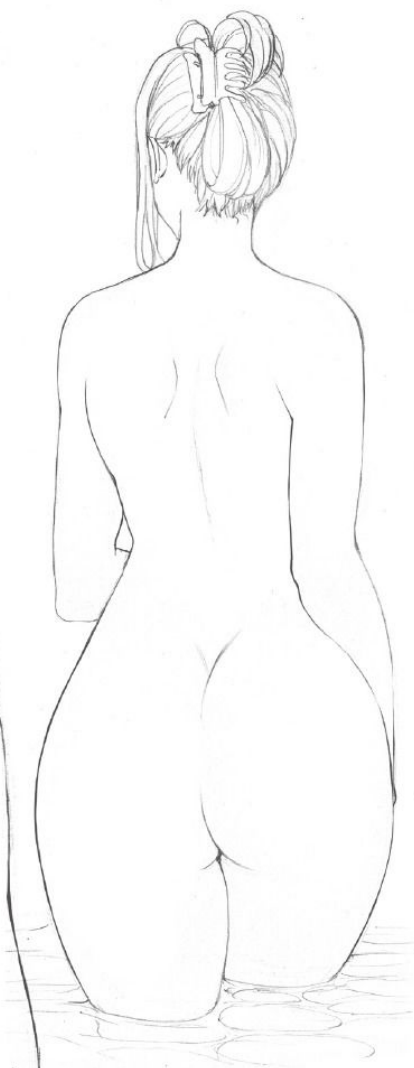
肉感ポイントは脇、胸の下、下腹部（タオルのカゲ）。

ラフな塗りを通じて進める作画。表情やポーズを描いて、体の影や肉感をとらえてからアウトラインを描く手法です。

肉感ポイント
はおなかです。
肉感ポイント。
奥行き感と立体
をとらえます。

体を洗う、シャワーを浴びる

湯船（浴槽）に入る

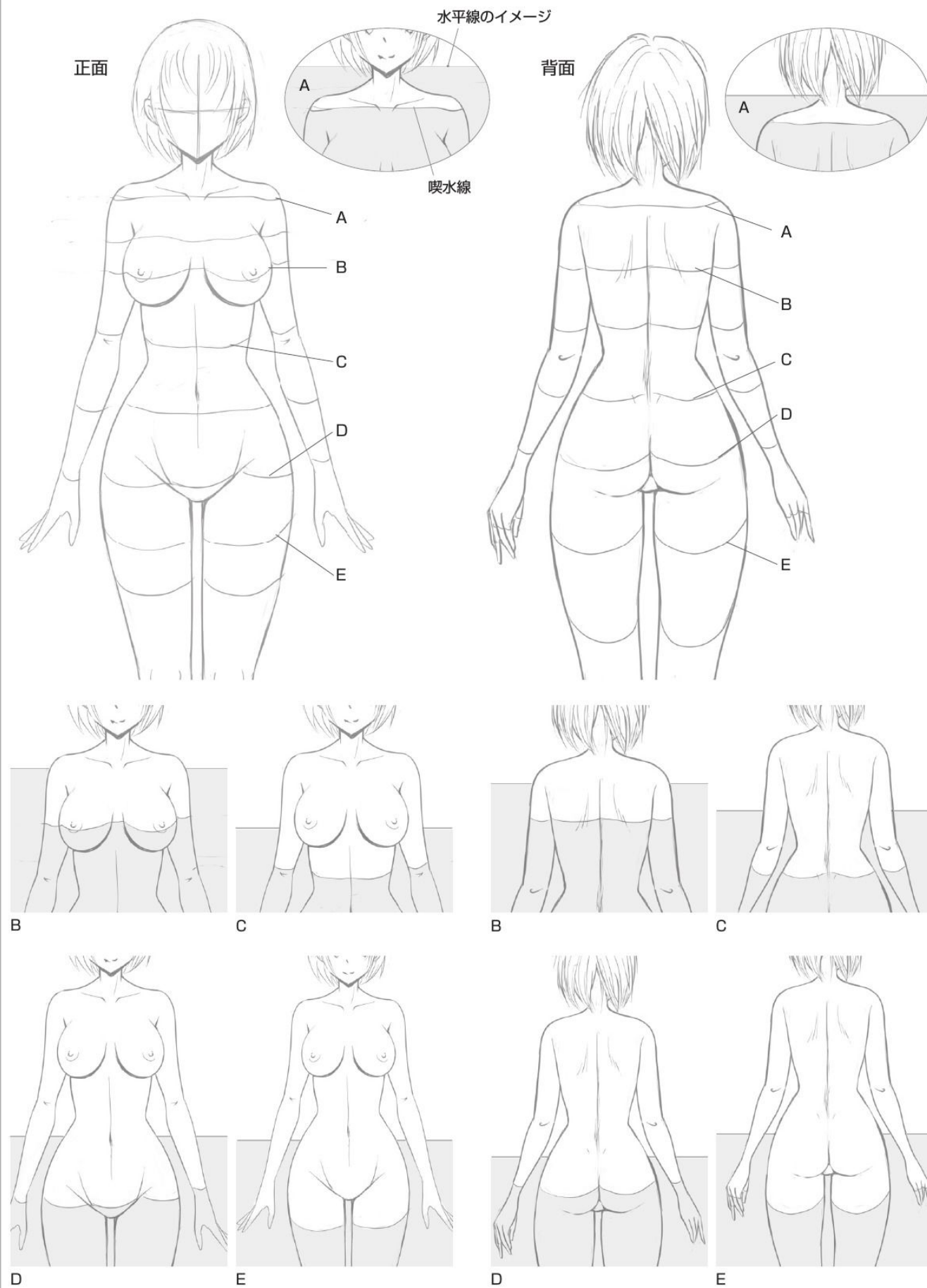
肉感ポイントは太ももの
コントラストです。
肉感ポイントは肩甲骨ま
わりとお尻の上端部。背
中とお尻の存在感を確認
して描きます。

ゆっくりくつろぐ

肉感ポイントは
おっぱいの上面
と腹部です。

おなかの曲面をとらえます。

肉感ポイントは圧迫
しているおっぱいの
「むにっと感」です。

肉感ポイントは太ももです。アオリの構図で、肉感
が魅力的に見えるコントラストを模索します。

※ 水平線は喫水線の場所がわかりやすく見えるイメージに合わせています。

カバーイラストメイキング

イラストレーター　おりょう

「おりょう」プロフィール
イラストレーター、原画家。
ソフトは『CLIP STUDIO PAINT』を使用。
TwitterID：@oryo

おりょう’sコメント

本書のテーマは「色っぽく見せるテクニック」ということで、胸や股に目がいくようなポーズのアイデアをいくつか用意。バストを魅力的に見せるポーズが多めでしたが、採用されたのはお尻を目立たせる構図のラフ案でした。

彩色や仕上げに当たっては、お尻まわりが一番魅力的になる表現を模索しています。細かいところですが、髪の毛などはお尻より奥にあるとわかるよう距離感を出し、きれいに見えるよう表現しました。

完成図

ラフ画

線画

ラフ案ギャラリー　カバーイラストにエントリーしてくれたキャラの皆さん

1. セーラ服たくし上げ 1

・恥じらい気味表情
・胸の谷間、太ももと股のアピールチラリ

2. セーラ服たくし上げ 2

・ちょっぴり強気。「堂々と見て♡」キャラを演じつつちょっぴりほおを赤らめる
・おっぱいのボリューム、なめらかなおなか、半脱ぎスカート。斜めの構図も効果的。

3. セーラーたくしあげ 3

・読者サービスと割り切っているつもりでちょっぴり恥ずかしい微妙な表情。
・すそをくわえた口もとがかわいい。下半身ボリュームをアピール。

4. セーラー濡れ透け

・「ハプニング」ふう設定。驚きよりもちょっと困った表情をアピール。
・ブラの透けと濡れたパンツのシワ、帰宅直後を演出するカバンもドキドキ感 UP。

5. 制服濡れ透け

・さばさばした強気キャラ。
・アクティブなキャライメージで、ちょい見せセクシーサービス。

6. 制服半脱ぎ 1

・清楚なおっとり系美少女をイメージ。
・おっぱいとパンツよりも、さりげなくアピールされたおなかのシワラインに注目。
審査員特別賞をあげたい。

7. 制服半脱ぎ 2

・少し幼く見える雰囲気で。
・無邪気な脱ぎっぷり表現で、爽やかなムードを演出。

8. 体操服脱ぎ 1

・少し挑発的なまなざしで読者にアピール。
・腰をちょっとひねってのモデルふう脱ぎポーズ。「色っぽいショット」の代表的ポーズで、基本としてこれはやっぱりエントリーから外せない！

9. 体操服脱ぎ 2

・ほんわかムード＋不意打ち演出を思わせる無防備な表情。
・顔と上半身をメインに、かわいいブラをアピールしてみる作戦。

10. 水着＋ショートパンツ脱ぎ

・確信犯的強気感＋明るさで勝負。
・アオリ＋ひねり＋ふり向き＋脱ぎかけ＋髪の毛の動きの盛りだくさん演出。さらに水着のヒモもオシャレ感と動きをサポート。躍動感とサービス精神で、この子が表紙に選ばれました。

色の仮設定

仕上げの塗りに入る前に、簡単に色を置きます。水着が白いバージョンと赤いバージョンを作って比較。「赤のほうがパッと目を引きそう」という理由で、赤い水着に決まりました。

仕上げ

陰影表現でお尻の丸みを強調。そして水滴を描くことが色っぽさの重要ポイント！　伝い落ちる水滴によって、つややかなお尻の魅力がぐっと UP しました。

■著者紹介

林　晃（はやし・ひかる）

1961年、東京生まれ。
東京都立大学人文学部/哲学専攻卒業後、本格的にマンガ家活動を始める。ビジネスジャンプ奨励賞、佳作受賞。マンガ家・古川肇氏、井上紀良氏に師事する。実録マンガ「アジャ・コング物語」でプロデビューを果たした後、1997年にマンガ・デザイン制作事務所 Go office（ゴーオフィス）を設立。「マンガの基礎デッサン」シリーズ、「キャラの気持ちの描き方」（ホビージャパン刊）、「コスチューム描き方図鑑」、「スーパーマンガデッサン」、「スーパーパースデッサン」「キャラポーズ資料集」(以上グラフィック社刊)、「マンガの基本ドリル1～3」「衣服のシワ上達ガイド1」(廣済堂出版刊)など、国内外250冊以上に及ぶ“マンガ技法書”を制作している。

女の子のカラダの描き方

色っぽく見せるテクニック

2019年9月20日　初版発行

著者　　林　晃（Go office）

発行人　松下大介
発行所　株式会社ホビージャパン
〒151-0053　東京都渋谷区代々木2-15-8
電話 03-5354-7403（編集）
電話 03-5304-9112（営業）

印刷所　大日本印刷株式会社

ISBN 978-4-7986-2009-1 C2371

■スタッフ

● 作画
笹木さされ（Sasa SASAKI）
愛上陸（AIUEOKA）
加藤聖（Akira KATOU）
玄高やっこ（Yakko HARUTAKA）
やぎざわ梨穂（Rio YAGIZAWA）
林　晃（Hikaru HAYASHI）
（順不同）

● カバー原画
おりょう（ORYO）

● カバーデザイン
板倉宏昌 [リトルフット]
（Hiromasa ITAKURA -Little Foot inc.-）

● 編集・レイアウトデザイン
林　晃 [Go office]　（Hikaru HAYASHI -Go office-）

● 企画
川上聖子 [ホビージャパン]
（Seiko KAWAKAMI -HOBBY JAPAN-）

● 協力
日本工学院専門学校
日本工学院八王子専門学校
クリエイターズカレッジ　マンガ・アニメーション科

ISBN978-4-7986-2009-1
C2371